^{ステータスモニタセンターソフト} 品番 STC-9503 Ver.1.4 取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をよく お読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

- 本製品のCD-ROMはパソコン用です。AV機器では絶対に使用しないでください。大音量により難聴になったりスピーカを破損したりするおそれがあります。
- 本製品のCD-ROMを衝撃、振動の加わる場所で使用、保存することは避けて ください。
- 本製品のCD-ROMをほこり、湿気の多い場所で使用、保存することは避けて ください。
- 本製品のCD-ROMを高温や低温の場所、また温度変化の激しい場所で保存することは避けてください。
- 本製品のソフトを改変して使用した場合に発生した事故や損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の誤った操作に起因する事故発生や損害に対しては、当社は一切の責任を 負いません。

[ご注意]

本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。 本書中に記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

2003年11月 第3版

目 次

_	<u>はし</u>	<u> シめにお読みください</u>	7
	(1)	概要	7
	(2)	 特長	7
	(3)	 システム構成	8
	$\overline{(4)}$		9
	$\overline{(5)}$	データベースのバックアップについて	10
	<u>+</u>	<u></u>	11
L	<u>ー</u>	- <u></u>	11
	(1)	<u></u>	11
	$\frac{(1)}{(2)}$	<u></u>	11
	$\frac{(2)}{(3)}$	<u></u>	12
	$\frac{(3)}{(4)}$	<u></u>	12
	$\frac{(-1)}{(-1)}$	<u>度用//認になるとサイナサラウの度に</u>	12
	$\frac{(5)}{(6)}$	<u></u>	11
	$\frac{(0)}{(7)}$	<u>タンターDCのセットアップ手順</u>	14
тт		<u>ビンターFCのビットアップナ順</u>	14
<u>11.</u>	(1)	<u>/ ドゲツノタる</u> ドニノゴた NTTES に亦協する	15
	(1)	<u> トフィノをNIFSに変換する</u>	17
	$\frac{(2)}{(2)}$	Internet Information Service 5 のゼットアップ	15
	(3)	$\frac{\text{Windows2000 ServicePack 4 01 } \mathcal{Y} \mathcal{K} \mathcal{F} - \mathcal{W}}{\text{Windows2000 ServicePack 4 01 } \mathcal{Y} \mathcal{K} \mathcal{F} - \mathcal{W}}$	10
	(4)	$\underline{MSDE\ } \underbrace{\mathcal{E} + \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} F - \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} }_{\mathcal{I} \mathcal{I}} \underbrace{\mathcal{E} + \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I}$	16
	<u>(5)</u>	SQL Server 7.0 Service Pack 4 \mathcal{O} $\mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I}$	16
	<u>(6)</u>	<u></u>	18
	2 - 2		~ ~
	<u>(7)</u>	<u>ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)</u>	22
	<u>(7)</u> (8)	<u>ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)</u> <u>IP アドレスの設定</u>	22 23
	(7) (8) (9)	<u>ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)</u> <u>IP アドレスの設定</u> <u>共有フォルダを作成する</u>	22 23 24
	(7) (8) (9) (10)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する	22 23 24 25
ш	(7) (8) (9) (10) . <u>セッ</u>	<u>ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)</u> <u>IP アドレスの設定</u>	22 23 24 25 26
ш	(7) (8) (9) (10) <u>、 セッ</u> (1)	<u>ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)</u> <u>IP アドレスの設定</u> <u>共有フォルダを作成する</u> <u>共有フォルダに接続する</u> <u>・トアップが完了したら</u> <u>セットアップが完了したら</u>	22 23 24 25 26 26
	(7) (8) (9) (10) . セッ (1) . <u>パ</u> -	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ	22 23 24 25 26 26 27
III IV	(7) (8) (<u>9)</u> (<u>10)</u> (<u>1)</u> (<u>1)</u> (<u>1)</u>	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら デョンアップ 概要	22 23 24 25 26 26 27 27
III IV	(7) (8) (9) (10) . セッ (1) . バー (1) (2)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ 概要 ご注意	22 23 24 25 26 26 27 27 27
III IV	(7)(8)(9)(10)(1)(1)(1)(2)(3)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ウトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27
	$\begin{array}{c} (7) \\ (8) \\ (9) \\ (10) \\ (11) \\ (1) \\ (1) \\ (1) \\ (2) \\ (3) \\ \pm 5 \end{array}$	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する レトアップが完了したら シャトアップが完了したら ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする パセンターの登録	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 30
	(7) (8) (9) (10) (1) (1) (1) (2) (3) 概要	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする	 22 23 24 25 26 26 27 27 27 30 30
	(7) (8) (9) (10) (1) (1) (1) (2) (3) <u>サフ</u> 概要 (1)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ 概要 ブセンターの登録 概要	 22 23 24 25 26 26 27 27 27 30 30 30
	(7) (8) (9) (10) (11) (11) (12) (3) 世辺 (1) (1) (2) (3) 世辺 (1) し (1) し (1) 近日	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ットアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 ご注意 パージョンアップする パセンターの登録 概要 かと終了	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 27 30 30 30 30
Ш IV I. Ц.	(7)(8)(9)(10)(10)(1)(1)(2)(3)サフ(1)(1)(1)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ウトアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 ブセンターの登録 概要 加と終了 起動する	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 30 30 30 30 30
Ш IV I. I.	(7) (8) (9) (10) (11) (11) (2) (3) サご (1) (2) (3) サご (1) (2) (3) 世要… (1) (2) (1) (2)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら -ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする ゲセンターの登録 概要 加と終了 経了する	 22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 30
	(7) (8) (9) (10) (1) (1) (1) (2) (3) サフ (1) (1) (1) (2) (2) (- サー	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 バージョンアップする グセンターの登録 概要 加と終了 起動する 終了する -バーに接続する	22 23 24 25 26 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 30 31
	(7)(8)(9)(10)(1)(1)(1)(2)(3) $U(1)(2)(1)(2)(1)(1)$	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 バージョンアップする ガセンターの登録 概要 カと終了 起動する 終了する ーバーに接続する	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 31 31
	(7) (8) (9) (10) (1) (1) (1) (2) (3) サラ (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (1) (2) (1) (1)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 バージョンアップする パセンターの登録 概要 小と終了 基動する 終了する -バーに接続する ヴェノーに接続する グセンターを追加する、名称を変更する、削除する、または保存する	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 30 31 31 32
	(7)(8)(9)(10)(10)(1)(1)(2)(3)サラ(1)(2)(1)(2)(1)(1)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する シトアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする グセンターの登録 概要 ウトア・ジョンアップする グセンターの登録 サーバーに接続する ・バーに接続する ヴェンターを追加する、名称を変更する、削除する、または保存する サブセンターを追加する	22 23 24 25 26 27 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 31 31 32 32
	$(7)(8)(9)(10)(10)(1)(1)(2)(3)\underline{J}_{\underline{J}}(1)(2)(1)(2)(1)(2)(1)(2)$	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する レトアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする グセンターの登録 一 シーパーに接続する サーバーに接続する ヴェンターを追加する、名称を変更する、削除する、または保存する サブセンターの名称を変更する	22 23 24 25 26 27 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 30 31 31 32 32 33
	(7) (8) (9) (10) (1) (1) (2) (3) U (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (3)	ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター) IP アドレスの設定 共有フォルダを作成する 共有フォルダに接続する ハトアップが完了したら セットアップが完了したら ジョンアップ 概要 ご注意 バージョンアップする グセンターの登録 概要 ウトア・ジョンアップする グセンターの登録 リーバーに接続する ジョンアップ・ サブセンターを追加する、名称を変更する、削除する、または保存する サブセンターの名称を変更する サブセンターを削除する	22 23 24 25 26 26 27 27 27 27 27 27 27 30 30 30 30 30 30 30 31 31 32 32 33 33

	<u>(4)</u>	<u>登録内容を保存する</u>	34
	系統	图 <u>作成</u>	35
<u>I.</u>	概要		35
	$(\overline{1})$	概要	35
	(2)	 操作概要	36
	(3)	 系統図の作成手順	37
II.			38
	(1)		38
ш			38
	(1)	<u>起動する</u>	38
	$\frac{(1)}{(2)}$	<u>~</u> 終了する	39
IV	<u>、</u> 系紹	<u></u>	40
<u> </u>	(1)	ファイル操作について	40
	$\frac{(1)}{(2)}$	<u> </u>	40
	$\frac{(2)}{(3)}$	<u> </u>	40
	$\frac{(3)}{(4)}$	<u><u> </u></u>	40 42
	$\frac{(+)}{(5)}$	<u>小派囚と引家する</u>	12 12
	$\frac{(5)}{(6)}$	<u>水流区で休住する</u>	12
	$\frac{(0)}{(7)}$	<u> </u>	43
	$\frac{(7)}{(8)}$	<u> </u>	44
	$\left(\begin{array}{c} 0 \end{array} \right)$	<u> </u>	4J 4G
	(1 0)	<u> </u>	40
	(1 0)	<u>困しる</u> こわり上ウィンドウを佐成できません	40
	(1)		49
	(12)	<u>9 Cに開いているノート名称は用りません</u>	49
	(1 2)		r 0
	$\frac{(13)}{(14)}$	指定されたノード名称は存在しません	50
	$\frac{(1 3)}{(1 4)}$	<u>指定されたノード名称は存在しません</u> 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています	50 50
	$\frac{(1 3)}{(1 4)}$ $\frac{(1 5)}{(1 6)}$	<u>指定されたノード名称は存在しません</u>	50 50 50
	$\frac{(1 \ 3)}{(1 \ 4)}$ $\frac{(1 \ 5)}{(1 \ 6)}$	<u>指定されたノード名称は存在しません</u> 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません	50 50 50 51
	$\frac{(1 \ 3)}{(1 \ 4)}$ $\frac{(1 \ 5)}{(1 \ 6)}$ $\frac{(1 \ 7)}{(1 \ 7)}$	<u>指定されたノード名称は存在しません</u> 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません	50 50 50 51 51
	$ \begin{array}{r} (1 3) \\ (1 4) \\ (1 5) \\ (1 6) \\ (1 7) \\ (1 8) \\ (1 2) \end{array} $	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています	50 50 51 51 51
	$ \begin{array}{r} (1 3) \\ (1 4) \\ (1 5) \\ (1 6) \\ (1 7) \\ (1 8) \\ (1 9) \\ \hline 7 45 \\ \end{array} $	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています	50 50 51 51 51 52 52
<u>V.</u>	(<u>1</u> 3) (<u>1</u> 4) (<u>1</u> 5) (<u>1</u> 6) (<u>1</u> 7) (<u>1</u> 8) (<u>1</u> 9) <u>系統図</u>	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 正を描画する そ物回ちり	50 50 51 51 51 52 53 53
<u>V</u> .	(<u>1</u> 3) (<u>1</u> 4) (<u>1</u> 5) (<u>1</u> 6) (<u>1</u> 7) (<u>1</u> 8) (<u>1</u> 9) <u>系統図</u> (<u>1)</u> (<u>2</u>)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 季描画する 系統図を入力する位置について	 50 50 50 51 51 51 52 53 53 50
V.	<pre>(1 3) (1 4) (1 5) (1 6) (1 7) (1 8) (1 9) 系統区 (1) (2)</pre>	指定されたノード名称は存在しません	 50 50 50 51 51 51 52 53 53 53
<u>V.</u>	(<u>1</u> 3) (<u>1</u> 4) (<u>1</u> 5) (<u>1</u> 6) (<u>1</u> 7) (<u>1</u> 8) (<u>1</u> 9) <u>系統</u> 区 (<u>1</u>) (<u>2</u>) (<u>3</u>)	指定されたノード名称は存在しません	50 50 51 51 51 51 52 53 53 53 53 56
<u>V.</u>	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) <u>系統函</u> (1) (2) (3) (4)	指定されたノード名称は存在しません	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 56
<u>V</u> .	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 系統図 (1) (2) (3) (4) (5)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 客 第の室入力する位置について 線分を描画する 直角に曲がった線分を描画する 端点を検出して線分を描画する	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 56 58
V. VI	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 系統区 (1) (2) (3) (4) (5) (1) (2) (3) (4) (5)	指定されたノード名称は存在しません	50 50 51 51 52 53 53 53 53 53 56 56 58 59
V. VI	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) <u>系統区</u> (1) (2) (3) (4) (5) <u>系納</u> (1) (2)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 客統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 点方を描画する 道角に曲がった線分を描画する 強分を描画する 施名を検出して線分を描画する 施名を選択する	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 56 58 59 59
V. VI	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 系統区 (1) (2) (3) (4) (5) (1) (2) (3) (4) (5) (1) (2) (3) (1) (2) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (3) (3) (4) (5)	指定されたノード名称は存在しません	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 56 58 59 59 60
V. VI	(1 3) (1 4) (1 5) (1 6) (1 7) (1 8) (1 9)	指定されたノード名称は存在しません	50 50 51 51 51 52 53 53 53 53 53 56 58 59 60 61
V. VI	(13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) 系統区 (1) (2) (3) (1) (5) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (1) (2) (3) (4) (5) (2) (3) (4)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 空話回する 系統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 線分を描画する 正白がった線分を描画する 一 第点を検出して線分を描画する 一 20を編集する 線分を選択する 線分を選択する 範囲を指定して機器・線分を選択する 系統図の選択を解除する	50 50 51 51 52 53 53 53 53 56 56 59 60 61 62
V. VI	(1 3)(1 4)(1 5)(1 6)(1 7)(1 8)(1 9)系統函(1)(2)(3)(4)(5)(1)(2)(3)(4)(5)(3)(4)(5)(4)(5)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 宮録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 客紙図を入力する位置について 機器を選択して入力する 線分を描画する 直角に曲がった線分を描画する 端点を検出して線分を描画する 酸固を編集する 機器を選択する 線分を選択する 範囲を指定して機器・線分を選択する 系統図の選択を解除する 系統図を切り取る	50 50 51 51 51 52 53 53 53 53 56 58 59 60 61 62 62
V. VI	$(1 3)(1 4)(1 5)(1 6)(1 7)(1 8)(1 9)\overline{x} (1 9)(1)(2)(3)(4)(5)(1)(2)(3)(4)(5)(3)(4)(5)(6)(7)$	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 道を出回する 系統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 線分を描画する ご図を編集する 機器を選択する 線分を選択する 範囲を指定して機器・線分を選択する 系統図の選択を解除する 系統図をコピーする	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 58 59 60 61 62 62 63
V. VI	$(1 3)(1 4)(1 5)(1 6)(1 7)(1 8)(1 9)\overline{S}(1)(2)(3)(4)(5)(4)(5)(2)(3)(4)(5)(3)(4)(5)(3)(4)(5)(5)(6)(7)$	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています ごを描画する 系統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 調点を検出して線分を描画する ご図を編集する 機器を選択する 線分を選択する 範囲を指定して機器・線分を選択する 系統図を切り取る 系統図をコピーする	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 58 59 60 612 62 63 63 64
V. VI	(1 3)(1 4)(1 5)(1 6)(1 7)(1 8)(1 9)系統國(1)(2)(3)(4)(5)(4)(5)(4)(5)(6)(7)(8)	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 空話回する 系統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 線分を描画する 適用に曲がった線分を描画する 端点を検出して線分を描画する 酸四を編集する 線分を選択する 線分を選択する 線分を選択する 系統図の選択を解除する 系統図をコピーする 系統図を貼り付ける 系統図を削り付ける 系統図を削り付ける	50 50 51 51 51 52 53 53 53 56 59 60 61 62 63 64 65
V. VI	$(1 3)(1 4)(1 5)(1 6)(1 7)(1 8)(1 9)\overline{x}(1)(2)(3)(4)(5)(4)(5)(2)(3)(4)(5)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)$	指定されたノード名称は存在しません 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ノード名称が入力されていません すでにノード名称が存在しています 開いているノードは削除できません 指定したノード名称は既に使われています 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています 空話回する 系統図を入力する位置について 機器を選択して入力する 線分を描画する 直角に曲がった線分を描画する 端点を検出して線分を描画する 酸四を編集する 線分を選択する 線分を選択する 線分を選択する 系統図を切り取る 系統図を出り付ける 系統図を削除する 系統図を削り付ける 系統図を割する	50 50 51 51 51 52 53 53 56 59 60 61 62 63 65 65

<u>(1 1</u>	<u>) 系統図を再描画する</u>	67
<u>(1 2</u>	<u>?) 系統図を拡大する</u>	67
<u>(13</u>	<u>3) 系統図を縮小する</u>	68
(14		68
VII. Z		69
$(1)^{-}$		69
(2)		
$\frac{(-)}{(3)}$	<u></u>	70
$\frac{(-)}{(4)}$	<u>/////12時間//2</u> グループ名を変更する	72
VIII		73
(1)	<u> </u>	73
(2)	<u> </u>	74
(2)	<u>機能情報を設定する(フテータフモニタコニット冊し)</u>	76
$\frac{(3)}{(4)}$	<u>機能情報を設定する(スパープスモニアユニア) 無し</u>	78
$(\frac{(+)}{(5)})$	<u> </u>	70
$\frac{(5)}{(6)}$	<u>本午他で設定する</u>	/9
$\frac{(0)}{(7)}$	<u>II.吊郫囲で設たりる</u>	00
$\frac{(7)}{(9)}$	<u> </u>	
(0)	<u>ての他の情報を設定する</u>	82
<u>IX.</u> <u>7</u>	<u> </u>	83
(1)	<u>糸統図をハックアッフする</u>	83
<u>X. </u> <u>糸</u> 紙	<u> </u>	84
<u>(1)</u>	<u>糸統図を復旧する</u>	84
<u>XI.</u> <u></u>	<u>糸統図をインホートする</u>	86
<u>(1)</u>	糸統図をインボートする	86
<u>XII.</u> 7	<u>ポーリングデータを作成する</u>	88
<u>(1)</u>	<u>ボーリングデータを作成する</u>	88
<u>(2)</u>	<u>レポートをチェックする</u>	89
<u>XIII.</u>	<u>系統図を印刷する</u>	90
<u>(1)</u>	<u>プリンタを設定する</u>	90
<u>(2)</u>	<u>印刷する</u>	91
<u>(3)</u>	<u>印刷例</u>	93
<u>XIV.</u>	<u> </u>	94
<u>(1)</u>	<u>上下に並べて表示</u>	94
<u>(2)</u>	<u>左右に並べて表示</u>	94
<u>(3)</u>	<u>重ねて表示</u>	94
(4)	<u>アイコンの整列</u>	95
(5)	開いている系統図ウィンドウを選択する	95
XV.	ヽルプ	96
(1)	 ヘルプを表示する	96
(2)		96
j	通信 サーバー	97
 I. 通信	=	97
-(1)	概要	97
П. 7		97
(1)	<u>- / - / - /</u> 通信サーバーを起動する前に	
·Ⅲ. ‡	- <u>二日シーバー こに新りていれた</u> 記動と終了	
(1)	<u> 記動する</u>	98
(2)	<u>ページ / 0</u>	
(2)	<u> </u>	

<u>IV.</u> 通信	<u> </u>	101
<u>(1)</u>	<u>回線の設定をする</u>	101
<u>(2)</u>	<u>通信ポートの設定をする</u>	101
<u>(3)</u>	エラー検出の設定をする	102
(4)		102
(5)		103
(6)		103
$\overline{(7)}$	 エラー発生時の送信先、送信内容を設定する	104
$\overline{(8)}$	メール送信時の情報を設定する	106
$\frac{(-)}{(9)}$	<u>ポケベル(クイックキャスト)送信方法を設定する</u>	107
$\frac{(2)}{(10)}$	ショートメール送信方法を設定する	108
$\frac{(10)}{(11)}$	<u>ノコーイン バンにロバルとにたくし</u> モデハを設定する	108
$\frac{(1 + 1)}{(1 + 2)}$	<u></u>	100
V 通信	<u>電源量化と設定する</u> #辺	110
<u>v.</u> <u>旭旧1</u> (1)	<u>(///</u> 通信状況ウィンドウを実示する	110
$\mathbf{v} \stackrel{(1)}{=}$	_ <u> </u>	110
$\underline{\mathbf{VI.}}$ $\underline{\mathbf{J}}$	<u>- ダベ - スのバックアック</u>	111
<u>()</u> VII `予信	<u>ナータベースのバックアッフについて</u>	111
<u>VII.</u> <u></u> 週1	<u>ョサーハーの共吊終」時について</u>	112
(1)	<u>通信サーハーの異常終了時について</u>	112
<u>VIII.</u> <u>^</u>		114
<u>(1)</u>	<u>パージョン情報を表示する</u>	114
<u>(2)</u>	<u>ヘルフを表示する</u>	114
<u> </u>	<u> ニータスモニタ</u>	115
<u>I. ステ-</u>	<u>-タスモニタについて</u>	115
<u>(1)</u>	<u>概要</u>	115
<u>II. ごき</u>	<u> </u>	115
<u>(1)</u>	<u>ステータスモニタを起動する前に</u>	115
<u>III.</u> 起重	<u>かと終了</u>	116
<u>(1)</u>	<u>起動する</u>	116
<u>(2)</u>	<u>終了する</u>	116
<u>IV.</u> サー	<u>- バーの接続と切断</u>	117
<u>(1)</u>	<u>接続する</u>	117
<u>(2)</u>	切断する	118
<u>V.</u> 系統区	<u>र</u>	119
(1)		119
(2)		120
(3)		121
(4)		121
(5)	 系統図を再描画する	122
$\overline{(6)}$		122
VI. 機器		123
(1)	<u>- 唐/2010 18</u> 機器個別情報を表示する	123
$\frac{(1)}{(2)}$	<u> </u>	124
(2)	<u>加油時代で代が、シロ</u>	195
$\frac{(J)}{(\Lambda)}$	<u>回回時間でにない。。。</u>	197
$\frac{(4)}{(5)}$	<u> こ天 1 2 3</u> 	127 190
$\frac{(5)}{(6)}$	<u>血況」とにしてなかりる</u> 数泪「粉値」を主子する	120
(0)	<u> </u>	191
(\prime)		192

	<u>(8)</u>	<u>ステータス経歴を表示する</u>	135
	<u>(9)</u>	<u>メモ、設置場所を入力する</u>	136
	<u>(10)</u>	<u>通信関係の設定を行う</u>	137
	<u>(1 1)</u>	<u> 監視[数値]項目の内容を設定する</u>	139
VI	<u>I. 伝道</u>	<u>送確認</u>	140
	<u>(1)</u>	<u>伝送確認を表示する</u>	140
	<u>(2)</u>	<u>伝送を確認する</u>	141
	<u>(3)</u>	<u>伝送確認・[情報]タブについて</u>	143
	<u>(4)</u>	<u>伝送確認・[制御]タブについて</u>	143
	<u>(5)</u>	<u>伝送確認・[監視[2値]]タブについて</u>	144
	<u>(6)</u>	<u>伝送確認・[監視 [数値]] タブについて</u>	145
VI	<u>II. 柊</u>	<u> </u>	147
	<u>(1)</u>	<u>機器一覧を表示する</u>	147
	<u>(2)</u>	<u>機器一覧・[情報]タブについて</u>	148
	<u>(3)</u>	<u>機器一覧・[制御]タブについて</u>	150
	<u>(4)</u>	機器一覧・[監視[2値]]タブについて	152
	<u>(5)</u>	<u>機器一覧・[監視[数値]]タブについて</u>	153
	<u>(6)</u>	<u>機器一覧・[監視[数値]グラフ]タブについて</u>	155
<u>IX</u>	<u> </u>	<u>ラー一覧</u>	156
	<u>(1)</u>	<u>エラー一覧を表示する</u>	156
	<u>(2)</u>	<u>エラー一覧について</u>	157
<u>X.</u>	<u>ノート</u>	<u>[、]一覧</u>	159
	<u>(1)</u>	<u>ノード一覧を表示する</u>	159
	<u>(2)</u>	<u>ノード一覧・[情報1]タブについて</u>	160
	<u>(3)</u>	<u>ノード一覧・[情報2]タブについて</u>	161
	<u>(4)</u>	<u>ノード一覧・[制御]タブについて</u>	163
	<u>(5)</u>	<u>ノード一覧・[監視 [2値]] タブについて</u>	164
	<u>(6)</u>	<u>ノード一覧・[監視 [数値]] タブについて</u>	166
<u>XI</u> .	<u>. 経歴</u>	<u>7</u>	168
	<u>(1)</u>	<u>経歴を表示する</u>	168
	<u>(2)</u>	<u>経歴について</u>	168
	<u>(3)</u>	<u>経歴を検索する</u>	170
XI	<u>I. オフ</u>	<u> プション</u>	171
	<u>(1)</u>	<u>オプション設定を表示する</u>	171
	<u>(2)</u>	<u>系統図内の機器 とアドレス の表示を切り換える</u>	172
	<u>(3)</u>	<u>機器のプロパティで表示される経歴件数を設定する</u>	173
	<u>(4)</u>	<u>制御で制御ボタンを有効にする</u>	173
	<u>(5)</u>	<u>経歴ウィンドウでの検索件数を設定する</u>	173
XI	<u>II. </u>	<u>ヽルプ</u>	174
	<u>(1)</u>	<u>ヘルプを表示する</u>	174
	<u>(2)</u>	<u>バージョン情報を表示する</u>	174
<u>XI</u>	<u>V. スラ</u>	<u>テータスモニタ・エラーメッセージ</u>	174
	<u>(1)</u>	<u>これ以上ウィンドウを開くことができません</u>	174
	<u>(2)</u>	<u>指定したノード名称は存在しません</u>	174
	<u>経歴</u>	<u> </u>	175
<u>I.</u>	<u>概要</u> .		175
	<u>(1)</u>	<u>経歴検索について</u>	175
	<u>(2)</u>	<u>検索の基本操作</u>	175

<u>II.</u>	操作	<u> 『の詳細</u> 1	76
	(1)	サーバー接続1	76
	(2)		77
	(3)	 検索の開始1	78
	(4)		78
	(5)	 ファイル操作1	78
	(6)	 印刷11	80
	$\overline{(7)}$	1 オプション1	83
	(8)	 表示1	84
	(9)	 検索条件の設定例1	84
	 デ-		85
I.	概要	1	85
	(1)	注意1	85
II.	使用]方法1	86
	(1)	 起動する1	86
	(2)	 終了する1	86
	(3)	 回線の設定11	86
	(4)	 アドレスを設定する1	87
	(5)		88
	(6)	リトライ回数を設定する12	88
	(7)		89
	(8)	 上り分岐増幅部制御を設定する10	89
	(9)	 上り幹線増幅部制御を設定する19	90
	(10)		90
	(11)	 通信を停止する19	91
	(12)		91
	(13)		92

はじめにお読みください

(1)概要

ステータスモニタセンターソフトは、双方向CATV施設での増幅器などの運用状態を 常時監視・制御・データ蓄積するソフトウェアです。

- (2)特長
 - 770MHzおよび450MHzの双方向CATVシステムに対応しています。
 双方向光送受信機・双方向幹線増幅器・双方向幹線分岐増幅器・双方向延長増幅器、 それぞれの監視・制御・データ蓄積が可能です。
 - C COR社FlexNetノードアンプに対応しています。
 ノードアンプの監視・制御・データ蓄積が可能です。
 - 日本CATV技術協会規格の標準仕様にも対応しています。
 独自のコマンドに加え、標準仕様に採用されているコマンドもサポートしていますので、標準仕様に準拠したCATV機器の監視・制御・データ蓄積も可能です。
 - 4. アンプの異常発生、復旧の情報をポケベル¹、携帯電話(ショートメール²)、電子メールに通報が可能です。
 - 5. サーバー&クライアント方式で複数(推奨5台以内)のクライアントを接続して、 監視制御情報を共有することが可能です。
 - 6. グラフィック・ユーザ・インタフェイスの採用で見やすく操作性に優れたソフトウ ェアを実現しています。また、複数のウィンドウを開いて操作することができます。

1・・・NTTドコモのネクストサービスにのみ対応しています。

2 · · · N T T ドコモのショートメールサービスにのみ対応しています。

(3)システム構成

[概観図]



本ソフトのシステム構成は[センター]、[サブセンター]、および[データベースサーバー] で構成されています。 それぞれ、次のような運用形態をあらわします。

[センター]

サブセンターと専用回線を通じてデータ通信を行い、CATV 施設の機器を遠隔で監視、 制御することができます。 複数の場所に設置することができます。

[サブセンター]

RFモデムを通じて CATV 施設と接続されており、機器の監視や、制御、各種設定など を管理します。 施設ごとに複数設置することができます。

それぞれのサブセンターの名称をデータベースサーバーに登録して運用されます。

[データベースサーバー]

CATV 施設での運用状態の監視/制御データや、各種設定状態を蓄積、管理します。 サブセンターのパソコン内に設置します。 最低1箇所のサブセンターに設置する必要がありますが、CATV 施設の規模に応じて複 数設置することができます。 1箇所のデータベースサーバーには5箇所程度のサブセンターを登録することができま すが、それ以上登録すると処理能力が低下します。

注意

1つの監視・制御ソフトで監視・制御できるサブセンターは1つです。同時に複数のサ ブセンターとは通信できません。

(4)規格

項目	規格	
最大管理ユニット数	9999	
制御・監視項目 管理項目	 機器品番、STM品都 STMアドレス 、機 電柱 、グループ名、	^昏 、通信形式、施設電源 器 、シリアル 、PS EQ、BON、ATT
最大制御項目数	2 値情報: 8	
最大監視項目数	2 値情報:1 6、数値	直情報: 8
機能	系統図表示、機器個別 の発信、携帯電話への 450/770MHz	別監視・制御、遠隔監視・制御、ポケベルへ D発信、エラー・監視・制御・経歴一覧表 ₂ システム対応
対応ユニット	S T K - 1 0 1 ~ S T	ГК - 112
対応モデム	DRM-9002、 D	DRM - 103
	コンピュータ本体	Pentium /500MHz以上を
		搭載するパーソナルコンピュータ
		(PC/AT互換機)
	基本ソフト(OS)	Windows2000 Pro(SP2) 日本語版
	((IE5.00SP2)以降
	メモリ	128MB以上
	ハードディスク	インストールには500MB以上の空き
		容量が必要
 動作環境(推奨)	ディスク装置	フロッピィディスクドライブ 1 基
		CD-ROMドライブ1基
	シリアルポート	2ポート 1
	電話モデム	1ポート(内蔵タイプ) 1
	ネットワークポート	100BASE-TX 1ポート
	ディスプレイ	本体に接続可能で解像度が
		8 0 0×6 0 0 以上のもの
	その他	本体に接続可能なキーボード、マウス
		およびプリンタ
		O S に準じた日本語入力システム
パッケージ内容	ディスク 1 枚(C D 0	ひみ) 取扱説明書 1 部

1 遠隔監視・制御側 PC には必要なし

- (5)データベースのバックアップについて
 - データベースのバックアップは通信サーバーが自動的に行います。
 - バックアップするタイミングは、コンピュータの日付変更時です。
 - 日付の変更時にバックアップファイルを上書きするので、前日データのみ保存されます。
 - 以前の状態に戻すためには普段からユーザーが手動でバックアップを行い、バック アップファイルのコピーを別の場所に保存しておく必要があります。

[手動でバックアップを行うには]

- [スタートボタン]をクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]をポイントして、[データベースのバックアップ]をクリックします。
- バッチファイルが起動し、バックアップファイルがCドライブのルート(C:¥) に保存されます。
- 3. 次の3つのファイルのコピーをとり、別の場所に保存します。
 - stc95sq1.bak
 - stc95sq2.bak
 - stc95sq3.bak

[リストアを行うには]

- 1. ステータスモニタセンターソフトのすべてのプログラムを終了します。
- バックアップ作業で保存した3つのファイルをCドライブのルート(C:¥)に上書きコピーします。
- 3. ステータスモニタセンターソフトがあるフォルダ(デフォルトの設定でインストールした場合は C:¥Program Files¥STC9506)内にある[stc95res.bat]を実行します。
 - 注意 リストア作業を行うと、それまでに記録されたデータベースの内容がすべて上書きされます。緊急時以外はこの操作を絶対行わないでください。

セットアップ

I. セットアップ

(1)セットアップの概要

セットアップでは次のソフトウェアをインストールします。

- ステータスモニタ
- 通信サーバー
- サブセンターの登録
- 系統図作成
- 経歴検索
- データ伝送確認
- データベースサーバーの設定など

[データベースサーバーについて]

- データベースサーバーは、運用状態の監視/制御データや、各種設定状態を蓄積、
 管理するソフトウェアです。
- データベースサーバーに、セットアップしたコンピュータの施設名(サブセンタ ー名)を登録して運用します。

(2)ソフトウェア構成

[ステータスモニタセンターソフト]

ステータスモニタセンターソフトは、次の6種類のソフトウェアから構成されています。

ステータスモニタ

ステータスモニタソフトは、機器に内蔵されたステータスモニタユニットと通信す ることで、双方向CATV施設での機器の運用状態を監視・制御します。

通信サーバー

通信サーバーは、RFモデムを通じて実際の機器とデータの通信を行うソフトで、 ポケベルの送信やステータスモニタソフトとの通信などを行います。

サブセンターの登録

サブセンターの登録ソフトは、施設の名称を登録するソフトです。データベースに 系統図や機器のデータを登録できるようにします。

系統図作成

系統図作成ソフトは、系統図の登録や機器の個別設定をするソフトです。

経歴検索

経歴検索ソフトは、ステータスモニタセンターソフトの経歴情報を記録したデータ ベースから任意の条件でデータを検索し、表示および印刷するソフトです。 データ伝送確認

データ伝送確認ソフトは、ステータスモニタユニットとデータ伝送が正常に動作し ているかを確認するソフトです。

(3) その他セットアップに必要なファイル

ステータスモニタセンターソフトをセットアップする前に、以下のファイルをセットア ップしておく必要があります。あらかじめ用意しておいてください。

- Internet Information Service 5 ... Windows2000のCDに添付
- Windows2000 Service Pack 4 ... ダウンロードまたは雑誌付録等の CD
- ドライブの NTFS 化 ... Windows2000 本体に付属
- MSDE ...本製品の CD 内に添付
- SQL Server 7.0 Service Pack 4 ... ダウンロードまたは雑誌付録等の CD

(4)運用形態によるセットアップの違い

運用形態によってセットアップするソフトウェアが以下のように異なります。 それぞれのセットアップ手順にしたがって、ソフトウェアをインストールしてください。

監視 / 制御、および各設定を行うコンピュータ(サブセンターまたはサブセーター が無い施設)

RFモデムに直接接続しており、各設定などを行うコンピュータには、次のソフト ウェアをインストールします。

データベースサーバーを設置する場合は、さらにデータベースサーバーの設定を行 います。

- ステータスモニタ
- 通信サーバー
- サブセンターの登録
- 系統図作成
- 経歴検索
- データ伝送確認
- データベースサーバーの設定など(データベースサーバーを設置する場合)

監視 / 制御のみ行うコンピュータ(遠隔 PC)

RFモデムには接続されておらず、遠隔監視と制御のみを行うコンピュータには、 次のソフトウェアをインストールします。

- ステータスモニタ
- 経歴検索

[データベースサーバーについて]

- データベースサーバーは、運用状態の監視/制御データや、各種設定状態を蓄積、 管理するソフトウェアです。
- データベースサーバーはサブセンター用の PC にインストールします。
- サブセンターのうち最低1箇所には設置する必要があります。また、複数のサブセンターに設置することも可能です。

- データベースサーバーに、それぞれのサブセンターの名称をサブセンターの登録ソ フトで登録して運用します。
- 1箇所のデータベースサーバーには5箇所程度のサブセンターを登録することができますが、それ以上登録すると処理能力が低下します。

(5)ご注意

次の項目に注意してセットアップを開始してください。

- 1. ステータスモニタセンターソフトは、Windows2000 専用です。他のOSにセット アップしないでください。
- 2. ステータスモニタセンターソフトのセットアップおよび動作時は Administrator で ログインしてください。
- ステータスモニタセンターソフトをセットアップするときは、コンピュータに他の アプリケーションがセットアップされていないことを確認してから開始してください。
- ステータスモニタセンターソフトをセットアップしたコンピュータに他のアプリケ ーションをセットアップしないでください。
- 5. それぞれのソフトのセットアッププログラムが開始されたら、途中で中止せずに最 後までセットアップしてください。

(途中でセットアップを中止することはできますが、ステータスモニタセンターソフトを安全に動作させるため、セットアップを完了してから削除するようにしてください。)

- 6. それぞれのソフトはすべてデフォルトフォルダ(ディレクトリ)にセットアップしてください。
- ステータスモニタセンターソフトをセットアップするディレクトリの空き容量は 500MB以上必要です。空き容量を確保してからセットアップを開始してください。
- 8. 本システムのネットワーク環境は、それぞれのコンピュータの IP アドレスを固定 のプライベートアドレスで管理する必要があります。
- 9. インターネットへの接続は絶対に行わないでください。
- 10.セットアップを完了したサブセンターPC のコンピュータ名は絶対に変更しないで ください。

(6) サブセンターPC のセットアップ手順

次の手順でセットアップを行ってください。 詳細は、[セットアップする]の項のそれぞれのセットアップ手順にしたがってください。

[手順]

- データベースサーバーを設置する場合
- 1. ドライブのファイルシステムが NTFS でない場合 (FAT32 など) は、NTFS に変換する。
- 2. Internet Information Service 5 をインストールする。
- 3. Windows2000 Service Pack 4 をインストールする。
- 4. MSDE をインストールする。
- 5. SQL Server 7.0 Service Pack 4 をインストールする。
- 6. サブセンターPC 用のステータスモニタセンターソフトをセットアップする。
- 7. IP アドレスを固定のプライベートアドレスに設定する。
- 8. 共有フォルダを作成する。
- データベースサーバーを設置しない場合
- 1. ドライブのファイルシステムが NTFS でない場合(FAT32 など)は、NTFS に変換する。
- 2. Windows2000 Service Pack 4 をインストールする。
- 3. サブセンターPC 用のステータスモニタセンターソフトをセットアップする。
- 4. IP アドレスを固定のプライベートアドレスに設定する。
- 5. データベースサーバーを設置したサブセンターPCの共有フォルダに接続する。

(7)センターPCのセットアップ手順

次の手順でセットアップを行ってください。 詳細は、[セットアップする]の項のそれぞれのセットアップ手順にしたがってください。

[手順]

- 1. ドライブのファイルシステムが NTFS でない場合 (FAT32 など) は、NTFS に変換する。
- 2. Windows2000 Service Pack 4 をインストールする。
- 3. センターPC 用のステータスモニタセンターソフトをセットアップする。
- 4. IP アドレスを固定のプライベートアドレスに設定する。
- 5. データベースサーバーを設置したサブセンターPCの共有フォルダに接続する。

11. セットアップする

(1)ドライブを NTFS に変換する

[操作方法]

- [スタート]ボタンをクリックし[プログラム][アクセサリ]をポイントして[コマンドプ ロンプト]をクリックします。
- 2. 下記のとおり入力し、[Enter]キーを押します。(全て半角)

C:¥>convert c:/fs:ntfs

3. 次のように表示されるので[Y]を入力し、[Enter]キーを押します。

ファイルシステムの種類はFATです。 CONVERT で C:ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、 現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換を スケジュールしますか (Y/N)

(2) Internet Information Service 5 のセットアップ

[操作方法]

- [スタート]ボタンをクリックし[設定]をポイントして[コントロールパネル]をクリックしてください。
- 2. [アプリケーションの追加と削除]をクリックしてください。
- 3. [Windows コンポーネントの追加と削除]をクリックし、[インターネットインフォメ ーションサービス(IIS)]のチェックボックスを[ON]にして次へボタンをクリックし てください。
- 4. 引き続き画面の指示に従って操作してください。

Windows コンポーネント ウィザード	×
Windows コンボーネント Windows 2000 のコンボーネントを追加または削除できます。	3
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するコンボーネントを選んでく ックスは、コンボーネントの一部がインストールされることを表します。コンボーネ 示するには、[詳細] をクリックしてください。 コンボーネント(©):	ださい。影付きのチェック ボ ントに含まれているものを表
 ✓ そ インターネット インフォメーション サービス (IIS) ✓ デインデックス サービス □ 合 スクリプト デバッガ □ 合 そのほかのネットワーク ファイルと印刷サービス 	18.8 MB 0.0 MB 1.1 MB 0.1 MB
説明: IIS サービス (Web と FTP のサポート) と FrontPage、処理 続、投稿受信のサポート 必要なディスク領域の合計: 0.2 MB 空きディスク領域: 1058.7 MB	、ASP、データベースの接
< 戻る(<u>B</u>)	次へ(11)> キャンセル

(3)Windows2000 ServicePack 4のインストール

[操作方法]

- 1. Windows2000 Service Pack 4 のセットアッププログラムを実行してください。
- 2. メニューにしたがってクリックしていくとセットアップは完了します。
- 3. 完了後、パソコンを再起動してください。
- (4) MSDE をインストールする
- [操作方法]
 - 1. 本製品の CD 内の「MSDE」フォルダにある Setup.bat を実行してください。
 - 2. コマンドプロンプト画面が次のように表示されます。

セットアップ完了まで数分かかります。しばらくお待ちください。

©C¥WINNT¥System32¥cmd.exe Q:¥MSDE>start /wait msdex86.exe -s -a -f1 ″sql70ins.iss″

 セットアップが完了すると、コマンドプロンプト画面が自動的に閉じるので、完了 後パソコンを再起動してください。

MSDE のセットアップ以降はコンピュータ名の変更は絶対に行わないでください。

(5)SQL Server 7.0 Service Pack 4のインストール

[操作方法]

- 1. あらかじめ準備しておいた SQL Server 7.0 Service Pack 4 を実行してください。 (ファイル名: Jp_sql70sp4.exe)
- インストールフォルダを指定する画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックしてください。
- 3. インストール(解凍先)フォルダにある setup.bat を実行してください
- SQL サーバーへ接続する認証モードを選択する画面が表示されたら、「コンピュー タにログオンに使用した WindowsNT アカウント情報」を選択し、[次へ]ボタンを クリックしてください。

サーバーの接続		×
	セットアップが SQL Server への接続に使用する認証モードを選択し てください。	
	 SQL Server システム管理者のログイン情報 (SQL Server 認証) SA ログインのパスワードを入力してください: コンピュータにログオンに使用した Windows NT アカウント情報 (Windows NT 認証)(W) 	
	< 戻る(B) (次へ(N))> キャンセル	

5. 認証モードの設定を選択する画面が表示されたら「Windows 認証モード」を選択し、 [次へ]ボタンをクリックしてください。

	×
警告: SQL Server インストールの既定のセキュリティの選択は変更されます。	
混在モードのセキュリティを使用し続ける場合は、サービス バックのセットアップを続行する前I なオプションを変更し、'sa' ログインのパスワードを設定してください。	C適当
● Windows 認証モード(W)	
○ 混在モード (Windows 認証および SQL Server 認証)(M)	
SA ログインのパスワードを追加:	
パスワードの入力(E):	
バスワードの確認(生):	
▶ 空のバスワード (非推奨)(12)	
< 戻る(B) 次へ(N) > キャ	ンセル

セットアップ完了まで10分以上かかります。しばらくお待ちください。
 完了後、パソコンを再起動してください。

(6)ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(サブセンター)

[注意]

サブセンターまたはサブセンターの無い施設のコンピュータにセットアップする場合の操作方法です。

[操作方法]

- ステータスモニタセンターソフトのインストール CD を CD ROM ドライブにセットすると WEB ブラウザが自動的に起動し、セットアップの説明画面が表示されます。
 起動しないときは、インストール CD 内の [setup.bat]をダブルクリックしてください。
- 表示されている説明をよくお読みになり、サブセンター用の[セットアップを開始 する]ボタンをクリックします。
- 3. 次のような画面が表示され、しばらく後に、[Microsoft Access 2000 ランタイム版] をインストールするよう促す画面が表示されます。[OK]をクリックします。



インストールしようとしているアフツケーションには Microsoft Access 2000 が必要です。セットアッフでは終了し、Microsoft Access 2000 ランタイム セットアッフ°フログラムが起動します。 OK キャンセル 4. [インストールの準備]ダイアログボックスでは[今すぐインストール]ボタンを クリックします。

🔂 Microsoft Ac	cess 2000 ランタイム版: インストールの準備
	今すぐインストール① Microsoft Access 2000 ランタイム版 を C:¥Program Files¥Microsoft Office¥ART にインスト ール
	カスタマイズ (U) Microsoft Access 2000 ランタイム版 のインストール先を指定してください
	キャンセル

5. メニューの指示通り進んでいくと、[Microsoft Access 2000 ランタイム版]がコ ンピュータにインストールされ、終了画面が表示されるので[OK]をクリックします。

🔂 Microsoft Access 2000 ランタイム版 のインストール	×
Microsoft Access 2000 Runtime をインストールしています	
	キャンセル
🔂 Microsoft Access 2000 Runtime セットアップ 💦 🔀	
Microsoft Access 2000 SR-1 Runtime のセットアッ プが正常に終了しました。	
ОК	

6. コンピュータが自動的に再起動され、起動が終わるとステータスモニタセンターソフトのインストール画面が表示されます。[OK]をクリックします。

1	ステータスモニタセンターソフト セットアッフ [®]
	ステータスモニタセンターソフト のセットアップを始めます。
	セットアップ プロゲラムでは、システム ファイルや共有ファイルが使用中のとき、その ファイルの追加や更新はできません。起動している他のアプリケーションを終了す ることをお勧めします。
-	
	OK 終了⊗

7. セットアップ開始画面が表示され、[開始]ボタンをクリックすると、ステータスモニタセンターソフトのインストールが開始されます。

🚚 ステータスモニタセンターソフト セットアップ	×		
セットアップを開始するにコポ次のホタンをクリックしてください。			
このホタンを別ックすると ステータスモニタセン されたディルクトリニセットアップされます。	ターソフト アフツケーションが指定		
ーディレクトリ: C:¥Program Files¥STC9506¥	ディレクトリ変更(©)		
終了凶			

8. 次にプログラムグループを選択する画面が表示されます。[継続]をクリックします。

🕵 ステータスモニタセンターソフト - プロゲラム ゲループの選択		×
セットアッフりま [プロウラム ウループリ ボックスに表示されたグルーフ 追加します。 新しい ヴループ名を入力することも、既存の リストから選択することもできます。	パこ項目を ウルーフ	
プログラム グループ(<u>P</u>): <mark>ステータスモニタセンターソフト</mark>		
既存のゲルーフ°⊗:		
スタートアップ ステータスモニタセンターソフト		
推続(C) キャンセル		_

9. インストールが完了すると、セットアップの完了画面が表示されるので、[OK]をク リックします。

ステータスモニタセンターソフト セットアップ
ステータスモニタセンターソフト のセットアップが完了しました。
OK

10. 次にデータベースのコピーが行われます。コピーが終了すると、ステータスモニ タセンターソフトのセットアップは完了です。

- (7) ステータスモニタセンターソフトのセットアップ(センター)
- [注意]

センター(遠隔監視)のコンピュータにセットアップする場合の操作方法です。

[操作方法]

- ステータスモニタセンターソフトのインストール CD を CD ROM ドライブにセットすると WEB ブラウザが自動的に起動し、セットアップの説明画面が表示されます。
 起動しないときは、インストール CD 内の [setup.bat]をダブルクリックしてください。
- 2. 表示されている説明をよくお読みになり、センター用の[セットアップを開始する] ボタンをクリックします。
- 3. ステータスモニタセンターソフトのインストール画面が表示されます。[OK]をクリ ックします。

2	ステータスモニタセンターソフト セットアップ
	ステータスモニタセンターソフト のセットアッフを始めます。
	セットアッフ [®] フロケラムでは、システムファイルや共有ファイルが使用中のとき、その ファイルの追加や更新はできません。起動している他のアフリケーションを終了す ることをお勧めします。
-	

4. セットアップ開始画面が表示され、開始ボタンをクリックすると、ステータスモニ タセンターソフトのインストールが開始されます。

🛃 ステータスモニタセンターソフト セットアップ	×		
セットアップを開始するには次のホタンを切っつしてください。			
このボタンを別ックすると ステータスモニタセンされたディレクトリニセットアップされます。	ターソフト アフツケーションが指定		
ーディレクトリ: C:¥Program Files¥STC9506¥	ディレクトリ変更(C)		
終了♡			

5. 次にプログラムグループを選択する画面が表示されます。[継続]をクリックします。

🕵 ステータスモニタセンターソフト - プログラム グループの選択	×
セットアッフりま [プロンウラム ウルーフり ボックスに表示されたグルーフりこ項目を 追加します。 新し、 ヴループ名を入力することも、既存のヴループ リストから選択することもできます。	
プロゲラム ケループ(<u>P</u>): <mark>ステータスモニタセンターソフト</mark>	
既存のゲルーフ°⊗: アクセサリ	
ステータスモニタセンターソフト	
	_

6. インストールが完了すると、セットアップの完了画面が表示されるので、[OK]をク リックします。

ステータスモニタセンターソフト セットアップ			
ステータスモニタセンターソフト のセットアップが完了しました。			
<u>OK</u>			

7. 次にデータベースのコピーが行われます。コピーが終了すると、ステータスモニタ センターソフトのセットアップは完了です。

(8) IP アドレスの設定

[操作方法]

- Windows の[ネットワークとダイヤルアップ接続]の[ローカルエリア接続]をダブル クリックすると[ローカル エリア接続 状態]ウィンドウが表示されるので、[プロパ ティ]ボタンをクリックします。
- 2. [ローカル エリア接続のプロパティ]ウィンドウが表示されるので、[インターネット プロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- [インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ]ウィンドウが表示されるので、IP アドレスを自動的に取得する設定になっている場合は、固定のプライベートアドレスに設定してください。

(9)共有フォルダを作成する

[操作方法]

1. データベースサーバーを設置したサブセンターPC には共有フォルダを作成する必要があります。次のように設定してください。

マイ コンピュータの適当なところに空のフォルダを作成します。(例.C:¥temp) 作成したフォルダのプロパティの共有タブで、[このフォルダを共有する]を選択 し、[OK]をクリックします。

tempመプロパティ				
全般 共有 セキュリティ				
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには [このフォルダを共有する] をクリックしてください。				
○ このフォルダを共有しない(N)				
● このフォルタを共有する(S)				
共有名(H): temp				
<u>الالا</u>				
ユーザー制限: ⓒ 無制限(M)				
○ 最大ユーザー数(W) 📃 🚍				
ネットワークを経由してユーザーがこのフォルダにアクセ スするためのアクセス許可を設定するには、「アクセス許 可] をクリックしてください。				
この共有フォルダへのオフライン アクセスを設定するに キャッシュ(G) は、[キャッシュ]をクリックしてください。				
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)				

(10) 共有フォルダに接続する

[操作方法]

1. データベースサーバーを設置したサブセンターPC の共有フォルダと接続可能な状態にします。次のように設定してください。

エクスプローラの[マイ ネットワーク]-[ネットワーク全体]-[Microsoft Windows Network]の中にある[サブセンターPC が属するワークグループ]-[サブセンターの PC 名]をたどり、サブセンターPC で作成した共有フォルダを右クリックします。

メニューの中の[ネットワーク ドライブの割り当て]をクリックします。

[ログオン時に再接続する]にチェックを入れ、[完了]をクリックします。

ネットワーク ドライブの割り当て	X
	共有ネットワーク フォルダに接続して、そのフォルダにドライブ文字を割り 当てることができます。ドライブ文字を割り当てるとマイ コンピュータを使 ってそのフォルダにアクセスできます。 接続に必要なドライブ文字と接続するフォルダを指定してください:
	ドライブ(D): E: フォルダ(Q): ¥¥Subcenter¥TEMP
	< 戻る(日) (二二元了 キャンセル

|||. セットアップが完了したら

(1)セットアップが完了したら

セットアップが完了したら、次の手順を行ってください。 操作の詳細は、取扱説明書か、各ソフトのヘルプをご覧ください。

サブセンターの場合

[操作方法]

1. サブセンターを登録する

サブセンターの登録ソフトでサブセンターの名称をデータベースに登録してください。

2. 系統図を作成する

運用されている各施設の系統図に合わせて、系統図作成ソフトで系統図を作成して ください。

- 通信サーバーを起動する
 通信サーバーを起動し、正常に通信が行われていることを確認してください。
- 4. ステータスモニタを起動する

ステータスモニタを起動し、正常に監視、制御が行えることを確認してください。

5. あとは必要に応じて、経歴検索ソフトや、データ伝送確認ソフトで、運用状態を確認します。

センターの場合

[操作方法]

- すでにサブセンターのセットアップが完了し、正常に運用されていることを確認します。
- 2. ステータスモニタを起動する

ステータスモニタを起動し、正常に監視、制御が行えることを確認してください。

3. あとは必要に応じて、経歴検索ソフトで、運用状態を確認します。

IV. バージョンアップ

(1) 概要

ステータスモニタセンターソフトのバージョンアップを行います。 対応機種は次のとおりです。

- STC 9503 Ver1.0
- STC 9503 Ver 1.1
- STC 9503 Ver1.2
- (2) ご注意

ステータスモニタ関連ソフトウェアをすべて終了してからバージョンアップを実施して ください。ソフトウェアが動作中ですと正しくバージョンアップできません。

(3) バージョンアップする

[操作方法]

- ステータスモニタセンターソフトのインストール CD を CD ROM ドライブにセットすると WEB ブラウザが自動的に起動し、セットアップの説明画面が表示されます。
 起動しないときは、インストール CD 内の [setup.bat]をダブルクリックしてください。
- 2. 表示されている説明をよくお読みになり、センター用の[バージョンアップを開始 する]ボタンをクリックします。
- [ステータスモニタセンターソフト・バージョンアップ]を表示しますので、[次へ] ボタンをクリックします。



 バージョンアップを適用するフォルダを確認して[次へ]ボタンをクリックします。 適用フォルダが空白の場合は、[参照]ボタンで[フォルダの選択]ダイアログボ ックスを表示しフォルダを選択します。(標準では C:¥Program Files¥stc9506 に セットアップされています。) 5. バージョンアップを適用する場合は、[はい]ボタンをクリックします。



6. バージョンアップの進捗を表示します。

ステータスモニタセンターソフト・	・バージョンアップ
	ステータスモニタセンターソフト
	パージョンアップ
DX ANTENNA	バージョンアップを適用しています。
	50%
-11-	しばらくお待ちください。
	キャンセル 〈戻る 次へ〉

7. 次の表示では[OK]ボタンをクリックします。



- ステータスモニタセンターソフト

 ATTENNA

 バージョンアップ

 バージョンアップが適用されました。

 第二ジョンアップが適用されました。
- 8. バージョンアップが適用されたので[完了]ボタンをクリックします。

9. [はい]ボタンをクリックします。



以上でバージョンアップの適用が完了しました。PCを再起動してください。

サブセンターの登録

1. 概要

(1)概要

サブセンターの登録は、施設の名称を登録するソフトです。

- 施設名をデータベースに登録し、系統図や機器の情報をデータベースに保持できるようにします。
- 施設内にサブセンターが複数ある場合、施設内にサブセンターがない場合にかかわらず施設名を最低1つは登録する必要があります。

[概観図]

🎒 サブセンターの登録		×
ファイル(E) 編集(E)	ヘルプ(円)	
サブセンター一覧		
MAIN CENTER SUB CENTER1		
SUB CENTER2		追加
		削除
I		保存

11. 起動と終了

(1)起動する

[操作方法]

 [スタート]ボタンをクリックし[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]をポ イントして[サブセンターの登録]をクリックします。

[注意]

サブセンターの登録ソフトを重複して起動することはできません。

(2)終了する

[操作方法]

1. [閉じる]ボタンをクリックして終了します。

|||. サーバーに接続する

(1)サーバーに接続する

[操作方法]

1. [接続]ボタンをクリックします。

🎒 サブセンターの登録		×
ファイル(E) 編集(E)	ヘルプ(円)	
サブセンター一覧		
		. 接続
		追加
		編集
		削除
		保存

2. 接続するデータベースサーバーのコンピュータ名を入力し、 [接続]ボタンをクリックします。

データベースサーバーの接続	×
サーバー名:	•
	接続

[ヒント]

サーバーの接続でコンピュータ名がわからない場合は次のようにして確認することが できます。

- データベースサーバーが設置されているコンピュータのデスクトップ、またはエ クスプローラ上にある[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして、ポップア ップメニュー内の[プロパティ]を選択します。
- システムのプロパティ]画面が表示されるので[ネットワーク ID]タブを選択すると、[フル コンピュータ名]のところに表示されている名称がコンピュータ名になります。
- 一度入力したコンピュータ名はドロップダウンリストに登録されるので、次回からは入力しなくてもリストから選択できるようになります。

Ⅳ. サブセンターを追加する、名称を変更する、削除する、または保存する

(1)サブセンターを追加する

[操作方法]

1. [追加]ボタンをクリックします。

🎒 サブセンターの登録		×
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>)	ヘルプ(円)	
サブセンター一覧		
MAIN CENTER		
SUB_CENTER2		
		編集
		削除
		保存
1		

2. 追加するサブセンター名を入力し[OK]ボタンをクリックします。入力できる文字 数は半角で64文字です。

サブセンターの名称		×
センター名:		
	ОК	キャンセル

3. 最後に[保存]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されますの で、[はい]をクリックすると入力した名称がデータベースに保存されます。 (2) サブセンターの名称を変更する

[操作方法]

1. 変更したいサブセンター名をサブセンター一覧でクリックし、[編集]ボタンをクリ ックします。

😂 サブセンターの登録		×
ファイル(E) 編集(E)	ヘルプ(円)	
サブセンター一覧		
MAIN CENTER SUB GENTER1		接続
SUB CENTER2		追加
		削除
		保存

2. 変更するサブセンター名を入力し[OK]ボタンをクリックします。

サブセンターの名称		×
センター名:		
	OK	キャンセル

3. 最後に[保存]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されますの で、[はい]をクリックすると変更した名称がデータベースに保存されます。

(3)サブセンターを削除する

[操作方法]

削除したいサブセンター名をサブセンター一覧でクリックし、[削除]ボタンをクリックします。

🚔 サブセンターの登録				x
ファイル(E) 編集(E)	ヘルプ(円)			
サブセンター一覧				
MAIN CENTER			接続	
SUB_CENTER2			追加…	
			×=>0	-
			編集	
			削除	
			保存	

2. 削除を行う場合は[はい]を、中止する場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

サブセンター	の登録					X
?	選択しているサブセン 削除したデータベース	ターとポーリング情 には元に戻りません。	潮などの関連する。 前除しますか?	データベースを	削除しま	:च.
		(III))	いいえ(<u>N</u>)			

(4)登録内容を保存する

保存を行うと、[追加]または[編集]で設定した内容がデータベースに保存されます。 設定内容を変更した場合は必ず保存操作を行ってください。

[操作方法]

1. [保存]ボタンをクリックします。



2. 保存する場合は[はい]を保存しない場合は[いいえ]をクリックします。

サブセンター	の登録								×
?	サブセ	ンター	一覧リン	ストの内容をデー	-タベースへ上書き	保存します。	よろし	いですか	?
			(any.	(いいえ(<u>N</u>)]			
系統図作成

1. 概要

(1)概要

ステータスモニタ・系統図作成ソフトは、ステータスモニタセンターソフトで使用する 系統図の作成、および機器の登録をするソフトです。

[概観図]



(2)操作概要

ステータスモニタ・系統図作成ソフトの作業領域には、スクリーンの上部にあるメニュ ー、ツールバーを使用して、系統図ウィンドウに機器の描画と設定を行います。

1. メニューバーの説明

 メニュー
 内容

 ファイル
 系統図の新規作成・保存などのデータベースに対する操作、ポーリン グデータの作成、印刷などの操作をするメニューです。

 編集
 系統図ウィンドウで、系統図を切り取り・コピー・貼り付けなどの操 作をするメニューです。

 表示
 作業している系統図ウィンドウでの表示に関する操作のメニューです。

 ツール
 系統図セルの大きさと、グループの設定をするメニューです。

 ウィンドウ
 系統図ウィンドウの表示方法を選択するメニューです。

 ヘルプ
 ヘルプとバージョン情報を表示するメニューです。

2. ツールバーの説明

ツール

内容

D 新しく系統図ウィンドウを作成します。 2 既存の系統図をデータベースから読み出して、系統図ウィンドウに表示しま す。 作業している系統図ウィンドウの内容をデータベースに保存します。 Ж 作業している系統図ウィンドウで、選択中の機器・線分を切り取ります。 Ð 作業している系統図ウィンドウで、選択中の機器・線分をコピーします。 8 作業している系統図ウィンドウで、切り取り、またはコピーした機器・線分 を貼り付けます。 $\left| \right\rangle$ 作業している系統図ウィンドウで、機器・線分を選択します。 — 作業している系統図ウィンドウに線分を描画します。 꼸 作業している系統図ウィンドウを再描画します。 Q 作業している系統図ウィンドウの表示を拡大します。 Q 作業している系統図ウィンドウの表示を縮小します。

3. ステータスバーの説明



- a) 系統図ウィンドウ上のマウス位置を表示します。
- b) マウス位置にある機器Noを表示します。
- c) マウス位置にある機種を表示します。
- ステータスモニタ・系統図作成ソフトでは、ボタンやテキスト入力領域にマウスを 移動させることで、簡単なヘルプを表示します。
- 系統図ウィンドウを表示しているときと、していないときで、表示するメニューが 異なります。
- (3)系統図の作成手順
 - 1. [系統図作成]ソフトを起動します
 - [ファイル][サーバー接続]メニューで接続するデータベースサーバーのコンピュータ 名を入力するか、ドロップダウンリストから選択後、[接続]ボタンをクリックしま す。
 - サブセンターの選択画面になるので、一覧よりサブセンターを選択し、[選択]ボタンをクリックします。
 - [ファイル][新規作成]メニュー、またはツールバーの[新規作成]で、新しい系統図ウ ィンドウを開きます。
 - 5. 実際の系統図を見ながら機器を配置します。
 - 6. 機器の位置を修正します。
 - 7. 機器をツールバーの[線分]を使用して接続します。
 - 8. 機器構成を[機器のプロパティ]ダイアログボックスで設定します。
 - 9. 保存します。
 - 10. ポーリングデータを作成します。

ポーリングデータが正しく作成されるまで、[8][10]の作業を繰り返します。

[ヒント]

サーバーの接続でコンピュータ名がわからない場合は次のようにして確認すること ができます。

- データベースサーバーが設置されているコンピュータのデスクトップ、または エクスプローラ上にある[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして、ポップ アップメニュー内の[プロパティ]を選択します。
- [システムのプロパティ]画面が表示されるので[ネットワーク ID]タブを選択する と、[フル コンピュータ名]のところに表示されている名称がコンピュータ名にな ります。
- 一度入力したコンピュータ名はドロップダウンリストに登録されるので、次回からは入力しなくてもリストから選択できるようになります。

11. ご注意

(1)系統図を作成する前に

系統図を作成するときは、次の項目に注意して作成を開始してください。

- 1. 系統図を作成・編集する前後に、バックアップを取ることをおすすめします。
- 2. 系統図を作成する前にサブセンターの登録ソフトで施設の名称を登録してください。
- 3. 系統図を作成・編集したときは必ずポーリング作成を行ってください。
- 4. 系統図を作成してから通信サーバー、ステータスモニタを起動してください。
- 5. 通信サーバー、ステータスモニタを起動中に系統図作成を起動しないでください。
- マウスで[クリック][ダウン][アップ]の操作をするときは左ボタンを使います。特に [右クリック]と表現しているときは右ボタンを使用します。
- 7. [コントロールパネル][画面][ディスプレイの詳細]タブの[フォントサイズ]で、[小さ いフォント]を選択してください。
- [コントロールパネル][画面][ディスプレイの詳細]タブのカラーパレットで[256 色]を選択したときと、[High Color][True Color]を選択したと きでは、系統図ウィンドウに表示する色が異なる場合があります。(このヘルプで は、[High Color]以上に設定したときの色で説明しています。)

111. 起動と終了

(1)起動する

[操作方法]

1. [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]を ポイントして、[系統図の作成]をクリックします。

[注意]

- 系統図作成ソフトを重複して起動することはできません。
- 通信サーバー起動中は系統図作成ソフトを起動しないでください。

(2)終了する

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[終了]をクリックします。

🖋 系統図作成	
ファイル(E) ツール(D) ヘルプ(H)	
サーバー接続(⊻) サーバー切断(<u>K</u>)	* •
新規作成(N) Ctrl+N	
開((<u>O</u>) Ctrl+O	
ノードの削除(<u>D</u>) ノード名称の変更(<u>H</u>)	
系統図のバックアップ(B) 系統図の復日(R) 系統図のインポートΦ	
ポーリングデータの作成(<u>P</u>)	
終了∞	

 系統図に変更がある場合、[系統図を保存してから閉じますか?]ダイアログボック スを表示しますので、保存してから終了するときは[はい]をクリックします。保存 しないで終了するときは[いいえ]をクリックします。保存しないで作業を続けると きは[キャンセル]をクリックします。

系統図作成			×
? 系統図を信	呆存してから閉じます	か?	
	いいえ(N)	キャンセル	

[注意]

次のメッセージが表示されたときは[はい]をクリックして、[ポーリングデータの作成]を行ってから終了してください。



Ⅳ. 系統図を開く、作成する、または保存する

(1)ファイル操作について

ステータスモニタセンターソフトでは、CATV施設のノードを単位として系統図を管理します。

系統図を新しく作成してデータベースに保存するときは、作成した系統図に対してノー ド名称を付けて保存するファイル操作が必要となります。また、作成済みの系統図を編 集するときもノード名称を指定して系統図を開くファイル操作をします。

(2)系統図を新しく作成する

系統図をはじめから新しく作成します。

[操作方法]

[ファイル]メニューをクリックし[新規作成]をクリックします。または、ツールバーの[新規作成]をクリックします。

🖋 系統図作成			🖋 ステータス
ファイル(E) ツール(E) ウィ	ンドウ巛)	ヘルプ(田)	ファイル(<u>E</u>) ツ
サーバー接続(⊻) サーバー切断(<u>K</u>)		* ••	
新規作成(<u>N</u>)	Ctrl+N		和形見T FDX
開((<u>O</u>)	Ctrl+O		
ノードの削除(<u>D</u>) ノード名称の変更(<u>H</u>)			
系統図のバックアップ(B) 系統図の復日(B)			
系統図のインポートΦ			
ポーリングデータの作成(P)			
終了⊗			

何も入力されていない新しい系統図ウィンドウを表示します。

[新規作成]操作をしたとき、次のようなダイアログボックスが表示されることがありま す。必要な項目を参照してください。

<u>これ以上ウィンドウを作成できません</u> ・・・・・ (11)

(3)既存の系統図を編集する・系統図を開く

保存済みの系統図を開いて、系統図ウィンドウに表示し、作業できる状態にします。

[操作方法]

 [ファイル]メニューをクリックし、[開く]をクリックします。または、ツールバーの [開く]をクリックします。



2. [開く]ダイアログボックスで、作業したいノード名称(の系統図)を選択して、[開く]ボタンをクリックします。中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

猒			×
ノード一覧			
Sample1	👫 Sample2	🔁 Sample3	
ノード名称:	Sample3		
	1		
			キャンセル

選択したノード名称(の系統図)を系統図ウィンドウに表示します。

[開く]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックしたとき、次のようなダイアログボ ックスが表示されることがあります。必要な項目を参照してください。

<u>これ以上ウィンドウを作成できません</u> ・・・・・ (11)
 <u>すでに開いているノード名称は開けません</u> ・・・・・ (12)
 指定されたノード名称は存在しません ・・・・・ (13)
 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています ・・・・・ (14)

(4)系統図を削除する

選択している機器・線分の情報を削除します。

[操作方法1]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. [編集]メニューをクリックし[削除]をクリックします。

🖋 系統図作	≡ø\$		
ファイル(E)	編集(E)	表示⊙	ツール①
	切り取り コピー(Q)(<u>T</u>) Ctrl+ ;) Ctrl+	x c
🖉 ノード1	貼り付け	∮(₽) Ctrl+	V
機器No.	削除(<u>D</u>) Del	
アドレスNa:	18	€ IN側7	ドレス:

[操作方法2]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. マウスを右クリックしポップアップメニューで[削除]をクリックします。



- 機器・線分を選択していない状態ではこの操作はできません。
- 削除した系統図はクリップボードへはコピーされません。
- 削除した機器・線分を元に戻すことはできません。

(5)系統図を保存する

作業中の(選択されている)系統図ウィンドウの内容をデータベースに保存します。 複数の系統図ウィンドウで作業している場合は保存したいウィンドウを選択してから保 存を行ってください。 一度にすべての系統図ウィンドウを保存することはできません。 保存操作をせずに系統図ウィンドウを閉じたときは、作業内容はデータベースへ保存さ れません。

必要な項目を参照してください。

<u>系統図を上書き保存する</u> ・・・・ (6) <u>系統図に新しいノード名称を付けて保存する</u> ・・・・ (7) (6)系統図を上書き保存する

作業中の系統図ウィンドウの内容を、現在のノード名称でデータベースへ保存します。

[重要]

保存操作を行った場合は、プログラムを終了する前に必ずポーリングデータの作成を行ってから終了してください。ポーリングデータの作成を行わないまま終了すると、デー タに不整合が生じる可能性があります。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[上書き保存]をクリックします。または、ツール バーの[保存]をクリックします。

	🖋 系統図作成			🖋 ステータスモ
	ファイル(E) 編集(E) 表示(<u>)</u>	の ツール(1	り ウィンドウ(W)	ファイル(<u>E</u>) 編約
l	新規作成(N)	Ctrl+N	ଳା ଭାଇ	
I	開((0)	Ctrl+O		
l	閉じる(<u>C</u>)			<u>[1#17]</u>
l	上書き保存(S)	Ctrl+S		Samplat
l	ノード名称を付けて保存(<u>A</u>)			
l	ノードの削除(D)			
l	ノード名称の変更(<u>H</u>)			
l				
I				
I	フリンタの設定い <u>ビ</u> ル。	Otal D		
I	/	Otri+P		
l	終了──			
			-	
1				

 [データベースの保存]ダイアログボックスのバーがいっぱいになるまで、しばらく お待ちください。

データベー	-スの保存
COMWa	atch Table
	16%

作業中の系統図ウィンドウを初めて保存するときは、次の操作をします。

<u>系統図に新しいノード名称を付けて保存する</u> ・・・・ (7)

(7)系統図に新しいノード名称を付けて保存する

作業中の系統図ウィンドウの内容に新しいノード名称を付けて、データベースへ保存し ます。作業中の系統図ウィンドウを初めて保存するときや、異なった名称で保存すると きに、この操作をします。

[重要]

保存操作を行った場合は、プログラムを終了する前に必ずポーリングデータの作成を行ってから終了してください。ポーリングデータの作成を行わないまま終了すると、データに不整合が生じる可能性があります。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[ノード名称を付けて保存]をクリックします。

🖋 系統図作	E.F发			
ファイル(E)	編集(E)	表示♡)	シール①	ウィンドウѠ
新規作成 問((0)	(<u>N</u>)	0	trl+N of trl+O 4	: QQ
- 閉じる(<u>C</u>)		-		
上書き保護	存(<u>S</u>)	0	trl+S	
ノード名称	を付けて保	存(<u>A</u>)		
ノードの削 ノード名称	除(<u>D</u>) の変更(<u>H</u>))		
ポーリング:	データの作用	戎(<u>P</u>)		
プリンタの言 印刷(<u>2</u>)	设定(<u>R</u>)	С	trl+P	
終了⊗				

 [ノード名称を付けて保存]ダイアログボックスで、ノード名称テキストボックスに 保存する名称を入力して、(例では Sample5)[OK]ボタンをクリックします。保存 しないときは[キャンセル]ボタンをクリックします。ノード名称は半角128文字 まで入力できます。

ノード名称を付け	けて保存			×
ノード一覧				
K Sample1	₩ Sample2	∦≿ Sample3	¦t Cample4	
ノード名称:	Sample5			保存
				キャンセル

 [データベースの保存]ダイアログボックスのバーがいっぱいになるまで、しばらく お待ちください。

データベー	-スの保存
COMWa	atch Table
	16%

[ノード名称を付けて保存]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックしたとき、次のようなダイアログボックスが表示されることがあります。必要な項目を参照してください。

<u>ノード名称が入力されていません</u> ・・・・・ (15) <u>すでにノード名称が存在しています</u> ・・・・・ (16)

(8)系統図のノード名称を変更する

保存済みの系統図のノード名称を変更します。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[ノード名称の変更]をクリックします。

🖋 系統図作成		
ファイル(E) ツール(T)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(田)
サーバー接続(⊻) サーバー切断(<u>K</u>)		* •
新規作成(N)	Ctrl+N	
開((<u>O</u>)	Ctrl+O	
ノードの削除(<u>D</u>)		
ノード名称の変更(上	D	
系統図のバックアップ 系統図の復日(<u>R</u>)	(<u>B</u>)	
系統図のインボート	Ð	
ポーリングデータの作	成(P)	
終了⊗		

[ノード名称の変更]ダイアログボックスで、変更したいノード名称を選択して、[変更]ボタンをクリックします。中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

ノード名称の変更	E			×
ノード一覧				
怪:Sample1 문:Sample5	∦ Sample2	Sample3	-∰-Sample4	
ノード名称:	Sample3			変更
				キャンセル

3. [ノード名称の設定]ダイアログボックスで、新しいノード名称を入力して、[OK]ボ タンをクリックします。中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

ノード名称の設定					×
ノード名称:					
	_		_	_	
		0	K	(‡	ゃンセル

[ノード名称の変更][ノード名称の設定]ダイアログボックスで[OK]ボタンをクリックしたとき、次のようなダイアログボックスが表示されることがあります。必要な項目を参照してください。

<u>指定されたノード名称は存在しません</u> ・・・・・ (13) <u>指定したノード名称は既に使われています</u> ・・・・・ (18)

(9)既存の系統図を削除する

入力済み系統図のノード名称を指定して削除します。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[ノードの削除]をクリックします。

🖋 系統図作成		
ファイル(E) ツール(T)	ウィンドウѠ	ヘルプ(田)
サーバー接続(⊻) サーバー切断(<u>K</u>)		* •
新規作成(N)	Ctrl+N	
開(⊙)	Ctrl+O	
ノードの削除(<u>D</u>)		
ノード名称の変更(<u>H</u>)	
系統図のバックアップ 系統図の復日(R)	(<u>B</u>)	
系統図のインボート(<u>р</u>	
ポーリングデータの作り	成(<u>P</u>)	
終了⊗		

2. [ノード削除]ダイアログボックスで、削除したいノード名称を選択して、[削除]ボタ ンをクリックします。中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

ノード削除				×
ノード一覧				
K Sample1	∦≿ Sample2	¦t≩ Sample3	∦≩ Sample4	
ノード名称:	Sample4			削除
				キャンセル

3. 次のようなダイアログボックスを表示しますので、削除するときは[はい]をクリックします。削除しないときは[いいえ]をクリックします。

系統図作	5ξ 🔀
?	指定されたノード名称のデータを削除します。削除したデータはもとに戻りません。
	(まい公) いいえ(1)

[重要]

- 削除したデータは元に戻りません。
- ノード削除の確認ダイアログボックスで[はい]ボタンをクリックしたとき、次のようなダイアログボックスが表示されることがあります。必要な項目を参照してください。
 開いているノードは削除できません ・・・・・ (17) 指定されたノード名称は存在しません ・・・・・ (13)
- (10) 閉じる

開いている系統図ウィンドウを閉じます。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし、[閉じる]をクリックします。



2. 系統図を編集してから[閉じる]操作をすると、[系統図を保存してから閉じますか?] ダイアログボックスを表示します。

次の操作をしてください。

- 編集した内容を上書きで保存して閉じるときは、[はい]ボタンをクリックします。
- 編集した内容を破棄して閉じるときは、[いいえ]ボタンをクリックします。
- 保存せず引き続き編集するときは、[キャンセル]ボタンをクリックします。

系統図作成			×
? 系統図を	保存してから閉じます	すか?	
	いいえ(<u>N</u>)	キャンセル	

必要な項目を参照してください。

系統図に新しいノード名称を付けて保存する ・・・・ (7)

開いている系統図ウィンドウがないときは、この操作はできません。

(11) これ以上ウィンドウを作成できません

系統図ウィンドウを10以上開くことはできません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作	成 🔀
8	これ以上ウィンドウを作成できません。
	OK

作業中の系統図ウィンドウを閉じてください。系統図ウィンドウを閉じるとき、必要であれば保存をしてください。

(12) すでに開いているノード名称は開けません

既に開いている(表示している)系統図ウィンドウを新しく開くことはできません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作の	成
⚠	既に開いているノード名称は開けません。
	CK CK

(13) 指定されたノード名称は存在しません

存在しないノード名称の[開く]、[削除]、[変更]はできません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作	成	1
⚠	指定されたノード名称は存在しません。	
	<u>OK</u>	

(14) 読み出したデータには、アドレスが重複している機器が存在しています 読み出した系統図ウィンドウには、他のノード名称のデータに同じアドレスが存在して いる警告です。読み出した系統図ウィンドウの機器のアドレスが重複しているので修正 してください。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

(15) ノード名称が入力されていません

ノード名称を入力しないで保存することはできません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作	成 🔀
⚠	ノード名称が入力されていません
	OK

ノード名称を入力してください。

(16) すでにノード名称が存在しています

[ノード名称を付けて保存]ダイアログボックスで付けたノード名称の系統図が、既にデ ータベースに存在しています。

[操作方法]

1. 元の系統図に上書きして保存するときは、[はい]をクリックします。保存しないと きは、[いいえ]をクリックします。

系統図作の	ž
?	すでにノード名称が存在しています。上書き保存しますか?
	(北い変) いいえい

[重要]

[はい]をクリックすると、元の系統図はなくなります。

(17) 開いているノードは削除できません

指定したノードが開いているときは削除できません。

- [操作方法]
 - 1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作	成 🔀
⚠	開いているノードは削除できません。
	OK

(18) 指定したノード名称は既に使われています

既に存在しているノード名称と同じ名称は設定できません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックします。

系統図作	成 🛛 🔀
	Sample4 指定したノード名称は既に使われています。
	ОК

(19) 登録してあるアドレスが他のノードにも存在しています

作業中の系統図ウィンドウに新しくノード名称付けて保存するとき、保存しようとして いる系統図ウィンドウに登録してあるアドレスが、他のノード名称の系統図に既に存在 しているときに、このダイアログボックスを表示します。

[操作方法]

[はい]ボタンをクリックすると重複しているアドレスを解除してから(アドレスを入力していない状態にしてから)[ノード名称を付けて保存]ダイアログボックスを表示します。[いいえ]をクリックすると、引き続き系統図ウィンドウで作業できる状態に戻ります。

系統図に新しいノード名称を付けて保存する ・・・・ (7)

[参考]

このダイアログボックスは次の操作をすると表示します。

- 1. [メニュー]をクリック [開く]をクリックで系統図ウィンドウを開く
- 2. 作業をしないで[メニュー]をクリック [ノード名称を付けて保存]

Ⅴ. 系統図を描画する

(1)系統図を入力する位置について

系統図ウィンドウは、行と列で構成されたセルの集合体で、1つのセルに1つの機器の キャラクタを割り当てて入力します。



線分は任意の位置に入力できます。

(2)機器を選択して入力する

系統図ウィンドウ上に機器を配置して、系統図を構成します。

[操作方法]

1. ツールバーの[選択]をクリックします。

系統図作の	成	
表示(⊻)	9-14D	ウィントウ
a C	▶ -	※ (
選択		

2. 系統図ウィンドウの任意の位置でダブルクリックします。または、系統図ウィンド ウで右クリックしポップアップメニューで[機器の選択]をクリックします。



3. [機器の選択]ダイアログボックスで入力したい機器を選択して[OK]ボタンをクリックします。入力を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

🖋 機器の選択				×
機器一覧				
品番		フォーマット	•	<u> </u>
1分岐器 2分岐器 2分配器 3分配器 4分岐器 4分配器 4分配器 4分配器				<u>+</u> +v)セル
			•	
一棟案オフション――	N.L. Z. Press and R.			
伝送フォーマット:]独自 [770MHz]		<u> </u>	
ステータスモニタ:	すべてのステータスモニタ		•	
施設電源:	すべての施設電源電圧		-	

[ヒント]

 [検索オプション]の[伝送フォーマット]コンボボックスでデータフォーマットを選択 すると、対応した機器のみを機器一覧リストボックスに表示します。 同様に、「ス テータスモニタ]、[施設電源]コンボボックスで選択すると、対応した機器のみを機 器一覧リストボックスに表示します。 それぞれのオプション内容については次項の [検索オプションについて]をご覧ください。

🖋 機器の選択				×
機器一覧				
品番		フォーマット		OK
1分岐器				
2分配器				キャンセル
3分配器				
4万岐谷 4分配器				
4分配器				
の公司男		_		
一棟案イフンヨノ――				
伝送フォーマット:	独自 [770MHz]		<u>-</u>	
ステータスモニタ:	独自 [770MHz] 統一(2値) [770MHz]		<u> </u>	
施設電源:	統→(2値+数値短)[770M 統→(2値+数値長)[770M	Hz] Hz]		
	独自 [450/300MHz]			
	統一(2値)[450/300MHz]	0000011		
	統一(210+数10短) 450/3 統一(2値+数値長) 450/3	OUMHZJ 200MHZ1	-	

[検索オプションについて]

 伝送フォーマット:機器に搭載されたステータスモニタユニットとのデータ通信で 使用される伝送形式を表します。

≐台 日日

フォーマット	説明
独自	ー D X アンテナ独自のコマンド体系を備えた伝送フォーマットです。 伝送システムにより、さらに[770MHz]と[450/300MHz]がありま す。
統一	・。 日本CATV技術協会規格の標準伝送フォーマットです。こちら を選ぶことにより、標準仕様に準拠した機器の監視・制御・デー 夕蓄積が可能です。 監視できる項目数により(2値のみ)、(2値+ 数値短)、(2値+数値長)があります。伝送システムにより、さら に1770MHzlと1450/300MHzlがあります
C-COR	C - COR社FlexNetノードアンプに対応した伝送フォー マットです。

- ステ タスモニタ:機器に搭載されたステータスモニタユニットを表しています。
- 施設電源:施設で使用される電源の電圧を表し、30V施設用と60施設用があり ます。

(3)線分を描画する

系統図ウィンドウ上に線分を描画し機器と機器を接続します。

[操作方法]

1. ツールバーの[線分]をクリックします。(マウスカーソルが十になります。)

統図作の	成		
€F(V)	9-14D	ウィント	"ኮ
G	▶ —	꼺	€
線分			

- 2. 系統図ウィンドウの任意の位置でマウスをダウンします。
- 3. 系統図の任意の位置までマウスをダウンしたままマウスを移動します。

🖋 系統図作成
_ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツー
機器Na
アドレスΝα: 🔍 📑 ΙΝ(則アドレス

4. 系統図の任意の位置でマウスをアップします。

🖋 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツー
機器No.
アドレスΝα: 🛛 📑 ΙΝ側アドレス

• 線分は水平線または垂直線のみ描画できます。斜めの線分は描画できません。

(4) 直角に曲がった線分を描画する

系統図ウィンドウ上に直角に曲がった線分を描画します。

[操作方法]

1. ツールバーの [線分] をクリックします。(マウスカーソルが になります。)

統図作成			
ŧ∓(V)	9-14D	<u> ሳ</u> ィントን <u>ት</u>	
B	▶ —	※ 🔍	
線分			

- 2. 系統図ウィンドウの任意の位置でマウスをダウンします。。
- 3. 系統図の任意の位置までマウスをダウンしたままマウスを移動します。

🖋 系統図作成
- ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツー
機器Na
アドレスNa: 🛛 📑 IN側アドレス

- 4. 系統図の任意の位置でマウス直角方向に移動します。
 - [ヒント]

曲がる方向を変えるときは「SHIFTキー」を押しながらマウスを移動します。

🖋 系統図作成
_ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツー
機器No.
アドレスΝα: 🛛 📑 ΙΝ側アドレス

5. 系統図の任意の位置でマウスをアップします。

🖋 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツー
機器Na
アドレスΝα: 🛛 📑 ΙΝ側アドレス

6. 1から5の操作を繰り返します。

線分は水平線または垂直線のみ描画できます。斜めの線分は描画できません。

(5)端点を検出して線分を描画する

線分の描画を開始する点でクリックしたとき、その近傍で機器の端点を検出すると、開 始点を端点に移動させて線分の描画を開始します。

[操作方法]

1. ツールバーの[選択]をクリックします。

系統図作の	戊	
表示⊘	ッール田	ウインドウ
	<u>▶</u> —	※ (
選択		

- 2. 系統図ウィンドウの機器の近傍へマウスを移動します。
- 3. マウスカーソルが+に変わり、機器の端点を検出しますのでマウスをダウンします。
- 4. 系統図の任意の位置までマウスをダウンしたままマウスを移動します。

🖋 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツー
機器Na
アドレスNa: 🔍 🎅 IN(別アドレ)

5. 系統図の任意の位置でマウスをアップします。

🖋 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツー
機器Na
アドレスNa: 🔍 🎅 IN/則アドレス

[端点について]

- 端点は、機器の入出力端子などにあらかじめ系統図キャラクタ作成ソフトで設定されています。また、クリックした点から約5ドット以内で最も近い点を検出します。
- 線分描画を開始する点では機器の端点を検出し、終了する点では機器と線分の端点 を検出します。

Ⅵ. 系統図を編集する

(1)機器を選択する

系統図ウィンドウで、コピー・切り取り・貼り付けなど編集の対象となる機器を選択します。

- [操作方法]
 - 1. ツールバーの[選択]をクリックします。

系統図作成				
表示♡)	ッールロ	ウィントウ		
B	<u>}</u> −	※ (
選択				

- 2. 選択したい機器をクリックします。
- 3. 機器を選択したことを示す赤色になります。

🖋 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W)
Sample1
機器Na
アドレスNa: 1 📑 IN(則アドレス: 0 💌 🗖 E

(2)線分を選択する

系統図ウィンドウで、コピー・切り取り・貼り付けなど編集の対象となる線分を選択します。

[操作方法]

1. ツールバーの[選択]をクリックします。

系統図作成				
表示♡	ツール(エ)	ウィントウ		
e e	<u> </u>	※ (
選択				

- 2. 選択したい線分をクリックします。
- 3. 線分を選択したことを示す赤色になります。

🖋 系統図作成
_ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W)
🖋 Sample1
機器Na
アドレスΝα: 🔍 🎅 ΙΝ側アドレス: 📃 🗖 🗉

[ヒント]

- クリックした位置のまわりに複数の線分があるときは、クリックした位置から約5
 ドット以内の一番近い線分を選択します。
- 線分を選択したとき、両端から約5ドット以内をクリックすると端点を選択したことになります。このときカーソルがになります。
- 短い線分(約10ドット)を選択したときは、端点が選択されたことになります。
- (3)範囲を指定して機器・線分を選択する

系統図ウィンドウで、コピー・切り取り・貼り付けなど編集の対象となる機器・線分を 範囲を指定して複数選択します。

[操作方法]

1. ツールバーの[選択]をクリックします。

系統図作成				
表示♡)	ツール田	ウィントウ		
	₽ –	※(
	選択			

- 2. 選択したい機器・線分を囲む四角形の左上の位置から右下の位置までドラッグしま す。
 - [注意]

選択の開始位置を機器、または線分上で指定した場合は、単独選択となるので、それよりも外側の何も要素がない位置から範囲指定を行ってください。





- 範囲選択はセル単位で選択できます。
- ドラッグしている間選択範囲を示す緑色の枠を表示します。
- 選択を開始するセルと終了するセルが同じときは選択できません。
- 系統図ウィンドウからはみ出して選択することはできません。

(4)系統図の選択を解除する

選択している機器や線分の選択を解除します。

[操作方法]

- 1. 系統図ウィンドウで機器・線分のない位置をクリックします。
- (5)系統図を切り取る

選択している機器・線分の情報をメモリへ取り込み表示を消します。

[操作方法1]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. [編集]メニューをクリックし[切り取り]をクリックします。または、ツールバーの[切 り取り]をクリックします。

🖋 系統図作	販業			🖋 系統図作成
ファイル(E)	編集(E) 表	∓∭ ७–	ルロウ	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(T)
	切り取り(<u>T</u>) コピー(C)	Ctrl+X Ctrl+C	- ※(
🖉 ノード1	貼り付け(型)	Ctrl+V		
機器No.	削除(<u>D</u>)	Del		機器No.
アドレスNa:		IN側アドレス	₹: [アドレスNa: 🏻 🚊 IN/則アドレス:

[操作方法2]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. マウスを右クリックしポップアップメニューで[切り取り]をクリックします。



- 機器・線分を選択していない状態ではこの操作はできません。
- 切り取った機器・線分はクリップボードへはコピーされません。

(6)系統図をコピーする

選択している機器・線分の情報をメモリへ取り込みます。

[操作方法1]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- [編集]メニューをクリックし[コピー]をクリックします。または、ツールバーの[コ ピー]をクリックします。

🖋 系統図作	F反文			🖋 系統図作成
ファイル(E)	編集(<u>E</u>) 表	⊼⊘ ्	ソール①	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(T)
	切り取り(T) コピー(C)	Otrl+X Otrl+C		
🖉 ノード1	貼り付け(P)	Ctrl+V		♪ ノード1 <mark>⊐ピー</mark>
機器No.	削除(<u>D</u>)	Del		機器No.
アドレスNa:		IN側アド	עק: 🗌	アドレスΝα: 🛛 🎅 ΙΝ側アドレス:

[操作方法2]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. マウスを右クリックしポップアップメニューで[コピー]をクリックします。



- 機器・線分を選択していない状態ではこの操作はできません。
- コピーした系統図はクリップボードへはコピーされません。
- (7)系統図を貼り付ける

切り取り・コピーした機器・線分の情報を系統図ウィンドウに貼り付けます。

[操作方法1]

1. [編集]メニューをクリックし[貼り付け]をクリックします。または、ツールバーの[貼 り付け]をクリックします。

🖋 系統図作成	🖉 系統図作成
ファイル(E) 編集(E) 表示(M) ツール(T)	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(I)
	▶ ノード1 貼り付け
機器Na 削除(<u>D</u>) Del	機器Na.
アドレスΝα: 🛛 📑 ΙΝ側アドレス:	アドレスΝα: 🛛 🎅 ΙΝ側アドレス:

2. 系統図ウィンドウの左上の位置に貼り付けられます。

[操作方法2]

1. 貼り付ける位置で右クリックしポップアップメニューで[貼り付け]をクリックしま す。

切り取り(T) コピー(<u>C</u>) 貼り付け(P)
削序余(<u>D</u>)
機器の選択(<u>S</u>)
プロパティ(<u>R</u>)

2. 系統図ウィンドウのクリックした位置に貼り付けられます。

[注意]

- 切り取り・コピー操作で機器・線分の情報がメモリに入っていないときはこの操作 はできません。
- (8)系統図を削除する

選択している機器・線分の情報を削除します。

[操作方法1]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. [編集]メニューをクリックし[削除]をクリックします。



[操作方法2]

- 1. 機器・線分を選択している状態にします。
- 2. マウスを右クリックしポップアップメニューで[削除]をクリックします。



- 機器・線分を選択していない状態ではこの操作はできません。
- 削除した系統図はクリップボードへはコピーされません。
- 削除した機器・線分を元に戻すことはできません。

(9)系統図を移動する

選択している機器・線分を任意の位置に移動します。

[操作方法]

1. 機器・線分を選択している状態にします。

- 2. 機器・線分を任意の位置までドラッグします。
- 機器や線分の移動単位はセル単位となっています。
- 選択している機器・線分を異なった系統図ウィンドウに移動することはできません。
- [切り取り][貼り付け]操作を繰り返しても系統図を移動することができます。
- 短い線分(約10ドット程度)を移動するときは、線分の端点を検出するため、一 旦線分を長くしてから線分を移動してください。
- (10) 線分の長さを変更する

選択している線分の長さを変更します。

[操作方法]

- 1. [Ctrl]キーを押しながら、長さを変更したい線分の端点にマウスカーソルを持って 行くと[↓]に変化するので、その位置から任意の長さまでドラッグします。
- 系統図ウィンドウをはみ出して線分を長くすることはできません。
- (11) 系統図を再描画する

機器や線分を移動・切り取り・などの操作で系統図ウィンドウが乱れたときに整えて再 表示します。

[操作方法]

1. [表示]メニューをクリックし[再描画]をクリックします。または、ツールバーの[再 描画]をクリックします。

🖋 系統図作成		
ファイル(E) 編集(E)	表示(⊻) ツール(1) ウ	表示(⊻) ツール(ቿ) ウィンドウ(₩)
	再描画(<u>R</u>)	<u>∎ № — # QQ</u>
∦ 7−ド1	アドレスの編集(色)	西西北部市 西西西 <mark>再描画</mark>
機器No.		
アドレスNa: 0	■ IN側アドレス: ■] IN側アドレス: 📃 🗖 Brby?

(12) 系統図を拡大する

系統図ウィンドウで機器・線分を拡大して表示します。

[操作方法]

1. ツールバーの[ズームUP]をクリックします。



- 表示する比率は[縮小][標準][拡大]の3段階です。
- 系統図ウィンドウの左上の位置を原点として拡大表示します。
- (13) 系統図を縮小する

系統図ウィンドウで機器・線分を縮小して表示します。

[操作方法]

1. ツールバーの[ズームDown]をクリックします。

ソール① ウィンドウѠ
<u>- * QQ</u>
ズームDown

- 表示する比率は[縮小][標準][拡大]の3段階です。
- 系統図ウィンドウの左上の位置を原点として縮小表示します。
- (14) 系統図ウィンドウの領域を変更する

セルの数を指定して系統図ウィンドウの作業エリアを変更します。

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし[オプション]をクリックします。



2. [オプション]ダイアログボックスでセルの数を設定します。

オプション		×
-セルの数-		ОК
17: 128		キャンセル
24. [120	_	

- 3. 設定内容を保存する場合は[OK]ボタンをクリックします。保存しない場合は[キャ ンセル]ボタンをクリックします。
- 設定可能な範囲は、64~512です。
- 初期値は128行・128列です。
- 系統図ウィンドウで機器(線分を除く)が描画してある範囲より小さな値を設定することはできません。

VII. グループを設定する

(1) グループを設定する

ステータスモニタセンターソフトでは、同一ノードまたは異なったノードの機器をグル ープにまとめて管理・監視することができます。

[機器をグループに登録するには]

- 1. [ツール]・[グループの設定]メニューで新しいグループを追加登録します。
- 2. [機器のプロパティ]で属するグループを選択します。
- (2) グループ名を新しく追加する

新しくグループを追加します。

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし[グループの設定]をクリックします。

🖋 系統図作成		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	ツール(工)	ウィンドウ(W)
	_ オブション 	'@)
	グループ(D設定(G)
機器Na		
アドレスΝα: 🛛 📑 ΙΝ側ア	ドレス: 🔽	🔽 🗖 Brb)

[グループ]ダイアログボックスで[追加...]ボタンをクリックします。
 グループの追加を中止するときは[OK]ボタンをクリックします。

グループ	×
グループ一覧	
「グループ名称	
追加 削除 名称変更	ОК

3. [グループ名の追加]ダイアログボックスでグループ名を入力して[OK]ボタンをクリ ックします。半角16文字まで入力できます。

グループの追加を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

グループの追加		X
グループ名:		
nakayama		
	OK	キャンセル

• グループ一覧に存在しているグループ名を新しく追加することはできません。



(3)グループ名を削除する

登録済みのグループを削除します。

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし[グループの設定]をクリックします。
| 🖋 系統図作成 | | | |
|---------------------|-------------|----------|--|
| ファイル(E) 編集(E) 表示(V) | ツール(工) | ウィンドウ(W) | |
| | _ オブション
 | ·@) | |
| | グループ(| D設定(G) | |
| | | | |
| 機器Na | | | |

2. [グループ]ダイアログボックスで、削除したいグループ名称を一覧の中から選択して[削除]ボタンをクリックします。

グループの削除を中止するときは[ОК]ボタンをクリックします。

×
٦

3. [グループを削除します。]と表示しますので削除をするときは[はい]ボタンをクリックします。削除しないときは[いいえ]ボタンをクリックします。

系統図作成				×
?	グループ	を削除し	ます。	
)/ JT)	<u>v</u>	616	ヽえ(<u>N</u>)	

[注意]

- 削除したグループ名を復元することはできません。
- 機器のプロパティで選択しているグループを削除すると、機器のプロパティのグル ープは未選択の状態になります。
- 2 の操作でグループを選択しないで[削除]ボタンをクリックしても削除操作はできません。

(4)グループ名を変更する

登録済みのグループ名を変更します。

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし[グループの設定]をクリックします。

🖋 系統図作成		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	ツール(工)	ウィンドウ(W)
	、 オプション 	/(<u>O</u>)
Ø7−K1	グループ(D設定(G)
機器Na.		
アドレスNo.: 🛛 🃑 IN(則)	*ドレス:	🔽 🗖 Britt

2. [グループ]ダイアログボックスで、変更したいグループ名称を一覧の中から選択して[名称変更...]ボタンをクリックします。

グループ	×
グループ一覧	
グループ名称	
nakayama	
ietm Bulle 花标亦再	01

3. [グループ名称の変更]ダイアログボックスで新しいグループ名を入力して[OK]ボタ ンをクリックします。

グループ名の変更を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

グループ名称の変更		×
グループ名:		
nakayama2		
	ОК	キャンセル

- グループ一覧に存在しているグループ名に変更することはできません。
- 2の操作でグループを選択しないで[名称変更...]ボタンをクリックしても変更 操作はできません。。

∨।।...機器構成を設定する

(1)機器構成を設定する

系統図ウィンドウに入力した系統図キャラクタが、どのような機器であるかを個別に設 定します。

[操作方法]

- 1. ツールバーで[選択]ツールをクリックします。
- 2. 系統図ウィンドウで配置済みの機器を右クリックします。
- 3. ポップアップメニューで[プロパティ]をクリックします。



- 4. [機器のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
- 機器が配置されていない個所で右クリックしてもポップアップメニューの[プロパ ティ]は選択できません。
- 機器をダブルクリックすると2から4の操作を一度で行うことができます。
- 線分に機器構成を設定することはできません。
- ステータスモニタユニットを内蔵している機器と内蔵していない機器とで[機器の プロパティ]ダイアログボックスの内容が異なります。(設定できる内容が異なりま す。)

- 機器 ・アドレス ・IN側アドレス・Brからの接続の有無に関しては、[表示] メニューの[アドレスの編集]をクリックし、チェックを入れることで、 系統図ウィ ンドウに下の絵のような設定部分が表示され、直接設定することができます。
- その場合、設定する機器を選択状態にすることで[設定]ボタンが有効になるので、
 設定値を入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。(機器により設定可能な項目が変わります。)

🖉 ノード1									
機器No.	A0001								
アドレスNa:	1	•	IN側アド	レス: 🔽	_	Brから	接続	設定	

(2)機器情報を設定する(ステータスモニタユニット付き)

[機器のプロパティ]のうち[機器の情報]について設定します。ここで設定した内容は、ス テータスモニタの[機器個別情報]ダイアログボックス・[情報]タブで表示します。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[機器情報]タブをクリックします。

機器のプロパティ	×
アドレスNa:	2
機種情報 機	器情報 補正値 基準値 正常範囲 ボーリング 属 【)
機器Na:	A-0001
シリアルNa:	
電柱Na:	
PSNa:	PS1
グループ名:	Group1
EQ:	
BON:	
入力АТТ:	
	OK キャンセル

 他の情報を設定するときは[補正値][基準値][ポーリング]等のタブをクリックします。 設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリッ クします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャン セル]ボタンをクリックします。

[機器情報]タブでの設定内容

項目	説明
アドレス	機器に内蔵されているステータスモニタユニットのアドレスを入力します。 入力できるアドレスは[1]~[9999]です。重複したアドレスは入力でき ません。機器をポーリングの対象外にするときは[0]を入力します。アド レスを入力して[0K]ボタンをクリックすると系統図ウィンドウで機器の 下にアドレスを表示します。(設定値は半角で入力してください。)
機器	機器のを入力します。入力は半角で16文字までです。
シリアル	シリアルを入力します。入力は半角で16文字までです。
電柱	電柱を入力します。入力は半角で16文字までです。

- PS 系統図ウィンドウで設定した電源装置の機器 がコンボボックス一覧に表示されますので、該当するものを選択します。系統図に登録した電源装置 に機器 が設定されていない場合は一覧表示されません。該当する電源装置を系統図ウィンドウから削除または、移動した場合はこの設定が解除されるので、再度設定しなおしてください。
- グループ名 [ツール]・[グループの設定]メニューで設定したグループ名の中から選択し ます。この項目を設定済みのときで該当するグループを削除したときはグ ループを選択していない状態になります。
- EQEQの設定値を入力します。入力は半角で8文字までです。(数値以外で も可)
- BON BONの設定値を入力します。入力は半角で8文字までです。(数値以外 でも可)
- 入力ATT 入力ATTの設定値を入力します。入力は半角で8文字までです。(数値 以外でも可)
- 3. 必要に応じて[機種情報]タブをクリックします。

機器のプロパティ	/ X
アドレスNa:	1
機種情報 相	懇器情報 補正値 基準値 正常範囲 ポーリング 属 ◀ ▶
機器品番:	TBRA-8141
STM:	STK-106
通信形式:	独自 [770MHz]
電源:	30V施設用
	OK (++)21/

[機種情報]タブでの表示内容

項目	説明
機器品番	機器を系統図ウィンドウに配置したときに選択した品番を表示します。
STM	機器に内蔵されているステータスモニタユニットを表示します。
通信形式	ステータスモニタユニットの通信形式を表示します。
電源	施設の電源電圧を表示します。

(3)機器情報を設定する(ステータスモニタユニット無し)

[機器のプロパティ]のうち[機器の情報]について設定します。ここで設定した内容は、ス テータスモニタの[機器個別情報]ダイアログボックス・[情報]タブで表示します。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[機器情報]タブをクリックします。

機器のプロパティ				×
アドレスNa:	D			
機種情報 機	器情報 属性	その他		
機器Na:				
シリアルNa:				
電柱Na:				
			ОК	キャンセル

設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[機器情報]タブでの設定内容

項目	説明
機器	 機器の を入力します。入力は半角で16文字までです。
シリアル	シリアルを入力します。入力は半角で16文字までです。
電柱	電柱を入力します。入力は半角で16文字までです。

3. 必要に応じて[機種情報]タブをクリックします。

機器のプロパティ				×
アドレスNa:	0	ŧ		
機種情報 機	器情報 属性	その他		
機器品番:	2分配器			
			ОК	キャンセル

[機種情報]タブでの表示内容

項目

説明

機器品番機器を系統図ウィンドウに配置したときに選択した品番を表示します。

ステータスモニタユニット無しの機器ではアドレスの設定はできません。([0]固定です。)

(4)補正値を設定する

この設定は、ステータスモニタソフトの[機器のプロパティ]で監視[数値]タブに表示され る状態の値を補正します。ここで設定した内容は、機器に搭載されているステータスモ ニタユニットからの数値情報をステータスモニタソフトに正しく表示するために使用さ れます。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[補正値]タブをクリックします。

枞	器のプロパティ				X
	アドレスNa: 1				
	機種情報 機器情報 補正値 基準値 正	「常範囲 ポ [、]	-リング	│ 届_	
	下りパイロット信号出力レベル	0	1	1.00	
	AC電源電圧	0	€ [1.00	
	AC電源電圧[インバータ]	0	1	1.00	
	DC電源電圧	0	÷ [1.00	
	筐体内温度	0	÷ [1.00	
	筐体内湿度	0	1	1.00	
		OK		キャンセル	L I

他の情報を設定するときは[機器情報][基準値][ポーリング]等のタブをクリックします。設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[補正値]タブでの設定内容

該当する項目の補正値を入力またはアップダウンボタンで選択します。入力できる範 囲は - 1 2 8 ~ 1 2 7 です。

設定値の横の数値は倍率を表しています。 例えば、筐体内温度を[30]に設定した場合は倍率が[1.00]なので、30度を表します。

- ステータスモニタユニットからは常に正しい数値情報を受信していますが、どうしても数値情報がずれるときのみ補正値を設定するようにしてください。
- ステータスモニタソフトでも設定することができます。(ステータスモニタの VI. 機器個別情報、(11)監視[数値]項目の内容を設定するの項を参照してください。)

(5)基準値を設定する

この設定は、ステータスモニタソフトの[機器のプロパティ]で監視[数値]タブに表示され る状態の基準値を変更します。ここで設定した内容は、機器に搭載されているステータ スモニタユニットからの数値情報をステータスモニタソフトに正しく表示するために使 用されます。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[基準値]タブをクリックします。

根	器のプロパティ				×
	アドレスNa: 1				
	機器情報 補正値 基準値 正常範囲 ボー	リング	属性	その他	
	下りパイロット信号出力レベル	0	\$	1.00	
	AC電源電圧	0	\$	1.00	
	AC電源電圧[インバータ]	0	\$	1.00	
	DC電源電圧	0	\$	1.00	
	筐体内温度	0	\$	1.00	
	筐体内湿度	0	\$	1.00	
		0	к	キャンセ	IL)

 他の情報を設定するときは[機器情報][正常範囲][ポーリング]等のタブをクリックします。設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは [キャンセル]ボタンをクリックします。

[基準値]タブでの設定内容

該当する項目の補正値を入力またはアップダウンボタンで選択します。入力できる範 囲は - 1 2 8 ~ 1 2 7 です。

設定値の横の数値は倍率を表しています。 例えば、筐体内温度を[30]に設定した場合は倍率が[1.00]なので、30度を表します。

- 例えば、ERA-8001などのアンプで、標準出力より5dB下げて運用したいときなどに設定します。
- ステータスモニタソフトでも設定することができます。(ステータスモニタの VI. 機器個別情報、(11)監視[数値]項目の内容を設定するの項を参照してください。)

(6)正常範囲を設定する

この設定は、ステータスモニタソフトの[機器のプロパティ]で監視[数値]タブに表示され る状態の正常範囲を指定します。ここで設定した内容は、機器に搭載されているステー タスモニタユニットからの数値情報をステータスモニタソフトに正しく表示するために 使用されます。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[正常範囲]タブをクリックします。

楸	器のプロパティ								×
	アドレスNa: 1			•					
	機器情報 補正値 基	準値	正常範	囲 ポ	-02:	5 雇	割性	その他	
	下リバイロット信号出力	ויישנ	L I	92		102	•	1.00	
	AC電源電圧			20	•	33	\$	1.00	
	AC電源電圧[インバー	刻		20	•	33	•	1.00	
	DC電源電圧			23	÷	25	•	1.00	
	筐体内温度			-10	÷	60	•	1.00	
	筐体内湿度			0	÷	90	\$	1.00	
						ОК		[キ ャンt	zik (

他の情報を設定するときは[機器情報][基準値][ポーリング]等のタブをクリックします。設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[正常範囲]タブでの設定内容

該当する項目の正常範囲を入力またはアップダウンボタンで選択します。入力できる 範囲は - 1 2 8 ~ 1 2 7 です。

設定値の横の数値は倍率を表しています。 例えば、筐体内温度を[30]に設定した場合は倍率が[1.00]なので、30度を表します。

- ここで設定した範囲が、機器の状態を正常か異常か判定するための情報となります。
- ステータスモニタソフトでも設定することができます。(ステータスモニタの VI. 機器個別情報、(11)監視「数値」項目の内容を設定するの項を参照してください。)

(7)ポーリング情報を設定する

この設定は、機器とポーリングを行うとき、機器がどの機器と接続しているかについて の情報を設定します。ここで設定した内容は、ポーリングデータを作成するときに使用 します。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[ポーリング]タブをクリックします。

機器のプロパティ		×
アドレスNa: 1		
機種情報 機器情報 補正値 基準値 正常範囲	ポーリング	属●▶
IN側アドレス: 1 「 Brから接続 「 ポーリングの対象にする 「 エラーを検出する 「 ポケベルへ出力する		
	ок	キャンセル

 他の情報を設定するときは[機器情報][補正値][基準値]等のタブをクリックします。 設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[ポーリング]タブでの設定内容

項目	
IN側アドレス	設定中の機器のIN側と接続されている機器のアドレスをリ ストボックス一覧から選択します。サブセンター (RFモデ ム)と直結のときは[0]を選択します。IN側の機器のアドレ スが[0](ポーリングの対象外にしている機器)のときは、 もう一つ前の機器のアドレスを設定します。設定中のアドレ スが[0]のときはIN側アドレスを選択しないでください。 (選択しても選択していない状態に戻ります。)
B r から接続	設定中の機器のIN側と接続している機器のBr側に接続し ているときにチェックボックスを[ON]にします。[OUT]側 に接続しているときはチェックボックスを[OFF]にします。

ボーリングの対象にする	設定中の機器をボーリングの対象にする場合は[ON]にします。[OFF]の場合、設定中の機器の監視・制御は行いません。
エラーを検出する	エラーが発生したとき、画面表示やポケベル出力等のエラー 処理を行う場合は[ON]にします。
ポケベルへ出力する	エラーが発生したとき、ポケベルへ出力する場合は[ON]に します。

(8)その他の情報を設定する

[機器のプロパティ]のうち[その他](機器の設置場所やメモ)について設定します。

[操作方法]

1. [機器のプロパティ]ダイアログボックスで[その他]タブをクリックします。

機器のプロパティ		×
アドレスNa:	1 🕏	
補正値 基準	値 正常範囲 ボーリング 属性 🏾 🕄	の他 「・
設置場所:		<u> </u>
X t :		
		V
		DK ++>1211

 他の情報を設定するときは[機器情報][補正値][基準値]等のタブをクリックします。 設定した内容を記録してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリッ クします。設定した内容を記録しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャン セル]ボタンをクリックします。

[その他]タブでの設定内容

- 設置場所 設定中の機器が設置されている場所を入力します。入力は半角で 256 文字ま でです。
- メモ メモを入力します。入力は半角で 256 文字までです。

IX. 系統図をバックアップする

(1)系統図をバックアップする

系統図のバックアップを作成します。。

[操作方法]

1. サーバーに接続している場合は、[ファイル]メニューで[サーバー切断]をクリックします。(系統図を開いている場合はすべて閉じてから行ってください。)

🖋 系統図作成		
ファイル(E) ツール(E) パ	ケインドウ(₩)	ヘルプ(円)
サーバー接続◯◯		I ×I ⊕ Q
サーバー切断(K)		
新規作成(N)	Ctrl+N	
開((<u>O</u>)	Ctrl+O	
ノードの削り除(D)		
ノード名称の変更(出)		
系統図のバックアップ(B)。 系統図の個日(<u>R</u>)		
系統図のインボートΦ		
ポーリングデータの作成(e)	
終了⊗		

2. [ファイル]メニューで[系統図のバックアップ]をクリックします。



3. [サーバー接続]ダイアログでバックアップを行うデータの入ったサーバーを指定し、 [接続]ボタンをクリックします。

サーバー接続		×
サーバー名:	Server1	•
		接続

4. ファイル名、保存する場所を設定し、[保存]ボタンをクリックします。

データベースのバックアッ)					?	×
保存する場所(型:	📝 デスクトップ	•		<u></u>	Ċ	III 🔠	
□ マイ コンピュータ ← マイ トンピュータ							
	\$						
ファイル名(<u>N</u>):	stc_node1	_	_		保ィ	⊊(<u>S</u>)	
ファイルの種類(工):	データベースファイル(*.mdb)			3	牛肉	ンセル	
	□ 読み取り専用ファイルとして開く(<u>R</u>)						
							11.

バックアップが完了するまで、しばらくかかります。

以上で、系統図のバックアップは完了です

X. 系統図を復旧する

(1)系統図を復旧する

系統図を復旧します。

注:復旧を行うと現在登録されている系統図は全て上書きされます。

[操作方法]

1. サーバーに接続している場合は、[ファイル]メニューで[サーバー切断]をクリックします。(系統図を開いている場合はすべて閉じてから行ってください。)

🖋 系統図作成		
ファイル(E) ツール(II)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(田)
サーバー接続(V)		* QQ
サーバー切断(区)		
新規作成(N)	Ctrl+N	
開((0)	Ctrl+O	
ノードの削除(<u>D</u>)		
ノード名称の変更(日)。		
系統図のバックアップ(3)	-
系統図の復旧(12)		_
系統図のインポートの		
ポーリングデータの作成	(<u>P</u>)	
終了⊗		

2. [ファイル]メニューで[系統図の復旧]をクリックします。

🖋 系統図作成	
ファイル(E) ツール(D) ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
サーバー接続(V) サーバー切断(<u>K</u>)	* •
新規作成(<u>N</u>) Ctrl+N 開((<u>Q</u>) Ctrl+O	
ノードの削除(<u>D</u>) ノード名称の変更(<u>H</u>)	
系統図のバックアップ(B)	
系統図の復旧(<u>R</u>)	
系統図のインボートΦ	
ポーリングデータの作成(P)	
終了──	

3. [サーバー接続]ダイアログで復旧を行うサーバーを指定し、[接続]ボタンをクリック します。

•
接続

4. データベースがバックアップされているフォルダ、ファイル名を選択し、[開く]ボ タンをクリックします。

データベースの復旧・イ	ンポート				? ×
ファイルの場所型:	📝 デスウトップ	,		2	
■ 7イ コンピュータ 今 7イ トンキュイント					
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	-%				
stc_node1.mdb					
ファイル名(<u>N</u>):	stc_node1.mdt)			\$\$(@)
ファイルの種類(工):	データベースファ	ァイル(*.mdb)	•	•	ャンセル

復旧が完了するまで、しばらくかかります。

以上で、系統図の復旧は完了です。

XI. 系統図をインポートする

(1)系統図をインポートする
 STC-9501 でバックアップした系統図を本ソフトにインポートします。
 注:インポートを行うと現在登録されている系統図は全て上書きされます。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューで[系統図のインポート]をクリックします。(サーバー接続して いない場合は、先に接続を行ってください。)

▲ 系統図作成	
ファイル(E) ツール(D) ヘルブ	<u>у(Ħ)</u>
サーバー接続(V) サーバー切断(<u>K</u>)	<u>* QQ</u>
新規作成(<u>N</u>) C	trl+N
開((<u>O</u>) C	trl+O
ノードの削除(<u>D</u>) ノード名称の変更(<u>H</u>)	
系統図のバックアップ(B) 系統図の復日(B)	
系統図のインポートΦ	
ポーリングデータの作成(<u>P</u>)	
終了⊗	

2. データベースがバックアップされているフォルダ、ファイル名を選択し、[開く]ボ タンをクリックします。(ファイル名は通常 stc95db2.mdb です。)

データベースの復旧・イン	レポート					? ×
ファイルの場所型:	🛃 ምንአሳትሳን		•		1	
□ マイ コンピュータ						
○ √1 トキュメント ■ ネットワーク マット・・・	-b					
stc95db2.mdb	7					
ファイル名(<u>N</u>):	stc95db2.mdb					開<(_)
ファイルの種類(工):	データベースファイ	(ル(*.mdb)		-	*	ャンセル

インポートが完了するまで、しばらくかかります。

以上で、該当する系統図のインポートは完了です。

XII. ポーリングデータを作成する

(1)ポーリングデータを作成する

ステータスモニタで、ユニットと送信・受信する順序データを作成します。

[重要]

- 系統図ウィンドウ・機器のプロパティで[アドレス][IN側アドレス][Brから接続]が正しく設定されていることを確認してからポーリングデータを作成してください。
- 作成、変更した系統図をすべて保存してからポーリングデータを作成してください。
 (保存操作は、選択している系統図ウィンドウが対象となるので、複数の系統図を 作成したときはそれぞれについて保存してください。)
- ポーリングデータの作成後に系統図の保存操作を行った場合は、プログラムを終了 する前に必ずポーリングデータの作成を行ってから終了してください。ポーリング データの作成を行わないまま終了すると、データに不整合が生じます。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[ポーリングデータの作成]をクリックします。

🖉 系統図化	ЕБŶ			
ファイル(E)	編集(E)	表示⊙	ツール〇	Dウ
新規作成 開く(<u>0</u>) 閉じる(<u>0</u>)	(M)	C C	itrl+N itrl+O	*
上書き保護 ノード名称	存(<u>S</u>) ⁵ を付けて保	C 森(<u>A</u>)	∺trl+S	
ノードの削 ノード名称	除(<u>D</u>) 5の変更(<u>H</u>))		
ポーリング	データの作用	戎(P)		
ブリンタの副 印刷(Z)	设定(<u>R</u>)	С	trl+P	
終了⊗				
				-

- 2. [ポーリングデータ作成]ダイアログボックスで進行状況を表示します。[レポート]ウ ィンドウでポーリングデータ作成作業の内容を表示します。
- 3. [レポート]で[ポーリングデータの作成が完了しました。]と表示されればポーリング データの作成は完了です。

(2)レポートをチェックする

ポーリングデータの作成作業状況を表示します。ポーリングデータの作成段階でのエラ ーやワーニングを検出して表示します。

 ポーリングデータの作成を開始します。 ドルアドレスを展開します。 アノード:ノード1,アドレス:1のIN側アドレスがセンターと接続されています。 アノード:Sample3,アドレス:4のIN側アドレスがセンターと接続されています。 アノード:Sample4,アドレス:9のIN側アドレスがセンターと接続されています。 アノード:Sample1,アドレス:24のIN側アドレスがセンターと接続されています。 マノード:Sample1,アドレス:24のIN側アドレスがセンターと接続されています。 のINアドレスを展開しました。 ポーリングデータを作成しました。 ポーリングデータベースを初期化します。 ポーリングデータベースを保存します。 ポーリングデータベースを保存しました。 ペーリングデータベースを保存しました。 ペーリングデータベースを保存しました。

- エラーが発見されたときはエラーの発生している機器のプロパティを正しく設定し 直してください。
- エラーが発生したままだと、ポーリングデータは作成されません。[ポーリングデータの作成が完了しました。]と表示されるまで、[機器のプロパティ]でのポーリング 情報の修正と[ポーリング作成]を繰り返して操作してください。

[記号の意味について]

- ・・・処理の開始を表します。
- ・・・処理の終了を表します。
- ?・・・エラーではないが、問題がある可能性のあるものを表します。ポーリング データは作成されますが、内容に問題がないことを確認してください。
- ×・・・エラーの発生を表します。問題のある機器のポーリング情報を修正してく ださい。

[レポートウィンドウについて]

レポートウィンドウはポーリングデータの作成操作で自動的に表示します。レポートウィンドウを手動で表示することはできません。レポートウィンドウを閉じると きは、右上のメボタンをクリックします。

XIII. 系統図を印刷する

(1) プリンタを設定する

系統図を印刷するプリンタについて設定します。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[プリンタの設定...]をクリックします。



2. [プリンタの設定]ダイアログボックスを設定します

プリンタの設定				? ×
┌プリンターー				
名前(N):	Canon BJ-F900	-	プロパティ(<u>P</u>)	
状態: 種類: 場所: コメント:	通常使うプリンタ: オンライン Canon LASER SHOT LBP-720 LPT1:			
		ED	刷の向き	
サイズ(Z): 給紙方法(A4 <u>S</u> 》: 自動		● 縦© ● _{● 横色}	
			ОК <i>キャ</i> ンセ	914 L

設定を保存してダイアログボックスを閉じるときは[OK]ボタンをクリックします。
 設定した内容を保存しないでダイアログボックスを閉じるときは[キャンセル]ボタンをクリックします。

[プリンタの設定]ダイアログボックスの設定内容

設定項目	説明
プリンタ・名前	
プリンタ・プロパティ	使用するプリンタの設定を変更します。
用紙・サイズ	使用する用紙のサイズを一覧から選択します。
用紙・給紙方法	使用する用紙が入っているトレイやフィーダを一覧から選択し ます。
印刷の向き	系統図を印刷する向きを縦または横で指定します。

プリンタの設定をしたとき次のようなメッセージが表示されることがあります。

- プリンタが登録されていません。
- プリンタが見つかりませんでした。
- 選択したプリンタは有効ではありません。
- デフォルトプリンタが存在しません。

これらのメッセージが表示されたときは、正しく設定できません。プリンタの登録やプリンタとの接続などを確認して再度実行してください。

ここでの操作は、系統図ウィンドウを表示していているときのみ操作できます。系統図 ウィンドウを表示していないときは操作できません。(メニューがありません。)

(2)印刷する

系統図ウィンドウに表示している系統図を印刷します。

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[印刷...]をクリックします。



2. [系統図の印刷]ダイアログボックスを設定します。

系統図の印刷	2	<
┌拡大縮小────	余白	1
比率 [%]: 100 👤	上[mm]: 10 👤	
	下[mm]: 10 📑	
- ヘッダー	左[mm]: 10 🏾 🍧	
┏ ページを印刷する	右[mm]: 10 婁	
設定	ОК + +>セル	

- 3. 印刷を実行するときは[OK]ボタンをクリックします。印刷を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。
- 4. 印刷内容をスプーラに転送している間[印刷中...]ダイアログボックスを表示します。

印刷中	
用紙情報 印刷範囲 印刷を開	を調べています。 を調べています。 治します。
プリンタ:	Canon BJ-F900, LPT1:

[系統図の印刷]ダイアログボックスの設定内容

項目

説明

拡大縮小・比率	系統図を印刷する比率を指定します。30%から400%の間で指定します。100%に設定すると系統図キャラクタ1つの大きさが約10mmになります。
ヘッダー・ノード名を印刷する	ヘッダー部分(用紙の左上側)にノード名称を印刷す るときにチェックボックスを[ON]にします。
ヘッダー・ページを印刷する	ヘッダー部分(用紙の左上側)にページ数を印刷する ときにチェックボックスを[ON]にします。
余白	上下左右の余白を設定します。 0 mmから 5 0 mmの間で 設定します。
[設定]ボタン	[プリンタの設定]ダイアログボックスを表示します。

印刷の実行をしたとき次のようなメッセージが表示されることがあります。

- プリンタが登録されていません。
- このプリンタには印刷できません。
- L P T 1 : への書き込みエラー

- プリンタが見つかりませんでした。
- 選択したプリンタは有効ではありません。
- デフォルトプリンタが存在しません。
- これらのメッセージが表示されたときは、正しく印刷できません。プリンタの登録やプリンタとの接続などを確認して再度実行してください。
- 印刷できるのは系統図のみです。他の情報の印刷はできません。
- ここでの操作は、系統図ウィンドウを表示していているときのみ操作できます。系
 統図ウィンドウを表示していないときは操作できません。(メニューがありません。)

(3)印刷例

[系統図の印刷]ダイアログボックスで[ノード名を印刷する][ページを印刷する]チェック ボックスを[ON]にしたときの印刷イメージを次に示します。

ノード名称:Node-5 ページ:1



XIV. ウィンドウを操作する

(1)上下に並べて表示

開いているウィンドウを上下に整列して表示します。

[操作方法]

1. [ウィンドウ]メニューをクリックし[上下に並べて表示]をクリックします。

-ND	<u>ሳሪኑንሙ</u>	^ルプ(<u>H</u>)	
	上下に並べ	べて表示(出)	
	左右に亚イ	べて表示(<u>V</u>) =<<>	
	- 里4まて死り - アイヤルの整	10 <u>0</u>) 列(A)	
	7 14707 <u>1</u> E.	<u> </u>	
	✓ 1 ノード1		

ウィンドウが開いていないときは、このメニューを実行することはできません。

(2) 左右に並べて表示

開いているウィンドウを左右に整列して表示します。

[操作方法]

1. [ウィンドウ]メニューをクリックし[左右に並べて表示]をクリックします。



ウィンドウが開いていないときは、このメニューを実行することはできません。

(3)重ねて表示

開いているウィンドウを重ねて整列表示します。

[操作方法]

1. [ウィンドウ]メニューをクリックし[重ねて表示]をクリックします。



ウィンドウが開いていないときは、このメニューを実行することはできません。

(4)アイコンの整列

開いていて最小化している (アイコン状態の) ウィンドウを整列表示します。

[操作方法]

1. [ウィンドウ]メニューをクリックし[アイコンの整列]をクリックします。



ウィンドウが最小化になっていないときは、このメニューを実行することはできません。

(5)開いている系統図ウィンドウを選択する

現在開いている系統図ウィンドウの一覧から作業したい系統図ウィンドウを選択します。

[操作方法]

1. [ウィンドウ]メニューをクリックし[ノード名称]をクリックします。



選択した系統図ウィンドウは一番手前に表示します。メニューにチェックがつきます。

XV. ヘルプ

(1)ヘルプを表示する

ステータスモニタ・系統図作成ソフトのヘルプを表示します。

[操作方法]

1. [ヘルプ]メニューをクリックし[系統図作成のヘルプ]をクリックします。



(2)バージョン情報を表示する

ステータスモニタ・系統図作成ソフトの著作権情報、バージョンなどを表示します。

[操作方法]

1. [ヘルプ]メニューをクリックし[バージョン情報]をクリックします。



通信サーバー

- 1. 通信サーバーについて
- (1)概要

通信サーバーは、ステータスモニタセンターソフトの通信機能を集約したソフトで、下 記の機能を有しています。

- R F モデムを介したステータスモニタユニットとの通信
- ポケットベル、ショートメールなど異常発生時のメッセージ送信
- ステータスモニタソフト(自PC、遠隔PC)との通信

[概観図]

• 通信状況ウィンドウを表示していない場合

∢ ⊱⊡_A 🍫	9:50

• 通信状況ウィンドウを表示している場合



11.ご注意

(1)通信サーバーを起動する前に

- 1. パソコン本体とモデムが正しく接続されていることを確認してください。
- 2. 系統図を作成してから通信サーバーを起動してください。
- 3. 通信サーバーを起動させてからステータスモニタを起動してください。
- 4. 通信サーバーと系統図作成を同時に動作させないでください。また通信サーバーと データ伝送確認を同時に動作させないでください。
- 5. ステータスモニタセンターソフトのインストールされているパソコンには、他のア プリケーションをインストールしないでください。

III. 起動と終了

(1)起動する

[操作方法]

- [スタートボタン]をクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]を ポイントして、[通信サーバー]をクリックします。
- [データベースサーバーの接続]ダイアログボックスで、データベースが登録されているサーバーのコンピュータ名を入力して[接続]ボタンをクリックします。

データベースサーバーの接続	×
サーバー名: STC_Node1	•
	接続

[ヒント]

サーバーの接続でコンピュータ名がわからない場合は次のようにして確認するこ とができます。

- データベースサーバーが設置されているコンピュータのデスクトップ、また はエクスプローラ上にある[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして、 ポップアップメニュー内の[プロパティ]を選択します。
- [システムのプロパティ]画面が表示されるので[ネットワーク ID]タブを選択 すると、[フル コンピュータ名]のところに表示されている名称がコンピュー タ名になります。
- 一度入力したコンピュータ名はドロップダウンリストに登録されるので、次回からは入力しなくてもリストから選択できるようになります。
- [サブセンターの選択]ダイアログボックスが開き、データベースに登録されている サブセンター名が一覧表示されるので、自局のサブセンター名を選択して[選択]ボ タンをクリックします。

サブセンターの選択	×
サブセンター一覧:	
STC_CENTER1	(二)選択(二)
STC_CENTER3	キャンセル
I	

4. [サーバーに接続しました。]と表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。

ステータスモニタ・通信サーバー 🔀			
•	サーバーに接続しま	:した。	
	OK		

5. [起動しています。しばらくお待ちください。・・・]と表示され、処理が完了すると、 タスクトレイに通信サーバーのアイコンが表示されます。

ステータスモニタ・通信サーバー		
起動しています。しばらくお待ちください。・・・		
30%		
0%		

(2)終了する

[操作方法]

1. タスクトレイ内の通信サーバーアイコンを右クリックし、[終了]をクリックします。



 [終了しますか?]ダイアログボックスを表示しますので、終了するときは[はい]を クリックします。終了しないでそのまま作業を続けるときは[いいえ]をクリックし ます。

ステータスモニタ・通信サーバー 🔀			
? 終7しま	もすか ?		
(TC/A)	いいえ(N)		

3. [保存しています。しばらくお待ちください。・・・]と表示され、処理が完了すると 終了します。

ステータスモニタ・通信サーバー		
保存しています。しばらくお待ちください。・・・		
75%		
0%		

注意:ステータスモニタが起動している場合は、まずステータスモニタを終了してくだ

さい。

IV. 通信回線の設定をする

(1)回線の設定をする

ステータスモニタユニットとの通信回線を設定します。

[操作方法]

1. タスクトレイ内の通信サーバーアイコンを右クリックし、[回線設定]をクリックし ます。

バージョン情報(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
通信状況(V) 回線設定(S)	
終了⊗ ▲ 51-24	9:33

2. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。

回線の設定			×
ステータス通信		€信先│メール│ポ	ケベルショ・・・
通信ボート 770MHz用:		エラー検出 ・ リトライ回数	: 0 主
450MHz用:	COM2	▼ 検出回数:	1 🔹
送信件数:	2	1	
▶ エラー発生時	ビーブ音を	出力する	
		ОК	キャンセル

(2)通信ポートの設定をする

RFモデムと接続するポートを設定します。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [ステータス通信]タブで通信ポートを設定します、設定できるポートは COM1 ~ COM4 です。 R F モデムを使用しない場合は[未使用]を選択します。

─通信ボート── 770MHz用:	
450MHz用:	

3. [OK]ボタンをクリックします。

通信ポートの設定を変更した場合、ソフトを再起動してください。

(3)エラー検出の設定をする

機器のエラーおよびステータスモニタユニットとの通信エラーの検出方法の設定をしま す。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [ステータス通信]タブでエラー検出を設定します。
 - リトライ回数:ステータスモニタユニットとの通信エラー(無応答を含む)が発生し た場合のリトライ回数を設定します。
- 検出回数:機器のエラーまたはステータスモニタユニットとの通信エラー(無応答を 含む)が発生した場合、エラーと判定するまでの回数を設定します。

ーエラー検出 リトライ回数:	0	\$
検出回数:	1	\$

3. [OK]ボタンをクリックします。

設定を変更した場合、ソフトを再起動してください。

[ヒント]

- ステータスモニタユニットとの通信エラーが発生すると通信を1秒間待ってから再開します。このときリトライ回数が設定されていれば前回と同じアドレスの機器に送信し、設定されていない場合は次のアドレスの機器に送信します。
- 機器のエラーが検出された場合はリトライしません。
- (4)送信件数の設定をする

1秒間にSTMユニットと通信する件数(ポーリング件数)の設定をします。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [ステータス通信]タブで送信件数を設定します。設定可能な件数は1~10です。

送信件数: 2 👤

3. [OK]ボタンをクリックします。

[注意]

- [通信状況ウィンドウ]を表示させているときは設定にかかわらず、1秒間に約3件 となります。
- エラーの発生と復旧時には経歴データベースの更新処理が発生するため、最大1秒間(経歴の保存件数が1万件のとき最大)通信が停止プします。

(5)エラー発生時ビープ音を出力する

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [ステータス通信]タブで[エラー発生時ビープ音を出力する]チェックボックスを[ON]にします。

▶ エラー発生時ビーブ音を出力する

- 3. [OK]ボタンをクリックします。
- (6) 経歴の保存日数を設定する

機器および伝送エラー経歴の保存日数を設定します。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [経歴]タブで保存日数を設定します。設定可能な日数は1~150です。

回線の設定
ステータス通信 経歴 送信先 メール ポケベル ショ・・・
バックアップ保存日数: 4 👤
OK キャンセル

3. [OK]ボタンをクリックします。

- バックアップは1日ごとにファイルとして保存され、保存日数分のファイル数を超えるものは古いものから順に消去されます。
- バックアップされた経歴データは[日付.mdb]として保存されているので、Microsoft Access 2000 で閲覧することができます。
- 保存される場所は、デフォルトの設定でインストールした場合では C:¥Program Files¥STC9506です。

(7)エラー発生時の送信先、送信内容を設定する

機器のエラーおよびステータスモニタユニットとの通信エラー発生時のメッセージ送信 先および送信内容を設定します。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [送信先]タブをクリックします。

ステータス通信 経歴 送信先一覧	回線の設定		X
送信先一覧 	ステータス通信 経歴	送信先 メール ポケベル	৴৾৴য়৾৾৽ঢ়৾৾৾৾
	送信先一覧		
<u>編集</u> 削除			
前除			編集
			削除
□ 送信する	送信する		
OK キャンセル		ОК	キャンセル

下記のボタンを使用して新規登録、編集、削除を行います。

ボタン

内容

[追加] 新たに送信先を追加する場合にクリックします。

[編集] すでに登録済みで送信の内容を変更する場合にクリックします。

[削除] 登録済みの送信先を削除する場合にクリックします。

3. [送信先の設定]ダイアログボックスで[送信先][送信方法][送信項目]を設定します。

送信先の設定	×
送信先: 09012345678	
, 送信方法	
○ ポケベル ● 携帯	電話 🔿 電子メール
送信項目	
▲ A/Bスイッチ	
▲ A/Bスイッチポジション	
▲ AC電圧	
▲ AC電流	
AGC/MGC	
	_
▼ 送信する	OK ++>tell

[送信先の設定]ダイアログボックスの設定内容

項目	説明
 送信先	
送信方法	ポケベル、携帯電話(ショートメール)、電子メールのいずれかを選択します。
<u>,,,,,,</u> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	

送信項目 エラーメッセージの対象とする項目にチェックを入れます。チェックを入れ た項目のみ、エラーが発生した場合にメッセージが送信されます。

送信するこの送信先の設定に対してメッセージ送信の有効、無効を設定します。

- 4. 設定完了後、[OK]ボタンをクリックします。
- 5. [送信先]タブの[送信先一覧]に設定した送信先が表示されます。メッセージ送信を有 効にした場合は左にチェックが入っています。チェックをはずすと無効になります。

回線の設定		×
ステータス通信 経歴	送信先 メール ポケベル	∕ंश्वः∙ा
送信先一覧		
		追加
09012345678		
		削除
▶ 送信する		
	ОК	キャンセル

- 6. 送信先の設定内容を変更する場合は[送信先一覧]から送信先を選択し、[編集]ボタン をクリックします。
- 7. 送信先を削除する場合は[送信先一覧]から送信先を選択し、[削除]ボタンをクリック します。
- 8. [送信する]チェックボックスにチェックを入れることでメッセージ送信機能が有効 になります。
- 9. すべての設定が完了後、[OK]ボタンをクリックします。

[ヒント]

- メッセージ送信機能を使うには、ポケベルは[ポケベル]タブ、携帯電話は[ショート メール]タブ、電子メールは[メール]タブの設定をそれぞれ行ってください。
- メッセージ送信を有効にするには[送信先]タブの[送信する]チェックボックスおよび、 [送信先一覧]に設定した送信先のチェックボックスの両方にチェックが入っている 必要があります。
- 一度エラー内容を送信すると、エラー内容が変わらない限り次の送信は行われません。
- ソフトの起動時には前回の内容を覚えていないので、起動時にエラーが発生していると、ただちに送信が行われます。
- (8)メール送信時の情報を設定する

エラー発生時のメールに表示する項目を設定します。

注意 メール送信を行うには、あらかじめプロバイダからメールアカウントを取得し ている必要があります。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [メール]タブで件名、アドレス、ID、サーバー名を設定します。

回線の設定	×
「ステータス通信│経歴	▼ 送信先 メール ポケベル ショ・▲ ▶
件名(Title): ステー:	タス情報
┌送信元メール情報─	
アドレス:	xxxxx@mail.ne.jp
ID:	XXXXX
サーバー名(SMTP):	smtp.mail.ne.jp
	OK ++>>セル
[メール]タブの設定内容

設定項目	説明

件名(Title) メールの件名を入力します。

アドレス 送信元のメールアドレスを入力します。

ID 送信元のアカウントのID名を入力します。(通常、メールアドレ スで@より前の文字列を入力します。)

サーバー名(SMTP) 送信サーバー (SMTP サーバー) 名を入力します。

詳細はメールアカウント発行先のプロバイダの設定方法を参照してください。

3. [OK]ボタンをクリックします。

- (9)ポケベル(クイックキャスト)送信方法を設定する
 - エラー発生時、ポケベル (クイックキャスト)に送信するときのタイミングや送れるト ーン音数を設定します。
 - 注意 ポケベル送信機能はNTTドコモのネクストサービス対応機にのみ送信可能で す。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- [ポケベル]タブでメッセージが始まるまでの待ち時間、送信メッセージ桁数を設定します。

メッセージが始まるまでの待ち時間:ポケベルのメッセージセンターに電話をかけ て繋がったあと、メッセージの送信を始めるまでの時間を設 定します。設定可能な時間は1~60秒です。

送信メッセージ桁数:メッセージ送信可能なプッシュ信号の最大桁数を設定します。

回線の設定	×
ステータス通信 経歴 送信先 メール	ポケベル ショ・▲ ▶
メッセージが始まるまでの待ち時間[秒]: 送信メッセージ桁数:	10 🗶
	DK キャンセル

- 3. [OK]ボタンをクリックします。
- ポケベル送信中はステータスモニタユニットとの通信を停止します。
- (10) ショートメール送信方法を設定する

エラー発生時、ショートメールに送信するときのタイミングや送れるトーン音数を設定 します。

注意 ショートメール送信機能はNTTドコモのショートメールサービス対応機にの み送信可能です。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- [ショートメール]タブでメッセージが始まるまでの待ち時間、送信メッセージ桁数、 受け付け局の電話番号を設定します。

メッセージが始まるまでの待ち時間:ショートメールのメッセージセンターに電話 をかけて繋がった後、メッセージの送信を始めるまでの時間 を設定します。設定可能な時間は1~60秒です。

送信メッセージ桁数:メッセージ送信可能なプッシュ信号の最大桁数を設定します。

受け付け局の電話番号:ショートメール送信時の受け付け局の電話番号を設定しま す。番号の間にハイフンやスペース等は入力しないでくださ い。

回線の設定	×
経歴 送信先 メール ボケベル	ショートメール モディート
メッセージが始まるまでの待ち時間 送信メッセージ桁数: 受け付け局の電話番号:	[秒]: 10 よ
0612345678	
	OK

- 3. [OK]ボタンをクリックします。
- ショートメール送信中はステータスモニタユニットとの通信を停止します。
- (11) モデムを設定する

ポケベル等のメッセージ送信で使用する電話モデムの外線切り替え番号や、通信ポート を設定します。 [操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [モデム]タブで外線切り替え番号、通信ポートおよび発信音を検出してからダイア ルするかどうかを設定します。

回線の設定	×
送信先 メール ポケベル ショートメール モデム	
外線切り替え番号: 通信ボート: COM1 ▼ 「 発信音を検出する	
OK	ゃンセル

外線切り替え番号: PBX等の使用時、設定を行います。

- 通信ポート:電話モデムを接続するポートを設定します、COM1~COM4まで 設定可能です。通信ポートの設定を変更した場合、ソフトを再起動し てください。
 - 注意 メッセージ送信機能を使わない場合は[未使用]に設定してください。
- 発信音を検出する:発信音を検出してからダイアルする場合、チェックボックスを[O N]に設定します。外線を使用する場合は、チェックボックスを [OFF]にしてください。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。
- (12) 電源監視を設定する

機器が検出した商用 / インバータの動作電源状態を系統図上の電源装置にどのように反映させるか設定を行います。 対象となるのは、擬似エラー検出機能付き電源装置となります。

[操作方法]

- 1. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。
- 2. [電源監視]タブで次の設定を行います。
 - 機器で検出した動作電源状態を PS に反映させる:設定を有効にする場合、チェッ クを入れます。
 - 検出しきい値:電源装置につながっている機器のうち、ここに設定した割合数以上 の機器が検出した結果を動作電源状態とします。

回線の設定					×
メール ポケイ	NU Đa∽	トメール	モデム	電源監視	
□ 郷碧で緒)	电压制作	新闻:开能 3	PSICTO		
検出しまい値	[%]: 80	÷			
	,				
			OK	++	ンセル

- 3. [OK]ボタンをクリックします。
- V. 通信状況
- (1)通信状況ウィンドウを表示する

モデムとの通信状況を表示します。

[操作方法]

1. タスクトレイ内の通信サーバーアイコンを右クリックし、[通信状況]をクリックし ます。



画面表示例

🖏 通信状	兄ウインドウ		×
ファイル(<u>E</u>)	オプション(<u>0</u>)		
アドレス	送信データ	受信データ エ	ラー
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F	
			1
	2 「送信データ	\ \ ───────────────────────────────────	$Y_{\tau \Rightarrow -}$
			/
ļ			

表示を停止する場合:[オプション]メニューで[表示停止]をクリックします。(通信は 停止しません)

表示を開始する場合:[オプション]メニューで[表示開始]をクリックします。

エラーが発生したら停止する:[オプション]メニューで[エラーが発生したら通信停止 する]をクリックします。

ウィンドウを閉じる場合:[ファイル]メニューで[閉じる]をクリックするか、[閉じる] ボタンをクリックします。

VI. データベ - スのバックアップ

(1)データベースのバックアップについて

- データベースのバックアップは通信サーバーが自動的に行います。
- バックアップするタイミングは、コンピュータの日付変更時です。
- 日付の変更時にバックアップファイルを上書きするので、前日データのみ保存されます。
- 以前の状態に戻すためには普段からユーザーが手動でバックアップを行い、バック アップファイルのコピーを別の場所に保存しておく必要があります。

[手動でバックアップを行うには]

 [スタートボタン]をクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]を ポイントして、[データベースのバックアップ]をクリックします。

- バッチファイルが起動し、バックアップファイルがCドライブのルート(C:¥) に保存されます。
- 3. 次の3つのファイルのコピーをとり、別の場所に保存します。
 - stc95sq1.bak
 - stc95sq2.bak
 - stc95sq3.bak

[リストアを行うには]

- 1. ステータスモニタセンターソフトのすべてのプログラムを終了します。
- バックアップ作業で保存した3つのファイルをCドライブのルート(C:¥)に上書きコピーします。
- ステータスモニタセンターソフトがあるフォルダ(デフォルトの設定でインストー ルした場合は C:¥Program Files¥STC9506)内にある[stc95res.bat]を実行し ます。
 - 注意 リストア作業を行うと、それまでに記録されたデータベースの内容がすべて上書きされます。緊急時以外はこの操作を絶対行わないでください。

VII. 通信サーバーの異常終了時について

(1)通信サーバーの異常終了時について

通信サーバーは起動時に、現在運用中であることを示すために自局のサブセンター名を データベースに登録します。

ステータスモニタ等を起動し、データベースサーバーに接続すると、この情報を元に運 用中のサブセンター名が一覧表示されます。

通信サーバーの終了時には、登録したサーバー名を削除し、運用が終了したことを示します。

ところが、通信サーバーが異常終了した場合はサブセンター名が残ったままとなり、この状態でステータスモニタ等を起動し、データベースサーバーに接続すると、運用中でないにもかかわらずそのサブセンター名が表示されることになります。 このような不都合を解消するためには次の操作を行ってください。

[操作方法]

- 記動中のステータスモニタセンターソフト関連のプログラムをすべて終了してください。
- ステータスモニタセンターソフトがあるフォルダ(デフォルトの設定でインストールした場合は C:¥Program Files¥STC9506)内にある[DelSubS.exe]を実行します。

サブセンターの削除	×
サブセンター一覧:	
センター名	IP
1	
接続 削除	終了

 [データベースサーバーの接続]ダイアログボックスのリストボックスからデータベ ースが登録されているサーバーのコンピュータ名を選択して[接続]ボタンをクリッ クします。

データベースサーバーの接続	×
サーバー名:	
	接続

4. 接続が完了するとサブセンター一覧にサブセンター名が表示されるので、削除する サブセンター名を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

サブセンターの削除	×
サブセンター一覧:	
センター名	IP
STC-CENTER1	172.20.2.103
1	
接続 削除	終了

5. 確認のダイアログボックスが表示されるのでOKであれば[はい]をクリックします。



6. [削除しました。]のダイアログボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



 サブセンター一覧のダイアログボックスに戻るので、引き続き他のサブセンターを 削除する場合は4.からの操作を繰り返してください。終了する場合は[終了]をク リックしてください。

VIII. ヘルプ

(1)バージョン情報を表示する

ステータスモニタのバージョン情報、版権などを表示します。

[操作方法]

- 1. タスクトレイ内の通信サーバーアイコンを右クリックします。
- 2. [バージョン情報]をクリックします。
- (2)ヘルプを表示する

ステータスモニタのヘルプを表示します。

[操作方法]

- 1. タスクトレイ内の通信サーバーアイコンを右クリックします。
- 2. [ヘルプ]をクリックします。

ステータスモニタ

1. ステータスモニタについて

(1)概要

ステータスモニタは、機器に内蔵されたステータスモニタユニットと通信することで、 双方向 C A T V 施設の運用状態の監視と制御を行うシステムです。

[概観図]

	_	_	-101
		10000000000000000000000000000000000000	
Image: STM Image: STM - 108 File-Met: Node STM - 108 STM - 106 STM - 106 ST41 STM - 106			ند اهند ار ار

11. ご注意

(1)ステータスモニタを起動する前に

- 1. パソコン本体とモデムが正しく接続されていることを確認してください。
- 2. 系統図を作成してからステータスモニタを起動してください。
- 3. 通信サーバーを起動させてからステータスモニタを起動してください。
- 4. ステータスモニタと系統図作成を同時に動作させないでください。またステータス モニタとデータ伝送確認を同時に動作させないでください。
- 5. ステータスモニタセンターソフトのインストールされているパソコンには、他のア プリケーションをインストールしないでください。
- 6. マウスで [クリック] の操作をするときは左ボタンを使用します。特に [右クリッ ク] と表現しているときは右ボタンを使用します。

|||. 起動と終了

(1)起動する

[操作方法]

R F モデムを直接接続しているコンピュータの場合(サブセンター用 PC)

- [スタートボタン]をクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]を ポイントして、[通信サーバー]をクリックします。
- [通信サーバー]が起動後、[スタートボタン]をクリックし、[プログラム][ステータス モニタセンターソフト]をポイントして、[ステータスモニタ]をクリックします。

R F モデムが接続されていない(遠隔監視)のコンピュータの場合(センター用 PC)

- [スタートボタン]をクリックし[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]をポ イントして[ステータスモニタ]をクリックします。
- 通信サーバーおよびステータスモニタは同一PCで複数起動できません。
- ステータスモニタと系統図作成を同時に動作させないでください。

(2)終了する

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[終了]をクリックします。

🥖 ステータスモニタ			
ファイル(E) 表示(V)	ツール①	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
系統図を開く(Q) ノード一覧を開く(N) 一覧を開く(L) エラー一覧を開く(E) 経歴を開く(C)	Ctrl+O	19	
閉じる(Z)			
プリンタの設定(<u>R</u>) 印刷(<u>P</u>)	Ctrl+P		
終了⊗			
		-	

[終了しますか?]ダイアログボックスを表示しますので、終了するときは[はい]をクリックします。終了しないでそのまま作業を続けるときは[いいえ]をクリックします。



Ⅳ. サーバーの接続と切断

(1)接続する

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[サーバー接続]をクリックします。

ステータスモニタ
ファイル(E) ツール(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
サーバー接続型
系統図を開く(Q) Ctrl+O
→「覚を聞\(L) Ctrl+L エラー→「覧を聞\(F) Ctrl+F
22 <u>現</u> 20mmでで、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでので、100mmでの
終了(2)

2. [データベースサーバーの接続]ダイアログボックスで、データベースが登録されて いるサーバーのコンピュータ名を入力して[接続]ボタンをクリックします。

データベースサーバーの接続	×
サーバー名: STC_Node1	 •
	接続

[ヒント]

サーバーの接続でコンピュータ名がわからない場合は次のようにして確認すること ができます。

- 1.データベースサーバーが設置されているコンピュータのデスクトップ、またはエ クスプローラ上にある[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして、ポップ アップメニュー内の[プロパティ]を選択します。
- 2.[システムのプロパティ]画面が表示されるので[ネットワーク ID]タブを選択する と、[フル コンピュータ名]のところに表示されている名称がコンピュータ名に なります。
- 一度入力したコンピュータ名はドロップダウンリストに登録されるので、次回からは入力しなくてもリストから選択できるようになります。

[サブセンターの選択]ダイアログボックスが開き、通信サーバーが稼動中のサブセンター名が一覧表示されるので、モニタするサブセンター名を選択して[選択]ボタンをクリックします。

サブセンターの選択			×
サブセンター一覧:			
センター名		IP	
STC_CENTER1 STC_CENTER2 STC_CENTER3		172.20.2.155 172.20.2.103 172.20.2.155	
1	運択	-++>+U	,

(2)切断する

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[サーバー切断]をクリックします。



 [切断しますか?]ダイアログボックスを表示しますので、切断するときは[はい]をク リックします。切断しないでそのまま作業を続けるときは[いいえ]をクリックしま す。



∀. 系統図

(1)系統図を表示する

[操作方法]

1. [ファイル]メニューをクリックし[系統図を開く]をクリックします。



2. ノード名称をクリックし[開く]をクリックします。

猒						×
シード-	一覧					
NOI	DE 12	NODE 14	KC NODE 15	K NODE	16	
NOI	DE 2	👫 NODE 3	KANODE 4	👫 NODE	5	- 1
NOI	DE 6	KARANODE 7	KANODE 8	👫 NODE	9	- 1
NOI	DE K1	🏠 NODE K10	K11	👫 NODE	K12	- 1
NOI	DE K13	KI4 NODE K14	KI5 NODE K15	🔥 NODE	K16	- 1
NOI	DE K2	KA NODE K3				- 1
1 · · ·						- 1
ノード	名称: NODI	E 12			[]開く	
					キャンセル	

[ヒント]

系統図ウィンドウでの表示の更新は約6秒ごとに行われます。したがって機器の状態が変化してから系統図表示に反映されるまで最大6秒の遅延があります。

(2)系統図の表示内容について

系統図では、アンプの状態を色と形で示しています。



- アンプのキャラクタの下に機器 またはアドレス を表示します(上の図ではアドレス)。
- アンプのキャラクタが隣接していると、機器の表示が短くなる場合があります。

アンプの表示例



ステータスバーは下記のように表示されます。

12, 5 /機器Na: A-3	機種:TDRA-8141	IJ
カーソル位置 機器	機種名	

系統図から以下の項目が実行できます。

- 機器のプロパティ 機器単体の監視、制御項目等を表示します。
- ノード/系統一覧 ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。
- 一覧表示 ノード内の機器の監視、制御項目等を一覧表示します。
- エラーの一覧表示 現在発生しているエラーを一覧表示します。
- 伝送確認 機器単体と一対一で通信し、機器単体の監視、制御項目等を 表示します。
- (3)系統図を拡大・縮小する

[操作方法]

1. ツールバーの 🕙 (拡大) 🔍 (縮小)ボタンをクリックします。

人ステータスモニタ	
ファイル(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
F	
ズームUP	

表示サイズは[縮小][標準][拡大]の3段階です。

(4)系統図内の機器 とアドレス の表示を切り替える

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし、[オプション]をクリックします。

📕 ステータス	、モニタ			
ファイル(E)	表示⊙	ツール①	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
1	è 🚅 🖻	オプション	/@)	

- 2. 系統図の[機器 で表示]または[アドレス で表示]をクリックします。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。

オプション				X
● 機器Naで表示	$\circ \tau$	ドレスΝαで	表示	

(5)系統図を再描画する

[操作方法]

1. [表示]メニューの[再描画]をクリックするか、ツールバーの※をクリックします。

	.EIA			
ファイル(E)	表示♡	ツール①	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
1	再描画	®	29	

(6)系統図を印刷する

現在表示中の系統図を印刷します。

[操作方法]

- 1. 印刷する系統図を表示させ、[ファイル]メニューをクリックし[印刷]をクリックしま す。
- 2. 拡大縮小比率、ヘッダー、余白等を設定します。プリンタの設定を変更する場合は、 [設定]ボタンをクリックします。

系統図の印刷		×
- 拡大縮小	余白	
比率 [%]: 🔟 🔶	上 [mm]:	10 🜩
- <u></u>	下[mm]:	0 😫
▶ ノード名を印刷する	左[mm]:	10 🜩
🗖 ページを印刷する	右 [mm]:	0
設定	ОК	キャンセル

- 3. [ОК]ボタンを押します。
- 系統図が1枚に収まりきらない場合は複数のページにわたって印刷されます。
- 系統図はモノクロで印刷されます。

Ⅵ. 機器個別情報

(1)機器個別情報を表示する

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。

/系統図・Sample1	
	<mark>プロパティ(R)</mark> ノード→覧を開((N) →覧表示(L) エラー→覧(E) 伝送確認(©)

2. [機種情報]タブをクリックします。

🖋 機器のプロパ	(नित	2	×
機器Na:	A-81		1
(機種情報)機	緩情報│制御 │監視[2値]│監視[数値]│経歴[4	器] 経歴_▲	١
機器品番:	TDRA-8153ST		
STM:	STK-110		
通信形式:	独自 [770MHz]2		
電源:	60V施設用		
		ОК	

情報タブで確認できる項目

項目	説明
機器品番	 機器品番を表示します。
SΤΜ	装着されているSTMユニット名を表示します。

通信形式 装着されているSTMユニットの通信形式を表示します。

電源 接続されている電源を表示します。

(2)機器情報を表示する

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。

/糸統図・Sample1	
	<mark>プロパティ(<u>R</u>) ノードー覧を開((№) 一覧表示(L) エラーー覧(E) 伝送確認(<u>C</u>)</mark>

2. [機器情報]タブをクリックします。

🏉 機器のプロ/	र्रन			×
機器Na:	2102			
機種情報 様	援器情報 制御	監視[2値] 監視[書	汝値] 経歴[機器]	経歴 ▲▶
アドレスNa:	2102			
シリアルNa:				
電柱Na:				
PSNa:	2100P			
グループ名 :				
EQ:	3			
入力АТТ:	2			
BON:	7			
				ОК

情報タブで確認できる項目

項目	説明	
アドレス		
シリアル	シリアルを表示します。	
電柱	取り付けられている電柱 を表示します。	
ΡS	電源を供給しているPS を表示します。	
グループ名	グループ名を表示します。	
ΕQ	アンプのEQの値を表示します。	
入力АТТ	アンプの入力ATTの値を表示します。	
BON	アンプのBONの値を表示します。	

(3)制御情報を表示する

アンプの制御情報を表示します。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。



2. [制御]タブをクリックします。

🥖 機器のプロパティ					×
機器Na: A1					
機種情報 機器情報 制御	監視[2	値丨監	視[数値]	経歴[機器	計 経歴 ▲▶
制御項目名	設定値	規定値	設定	設定	設定
上り幹線増幅部ゲート	通過	通過	🗌 通過	-6dB	[]]月止
上り分岐増幅部1ゲート	通過	通過	🗌 通過	-6dB	□ B狙止
上り分岐増幅部2ゲート	通過	通過	通過	-6dB	 月月1上
上り分岐増幅部3ゲート	通過	通過	通過	-6dB	 月月1上
上り分岐増幅部4ゲート	通過	通過		6dB	 月月止上
上りHPF(30MHz)切り換え	OFF	OFF	OFF	ON 🗌	
 「 表示ロック			制御		OK

[制御]タブでは機器の制御に必要な項目を表示します。

項目	説明
制御項目名	制御する対象の項目名を表示します。
設定値	現在の制御状態を表示します。
既定値	標準値がどちらの状態かを表示します。
設定	設定する項目をボタンで表示します。

- [表示ロック]ボタンをチェックすることで外部からの制御の有無にかかわらず制御 タブの表示を固定できます。チェックしない場合、クリック後数秒で元の状態に戻 ります。
- 実際に制御するときは[制御]ボタンをクリックします(ツール オプションで[制御 で制御ボタンを有効にする]チェックボックスを[ON]にしている場合)。
- 無応答の場合、画面左下に無応答と表示されます。

<mark>無応答</mark>	□ 表示ロック

- STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません
- 設定で[-6dB]が選択できる機器について
 - [-6dB]の設定は確認用のため運用では設定しないでください。

(4)制御を実行する

[操作方法]

ここでは上り分岐増幅3ゲートを阻止にする操作を例に説明します。

- 1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。
- 2. [制御]タブを表示します。
- 3. 上り分岐増幅3ゲートの状態が通常であることを確認します。
- 4. [表示ロック]をクリックします。
- 5. [阻止]ボタンををダブルクリックし、背景が水色の状態にします。
- 6. [制御]ボタンをクリックします。
- 7. [制御を実行します。よろしいですか?]と表示されたら[はい]ボタンをクリックます。

6,7 は[ツール] [オプション]で[制御で制御ボタンを有効にする]チェックボックが [ON]の場合のみ操作が可能です。[OFF]の場合、設定項目をダブルクリックするだ けで制御が実行されます。

⊿機器のプロパティ			×
機器Na: A-5			
機種情報 機器情報 制御	監視[2値] 監	視[数値] 経歴	[機器] 経歴 ▲ ▶
制御項目名	設定値 規定値	設定設定	設定
上り幹線増幅部ゲート	通過 通過	<mark>通過</mark> 6	dB 🔲 阻止
上り分岐増幅部1ゲート	通過 通過	通過6	dB 🔲 阻止
<mark>上り分</mark> ステータスモニタ			×
上り分 上り分 上り日 上り日	内容(水色)/イライ か? い <u>の</u> の()	(ト表示)で制御を野 ,いいえ(<u>N</u>)	€行します。
▼ 表示ロック		制御	OK

- しばらくすると[設定値]の表示が[阻止]に変わります。
- [設定値]はセンター装置から送信される制御の状態を表すものでSTMの状態を表 すものではありません。

アンプ制御を途中で中止するには

[操作方法]

[制御を実行します。よろしいですか?]と表示されたら[いいえ]ボタンをクリックます。

注意

[ツール] [オプション]で[制御で制御ボタンを有効にする]チェックボックを[OFF]にしている場合は、短時間に続けて制御の実行操作を行わないでください。制御が切換わらない場合があります。

これは、制御の処理中に次の制御操作を行ったことにより、次の制御が受付けられないために起こります。

必ず、前回の制御が完了し、機器の状態が切換わっているのを確認してから次の制御 を実行するようにしてください。

[確認方法]

- 1. [制御]タブの[状態]表示が切換わったことで制御の実行が受付けられたことを確認 します。
- 2. [監視[2値]]タブで、実際に機器の状態が切換わったことを確認します。
 - 切換わらない場合は5回までリトライしますのでしばらく時間がかかります。
 それでも切換わらない場合は、もう一度制御操作をやり直してください。

(5)監視[2値]を表示する

機器の監視項目で2値の情報を表示します。

[操作方法]

 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。



2. [監視[2値]]タブをクリックします。

→機器のプロパティー しんしょう しょうしょう しょうしょう		×
機器Na: TBRA8141		
機種情報 機器情報 制御 監視 [2値] 監視 [数値] 経歴	[機器] 経歴	₩▼▶
監視項目名	状態	
ふた開閉状態	開	
動作電源状態	商用	
水浸入状態	無	
下りAGC/MGC動作状態	AGC	
上り分岐増幅部1,2動作状態	通常	
上り分岐増幅部3,4動作状態	通常	
上归幹線增幅部動作状態	通常	
□ 表示ロック 更新		ж

監視[2値]で確認できる項目(例)

項目

説明

ふた開閉状態	ふた開閉状態を表示します(開/閉)。
動作電源状態	動作電源状態を表示します(商用/インバータ)。
水浸入状態	水浸入状態を表示します(有/無)。
下りAGC/MGC動作状態	AGC動作状態を表示します(AGC/MGC)。
上り分岐増幅部1 , 2動作状態	上り分岐増幅部1,2の動作状態を表示します (通常 / 阻止)。
上り分岐増幅部3,4動作状態	上り分岐増幅部3,4の動作状態を表示します
	(通常/阻止)。
上り幹線増幅部動作状態	上り幹線増幅部動作状態を表示します(通常 / 阻 止)。

- 監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。
- 状態表示は状態によって色が変わります。

正常の場合 エラーが発生している場合

• 無応答の場合、画面左下に無応答と表示されます。



• STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。

[監視の有効/無効]

機器の監視を項目ごとに有効/無効に切換えることができます。

- 1. [表示ロック]チェックボックスを[ON]にします。
- 設定する監視項目名上で右クリックすると、[エラー検出]が表示されるのでクリックします。

機種情報 機器情報 制御	監視[2値]
監視項目名	
ふた開閉状態 動作電源状態 エラー検出	(<u>E</u>)
水浸入状態	

3. 有効時は[白]、無効時は[グレー]に背景色が変わります。2.の操作をするたびに、 切換わります。

機種情報 機器情報 制御	監視[2値]
監視項目名	
ふた開閉状態	
動作電源状態	
水浸入状態	

4. [更新]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されるので、設定 内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

[ヒント]

[更新]ボタンが表示されるタブでは、そのタブ上の設定だけでなく他のタブ上の設定も同時に更新されます。そのため、それぞれのタブ上での設定を済ませた後に[更新]ボタンをクリックすると、まとめて設定することができます。

(6)監視 [数値]を表示する

機器の監視項目で数値の情報を表示します。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。

✔系統図・Sample1		
	0016	<mark>プロパティ(<u>R</u>) ノードー覧を開く(<u>M</u>) ー覧表示(L) エラーー覧(E) 伝送確認(<u>C</u>)</mark>

2. [監視 [数値]]タブをクリックします。

					×	
機種情報 機器情報 制御 監視 [2値] 監視 [数値] 経歴 [機器] 経歴 ◀ ▶						
状態	単位	下限	標準	上限	16進	
98	dΒμ	92	97	102	A9	
- 39	V	40	60	63	00	
24	V	23	24	25	4F	
42	°C	-10	30	60	31	
0	%	0	50	90	06	
	更新				эк	
] 監視 状態 98 39 24 42 0	 監視 (数値 状態 単位 98 dBµ 39 V 24 V 24 V 42 °C 0 % 	監視 (数値) 経) 状態 単位 下限 98 dBµ 92 39 V 40 24 V 23 42 ℃ -10 0 % 0	監視 (数値) 経歴(機器 状態 単位 下限 標準 98 dB μ 92 97 39 V 40 60 24 V 23 24 42 °C -10 30 0 % 0 50	監視(数値) 経歴(機器) 経) 状態 単位 下限 標準 上限 98 dBµ 92 97 102 39 V 40 60 63 24 V 23 24 25 42 °C -10 30 60 0 % 0 50 90	

監視(数値)で確認できる項目(例)

項目	説明
下リパイロット信号出力レベル	下りパイロット信号出力レベルを表示します
	(1dB単位)。
AC電源電圧	商用電源使用時のAC電源電圧を表示します
	(1V単位)。
AC電源電圧(インバータ)	インバータ電源使用時のAC電源電圧を表示します
	(1V単位)。
DC電源電圧	DC電源電圧を表示します。(1V単位)。
筐体内温度	筐体内部の温度を表示します(1 単位)。
筐体内湿度	筐体内部の湿度を表示します(10%単位)。

- 監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。
- 状態表示は状態によって色が変わります。

正常の場合 エラーが発生している場合

• 無応答の場合、画面左下に無応答と表示されます。

|--|

• STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。

[監視の有効/無効]

機器の監視を項目ごとに有効/無効に切換えることができます。

- 1. [表示ロック]チェックボックスを[ON]にします。
- 設定する監視項目名上で右クリックすると、[エラー検出]が表示されるのでクリックします。

機種情報│機器情報│制御 │監視[2値]	監視[[数値]	
監視項目名	状態	単位	ጉ
下りパイロット信号出力しべい	0	dΒμ	9;
AC電源電圧 (AC電源電圧	0	V	41
DC電源電圧	0	V	23

3. 有効時は[白]、無効時は[グレー]に背景色が変わります。2.の操作をするたびに、 切換わります。

機種情報 機器情報 制御 監視[2値]	監視	[数値]	
監視項目名	状態	単位	ጉ
下りパイロット信号出力レベル	0	dBµ	92
AC電源電圧	0	V	4(
DC電源電圧	0	V	20

4. [更新]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されるので、設定 内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

[ヒント]

[更新]ボタンが表示されるタブでは、そのタブ上の設定だけでなく他のタブ上の設定も同時に更新されます。そのため、それぞれのタブ上での設定を済ませた後に[更新]ボタンをクリックすると、まとめて設定することができます。

(7)機器経歴を表示する

機器のエラー経歴を発生順に表示します。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。



- 2. [経歴[機器]]タブをクリックします。
- 3. [検索]ボタンをクリックします。

▶️機器のプロパティ					×
機器Na: TBRA8141					
【機種情報】機器情報】制御】!	監視[2値]] 監視[数値	訂 経歴	[機器]	経歴_◀▶
項目	状態	日付	時刻	正常/	´異常 ▲
DC電源電圧	16.00 V	2003/10/30	13:21:34	発生	
ふた開閉状態	開	2003/10/30	13:21:33	発生	
上り幹線増幅部動作状態	阻止	2003/10/30	13:21:33	発生	
通信サーバーが起動しました。		2003/10/30	13:10:12		
					
			検	索	ОК

機器経歴で確認できる項目

項目	
項目	異常発生項目を表示します。
状態	異常発生 / 収束時の状態を表示します。
日付	異常発生 / 収束時の日付を表示します。
時刻	異常発生 / 収束時の時刻を表示します。
正常 / 異常	異常発生時は[発生]、収束時は[復旧]を表示します。

• STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。

(8)ステータス経歴を表示する

ステータスモニタユニットのエラー経歴を発生順に表示します。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。

🥜 系統図・Sample1		
	0016	プロパティ(<u>R</u>) ノードー覧を開((<u>N</u>)) ー覧表示(L) エラーー覧(E) 伝送確認(C)

- 2. [経歴[STM]]タブをクリックします。
- 3. [検索]ボタンをクリックします。

	∕ 機器のプロパティ					×
	機器Na: 2102					
ĺ	機器情報 制御 監視[2値]	監視[数	値] 経歴[機	器] 経	歴[STM]	₹₽₽
	項目	状態	日付	時刻	正常/異	
	STMデータ伝送	無応答	2003/10/30	13:16:07	発生	
	通信サーバーが起動しました。		2003/10/30	13:10:12		
						-
				検	索 [ОК
_				横	索	ок

ステータス経歴で確認できる項目

項目	説明			
	異常発生項目を表示します。			
状態	異常発生 / 収束時の状態を表示します。			
日付	異常発生 / 収束時の日付を表示します。			
時刻	異常発生 / 収束時の時刻を表示します。			
正常 / 異常	異常発生時は[発生]、収束時は[復旧]を表示します。			

• STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。

(9)メモ、設置場所を入力する

機器に対するコメントを入力します。

[操作方法]

 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。



- 2. [その他]タブをクリックします。
- 3. 入力した内容を保存するときは[表示ロック]チェックボックスを[ON]にした後、テ キストボックスに入力します。どちらの項目も半角で256文字まで入力できます。
- 4. [更新]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されるので、設定 内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

🥖機器のプロ/	দিন			×
機器Na:	TBRA8141			
制御 監視	[2値] 監視[数値] 編	圣歴[機器]│経歴[S	STM] その他	1 通信 🕩
設置場所:	神戸市兵庫区浜崎通2	2-15		×
¥ T :	DXアンテナ株式会社			
	▶ 表示ロック	更新		ОК

- [ヒント]
 - [更新]ボタンが表示されるタブでは、そのタブ上の設定だけでなく他のタブ上の設定も同時に更新されます。そのため、それぞれのタブ上での設定を済ませた後に[更新]ボタンをクリックすると、まとめて設定することができます。
- (10) 通信関係の設定を行う

個別の機器に対するポーリング、エラー検出、メッセージ送信(ポケベル、ショートメ ール、電子メール)の有無を設定します。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。



2. [通信]タブをクリックします。

🥖 機器のプロパティ			×
機器Na: TBRA8141			
監視[2値] 監視[数値] 経歴[機器] 経歴[STM] -	その他	通信	監視 ◀▶
▼ ポーリングの対象とする			
▼ エラー検出する			
☑ ポケベルへ出力する			
 「 表示ロック 更新			ОК

• [ポーリングの対象とする]

この機器に対して通信を行う場合、チェックボックスを[ON]にします。[OF F]の場合、この機器への通信は行いません。

• [エラー検出する]

この機器でエラーが発生したことを検出する場合、チェックボックスを[ON]にします。[ポーリングの対象とする]チェックボックスを[OFF]にした場合、この項目の設定は無効です。

• [ポケベルへ出力する]

この機器でエラーが発生したときにメッセージ送信(ポケベル、ショートメール、電子メール)行う場合、チェックボックスを[ON]にします。[ポーリングの対象とする]、および[エラー検出する]チェックボックスを[OFF]にした場合、この項目の設定は無効です。

- STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。
- 3. [更新]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されるので、設定 内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

[ヒント]

[更新]ボタンが表示されるタブでは、そのタブ上の設定だけでなく他のタブ上の設定も同時に更新されます。そのため、それぞれのタブ上での設定を済ませた後に[更新]ボタンをクリックすると、まとめて設定することができます。

(11) 監視[数値]項目の内容を設定する

監視[数値]項目の上限下限値および表示値を設定します。設定した内容はこの機器での み有効です。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器をダブルクリックするか、右クリックし、[プロパティ]を クリックします。

🏉 系統図・Sample1		
	0016	プロパティ(<u>R</u>) ノードー覧を開く(<u>N</u>) ー覧表示(L) エラーー覧(E) 伝送確認(<u>C</u>)

- 2. [監視[数値]編集]タブをクリックします。
- 3. [表示ロック]チェックボックスを[ON]にした後、設定したい項目をダブルクリック し、 ■ボタンまたは直接入力を行います。

🥖 機器のプロパティ					×
機器№: TBRA8141					
監視項目名	基準	下限	上限	補正	倍率
下りバイロット信号出力レベル	0	92	102	0	1.00
AC電源電圧	0	40	63	0	1.00
AC電源電圧[インバータ]	0	40	63	0	1.00
DC電源電圧	0	23	25	0	1.00
筐体内温度	0	-10	60	0	1.00
筐体内湿度	0	0	90	0	1.00
□ 編集の内容を他の機器(同→機種)にも適用する					
□ 表示ロック	更	新			OK]

- [基準] 該当項目の上限および下限の基準となる値を設定します。基準値を+1に 設定した場合、上限下限も同時に+1ずつ変更されます。
- [下限] 該当項目の下限値を設定します。

- [上限] 該当項目の上限値を設定します。
- [補正] 該当項目の監視[数値]項目の値を補正します。
 - STMを搭載していない機器の場合、この画面は表示されません。
- 4. 他の同タイプの機種もまとめて同一設定にする場合は、[編集の内容を他の機器(同 一機種)にも適用する]にチェックを入れます。
- 5. [更新]ボタンをクリックすると確認のダイアログボックスが表示されるので、設定 内容を保存する場合は[はい]、保存しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

[ヒント]

[更新]ボタンが表示されるタブでは、そのタブ上の設定だけでなく他のタブ上の設定も同時に更新されます。そのため、それぞれのタブ上での設定を済ませた後に[更新]ボタンをクリックすると、まとめて設定することができます。

VII. 伝送確認

(1)伝送確認を表示する

系統図に表示されている機器と1対1で通信することで、機器内蔵のステータスモニタユ ニットとの通信確認、機器の監視・制御を行います。

[注意]

- 伝送確認実行中は他の機器とのポーリングを停止します。伝送確認を終了するまで ポーリングを再開しません。
- 遠隔側PCでは伝送確認を実行できません。
- 系統図に登録していない機器は伝送確認できません。
- STMを搭載していない機器の場合は操作できません。

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。

🥖 ステータスモニタ	
ファイル(E) 表示(⊻) ツ	ール田 ウィンドウ(W) へいう
\$ \$ \$	* QQ
NODE 12	
11	
ll	<u> </u>
	プロパティ(<u>R</u>)
	ノード一覧を開く(N)
1206P	一覧表示(L)
	覧(E)
	伝送確認(<u>C</u>)

2. 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[は い]ボタンをクリックします。

ステータスモ	<u>-</u> 9			×
?	伝送確認ダイアログボック 実行しますか?	フスを開くとポーリ)	ングが停止し	ます。
	(101)	(いいえ(<u>N</u>)		

3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

伝送確認		×
機器Na:	2103	
(懇話情報) 制	御 監視[2値] 監視[数値]	 通信開始
アドレスNa:	2103	通信停止
シリアルNa:		
電柱Na:		キャリア ON
PSNa:	2104P	キャリア OFF
グループ名:		
EQ:	З	
入力АТТ:	2	
BON:	6	
		閉じる

(2)伝送を確認する

[操作方法]

- 1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。
- 2. 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[は い]ボタンをクリックします。
- 3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

伝送確認				×
機器Na: 2103				
機器情報 〔制御 】 監視 [2値]	監視[数値]			 通信開始
制御項目名	設定値規定値	設定	設定	通信停止
上り分岐増幅部切り換え	通常通常		四阻止	
上り早秋が増加速中りりり投入	進市 進市			 キャリア ON
				キャリア OFF
, 				 閉じる

伝送確認での操作

操作項目

説明

[通信開始]	選択している機器と通信を開始します。通信中は <mark>通信</mark> と表示 します。
[通信停止]	通信を停止します。
[キャリアON]	選択している機器のステータスモニタユニットの上りデータ信号キャリアをONするコマンドを送信します。キャリアON中は キャリアのと表示します。また、キャリアON中を示すプログレス バーを表示します。 [キャリアON]ボタンクリック後約25秒後にキャリアをOFFす るコマンドを送信します。
[キャリアOFF]	ステータスモニタユニットの上りデータ信号キャリアをOFFする コマンドを送信すします。

 [設定]
 [制御]タブの[設定]ボタンダブルクリックで制御内容を記憶します。
 [通信開始]ボタンクリックまたは[閉じる]ボタンクリックでステータ スモニタユニットに制御内容が反映されます。
 通信中、キャリアON中は設定を変更できません。

[閉じる] [データ伝送確認]ダイアログボックスを閉じ、ポーリングを再開します。

 伝送確認でステータスモニタユニットと通信でが無応答の場合は 無応答 示します。
(3)伝送確認・[情報]タブについて

[操作方法]

- 1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。
- 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[はい]ボタンをクリックします。
- 3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

伝送確認			×
機器No:	2103		
() 親諾情報() 制	御 監視[2値] 監視[数値]	1	通信開始
アドレスNa:	2103		通信停止
シリアルNa:			
電柱Na:			キャリア ON
PSNa:	2104P		キャリア OFF
グループ名:			
EQ:	3		
入力АТТ:	2		
BON:	6		
			閉じる

情報タブで確認できる項目

項目

説明

アドレス No.	装着されているSTMユニットのアドレス	を表示します。
シリアル	シリアル を表示します。	
電柱	取り付けられている電柱 を表示します。	
ΡS	電源を供給しているPS を表示します。	
グループ名	グループ名を表示します。	
EQ	アンプのEQの値を表示します	
入力АТТ	アンプの入力ATTの値を表示します。	
BON	アンプのBONの値を表示します。	

(4)伝送確認・[制御]タブについて

[操作方法]

- 1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。
- 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[はい]ボタンをクリックします。

3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

ſź	送確認					×
3	機器Na: 2103					
	機器情報 [制御] 監視[2値] 監視[関	数値]			通信開始
	制御項目名	設定値	規定値設定	設定		通信停止
I	上り分岐増幅部切り換え	通常	通常 🗌 通常	阻止		
I	上り幹線増幅部切り換え	通常	通常 🗌 通常	□ 阻止		\$NIT ON
I					- 1	
I						\$++J7 OFF
I						
I						
I						
I						
						閉じる

[制御]タブでは機器の制御に必要な項目を表示します。

項目

説明

制御する対象の項目名を表示します。
現在の制御状態を表示します。
標準値がどちらの状態かを表示します。
設定する項目をボタンで表示します。

- 制御の内容は、[通信開始]ボタンクリックまたは[閉じる]ボタンクリックでステー タスモニタユニットに制御内容が反映されます。
- 通信中、キャリアON中は設定を変更できません。

設定で[-6dB]が選択できる機器について

[-6dB]の設定は確認用のため運用では設定しないでください。

(5)伝送確認・[監視[2値]]タブについて

[操作方法]

- 1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。
- 2. 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[はい]ボタンをクリックします。

3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

伝送確認		×
機器Na: 2103		
機器情報 制御 「監視 [2値] 監視 [数値]		通信開始
監視項目名	状態	通信停止
ふた開閉状態	閉	
水浸入状態	無	
動作電源状態	商用	4+97 ON
下りAGC/MGC動作状態	MGC	
上り分岐増幅部動作状態	通常	
上り幹線増幅部動作状態	通常	
<u></u>		BUG

監視(2値)で確認できる項目(例)

項目説明ふた開閉状態ふた開閉状態を表示します(開/閉)。水浸入状態水浸入状態を表示します(有/無)。動作電源状態動作電源状態を表示します(有/無)。動作電源状態を表示します(商用/インバータ)。下りAGC/MGC動作状態AGC動作状態を表示します(AGC/MGC)。上り分岐増幅部動作状態上り分岐増幅部の動作状態を表示します(通常/阻止)。上り幹線増幅部動作状態を表示します(通常/阻止)。

• 監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。

• 状態表示は状態によって色が変わります。



(6)伝送確認・[監視[数値]]タブについて

[操作方法]

1. 系統図上で表示する機器を右クリックし、[伝送確認]をクリックします。

2. 実行するかどうか確認のダイアログボックスを表示しますので、実行する場合は[は

い]ボタンをクリックします。

3. 伝送確認ダイアログボックスを表示します。

(+162/150))))							
i + Rever and							
安以1但」							通信開始
状態	単位	下限	標準	上限	16進		诵信停止
0	dΒμ	86	91	96	00		
0	V	40	60	63	00		
0	V	23	24	25	00		fryr on
0	°C	-10	30	60	00		ま _め Jア OFE
0	%	0	50	90	00		107 011
						- 1	
						- 1	
						- 1	
						- 1	
							閉じる
	(鼓値)) 	(鉄値)	法価値 状態 単位 下限 0 dBµ 86 0 V 40 0 V 23 0 °C -10 0 % 0	(鉄値) 状態 単位 下限 標準 0 dB μ 86 91 0 V 40 60 0 V 23 24 0 C -10 30 0 % 0 50	(鉄値) 状態 単位 下限 標準 上限 0 dBµ 86 91 96 0 V 40 60 63 0 V 23 24 25 0 ℃ -10 30 60 0 ℃ 0 50 90 0 % 0 50 90	(鉄値) 状態 単位 下限 標準 上限 16進 0 dBµ 86 91 96 00 1 0 V 40 60 63 00 1 0 V 23 24 25 00 1 0 ℃ -10 30 600 00 1 0 ℃ -10 30 600 00 1 0 % 0 50 90 00 1	(鉄値) 状態 単位 下限 標準 上限 16進 0 dBµ 86 91 96 00 0 V 40 60 63 00 0 V 23 24 25 00 0 ℃ -10 30 60 00 0 0 ℃ -10 30 90 00 0

監視(数値)で確認できる項目(例)

項目	説明
下りパイロット信号出力レベル	下リパイロット信号出力レベルを表示します(1dB 単位)。
AC電源電圧	商用電源使用時のAC電源電圧を表示します(1V単 位)。
AC電源電圧(インバータ)	インバータ電源使用時のAC電源電圧を表示します (1V単位)。
DC電源電圧	DC電源電圧を表示します。(1V単位)。
筐体内温度	筐体内部の温度を表示します(1 単位)。
筐体内湿度	筐体内部の湿度を表示します(10%単位)。

- 監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。
- 状態表示は状態によって色が変わります。

正常の場合 エラーが発生している場合

♥┃┃1. 機器一覧

(1)機器一覧を表示する

機器個別情報・情報タブで表示される内容をノード別に一覧表示します。

[操作方法1]

1. メニューバーの[ファイル] [一覧を開く]をクリック、またはツールバーの[一覧を 開く]アイコンをクリックします。

🥖 ステータスモニタ			
表示(⊻)	ツール①	_ ウィンドウ₩)	ヘルプ(円)
系統図を開く(<u>O</u>) ノード一覧を開く(<u>N</u>)	Ctrl+O	19	
一覧を開く(1)			
エラー一覧を開く(E) 経歴を開く(C)			
閉じる(Z)			
プリンタの設定(R) 印刷(P)	Ctrl+P		
終了⊗			

2. ノード名称をクリックし[開く]をクリックします。

厭						×
ノード	一覧					
NC NC	DDE 12	NODE 14	KANODE 15	K NODE	16	
NC NC	DDE 2	NODE 3	NODE 4	🕂 🕂 NODE	5	- 1
NC 🙀	DDE 6	NODE 7	NODE 8	🕂 😫 NODE	9	- 1
NC 🙀	DDE K1	K10 NODE K10	K11	🕂 🕂 NODE	K12	- 1
NC 🙀	DDE K13	K14	K15 NODE K15	🙀 NODE	K16	- 1
NC 🙀	DDE K2	K3 NODE K3				- 1
1 ·						- 1
J						
ノード	"名称: NODE	E 12			[]開入	
					キャンセル	

[操作方法2]

1. 系統図上で右クリックし、[一覧表示]をクリックします。機器を右クリックした場合、その機器より前に接続された機器の一覧が表示されます。ノード全体の一覧を 表示する場合は機器が表示されていないところで右クリックします。



(2)機器一覧・[情報]タブについて

各機器の情報を一覧表示します。

[表示概要]

/NODE	1-一覧				_		
情報 制御 監視[2値] 監視[数値] 監視[数値]グラフ							
機器N α	機器品番	STM	通信形式	電源	アドレスNa	シリアルNa	
0174	TBRA-8001	STK-104	独自 [770MHz]1	60V施設用	114	M801094	7_
0153	TBRA-8001	STK-104	独自 [770MHz]1	60V施設用	107	M801099	7
0159	TBRA-8001	STK-104	独自 [770MHz]1	60V施設用	108	M801086	7
0160	TBRA-8001	STK-104	独自 [770MHz]1	60V施設用	109	M801007	7
0109	TBRA-8001	STK-104	独自 [770MHz]1	60∨施設用	103	M801093	7 🔳

[情報]タブで確認できる項目

項目

説明

機器 機器 を表示します。

STMとの通信に異常がある場合に黄色で塗りつぶします。

機器品番 機器品番を表示します。

STM 装着されているSTMユニット名を表示します。

通信形式 STMユニットの通信形式を表示します。

電源 接続されている電源を表示します。

- アドレス 装着されているSTMユニットのアドレス を表示します。
- シリアル シリアル を表示します。

電柱 アンプが取り付けられている電柱 を表示します。

- PS アンプに電源を供給しているPS を表示します。
- グループ グループ名を表示します。
- EQ アンプのEQの値を表示します。

入力 A T T アンプの入力 A T T の値を表示します。

BON アンプのBONの値を表示します。

• [情報]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの[プロパティ]をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[ノード/系統一覧]

ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。

一覧表内で右クリックしてポップアップメニューの[ノード一覧を開く]をクリックします。

[エラーの一覧]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	[]][]]	いいえ

2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。 (3)機器一覧・[制御]タブについて

各機器の制御情報を一覧表示します。

[表示概要]

	NODE	1						_ 🗆	×
ľ	青報	制御	監視[2値]	「監視し数値」	監視し数値)グラ	57			
2	機器Na	上り斬	線増幅部	上り分岐(分配	2)増幅部3,4	上り分岐(分配)増幅	部1,2	商用/インバータ	\Box
6	A-5	通常		通常		通常		_	
ŀ	A-4	通常		通常		通常		-	
k	A-3	通常		通常		通常		-	
ŀ	A-2	通常		-		-		-	
Ŀ									Þ

[制御]タブで確認できる項目(例)

項目

説明

上り分岐増幅部切り換え状態 上り分岐増幅部切り換え状態を表示します(通常/阻止)。

上り幹線増幅部切り換え状態 上り幹線増幅部切り換え状態を表示します(通常/阻止)。

制御項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。

• [制御]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの[プロパティ]をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[ノード/系統一覧]

ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。 一覧表内で右クリックしてポップアップメニューの[ノード一覧を開く]をクリック します。

[エラーの一覧]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

[印刷]

1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
	(Itt)	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (4)機器一覧・[監視[2値]]タブについて各機器の監視[2値]情報を一覧表示します。

[表示概要]

NODE	1 Automic Date	TEST III	Ette Dave1		resal.		
1048 (4)25No	●197 二三、	水浸入	ADDURING A	AGC/MGC	190	11分號(分配)19編譯1.2	1月分岐(分配))制制約3,4
A-5	M	*	商用	-	通常	通常	诸常
A-4	1	*	兩用	AGC	通常	通常	通常
A-3	CIT.	*	商用	AGC	通常	通常	通常
A-2	M.	用	商用	AGC	通常	-	-
.							ľ

[監視[2値]]タブで確認できる項目(例)

項目

説明

機器	機器を表示します。
ふた開閉状態	ふた開閉状態を表示します(開/閉)。
水浸入状態	水浸入状態を表示します(有/無)。
動作電源状態	動作電源状態を表示します(商用/インバータ)。
下りAGC/MGC動作状態	AGC動作状態を表示します(AGC/MGC)。
上り分岐増幅部切り換え状態	上り分岐増幅部切り換え状態を表示します(通常 / 阻 止)。
上り幹線増幅部動作状態	上り幹線増幅部動作状態を表示します(通常/阻止)。

監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。

- [監視[2値]]タブでは次の操作ができます。
 - [機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの[プロパティ]をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[ノード/系統一覧]

ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。 一覧表内で右クリックしてポップアップメニューの[ノード一覧を開く]をクリック します。

[エラーの一覧]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
	[JU]	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (5) 機器一覧・[監視[数値]]タブについて

各機器の監視[数値]情報を一覧表示します。

[表示概要]

	NODE:							×
ľ	春報 1	制御 監視[2値] 「監視し数値	町 監視 医(直グラフ			
1	幾器Na	下り出力レベル	AC電圧	DC電圧	筐体内温度	筐体内湿度	AC電流	
7	4-5	_	61 V [97]	24 V [76]	35 °C [2D]	0 % [03]	_	
H	A-4	97 dB µ [A2]	61 V [97]	24 V [76]	35 °C [2D]	0 % [02]	-	
H	A-3	97 dB µ [A0]	61 V [96]	24 V [75]	35 °C [2D]	0 % [02]	-	
H	A-2	97 dB µ [9C]	61 V [97]	24 V [76]	37 °C [2E]	0 % [02]	-	
Ŀ								►

[監視[数値]]タブで確認できる項目(例)

- **=** -

山口 山	司尤 P 月			
下りパイロット信号出力レベル	下りパイロット信号出力レベルを表示します(1dB 単位)。			
AC電源電圧	商用電源使用時のAC電源電圧を表示します(1V単 位)。			
A C 電源電圧 (インバータ)	インバータ電源使用時のAC電源電圧を表示します(1 V単位)。			
DC電源電圧	DC電源電圧を表示します。(1V単位)。			
筐体内温度	筐体内部の温度を表示します(1 単位)。			
筐体内湿度	筐体内部の湿度を表示します(10%単位)。			

監視項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。

カッコ内の数値は各監視[数値]情報の元になる16進値で、それぞれの項目に応じ たレベル表現に変換されて左の値となります。この数値は通信サーバーソフトの通 信状況ウィンドウで表示される受信データの値と一致します。

• [監視[数値]]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

- プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの[プロパティ]をクリックします。
- [系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[ノード/系統一覧]

ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。 一覧表内で右クリックしてポップアップメニューの[ノード一覧を開く]をクリック します。

[エラーの一覧]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

[印刷]

1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	(Jtl)	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (6)機器一覧・[監視[数値]グラフ]タブについて

各機器の監視[数値]情報をグラフ表示します。横軸は各機器の機器 No.、縦軸は標準値 からのレベル位置を表します。各機器の数値情報が、標準値からどれだけ増減している かが視覚的に表示されるので、他の機器とのレベルの違いや異常をひと目で確認するこ とができます。

[表示概要]

💋 NOD	/NODE1 - 一覧 X								
情報	制御	│ 監	現[2値	门監	視[数値] 監視[数値]グラフ]				
項目:	下り出	・カレ	50D		 オフセット: 0 🔹 				
	A-5	A-4	A-3	A-2					
範囲外									
+ 9									
+ 8									
+ 6									
+ 5									
+ 3									
+ 1			98						
檀進	96	97		97					
- 2									
- 3	-								
- 5									
- h - 7									
- 8									
-10									
節囲外									
•	1								

[操作方法]

- 1. 表示させる数値項目を[項目]リストボックスから選択します。
- 2. グラフの範囲内に収まらない場合は[オフセット]を増減させます。

表示項目は機器品番、伝送フォーマットにより異なります。

• [監視[数値]グラフ]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティの表示] プロパティ表示させる機器の列をダブルクリックします。

IX. エラー一覧

(1)エラー一覧を表示する現在発生しているエラーの内容をノード別に一覧表示します。

[操作方法1]

1. メニューバーの[ファイル] [エラー一覧を開く]をクリック、またはツールバーの[エ ラー一覧を開く]アイコンをクリックします。



[操作方法2]

1. 系統図上で右クリックし、[エラー一覧]をクリックします。



(2)エラー一覧について

現在発生しているエラーの情報を全ノード、およびノード別に一覧表示します。

[表示概要]

/Iラ	→覧				- 🗆 🗵
全ノード	NODE1				
機器Na	エラー項目	エラー状態	品番	STM	
A-1	下り光受信機2入力	無	C-COR FlexNet Node	STK-108	
A-1	ふた開閉状態	開	C-COR FlexNet Node	STK-108	
A-1	ALC/Manualスイッチ	⋜ニュアル	C-COR FlexNet Node	STK-108	
A-1	光受信機2パワーモニタ	0.00 mW	C-COR FlexNet Node	STK-108	
A-2	ふた開閉状態	開	TRA-8141	STK-106	
A-3	ふた開閉状態	開	TDRA-8141	STK-106	
A-4	ふた開閉状態	開	TBRA-8141	STK-106	
A-5	ふた開閉状態	開	BRA-8141	STK-106	
PS-A	バッテリィ電圧	80 V	PS-6015DFN(T)	T-2608	
A-6	ふた開閉状態	開	TBRA-8151	STK-104	-

エラー一覧で確認できる項目

項目

説明

ノード名 エラーが発生した機器のノード名を表示します(全ノード表示時のみ)

機器 機器 を表示します。

エラー項目 エラーの内容を表示します。

エラー状態 エラー発生時の状態を表示します。

品番機器の品番。

STM 機器に搭載されているSTM名を表示します。

発生日 エラーの発生年月日を表示します。

発生時刻 エラーの発生時刻を表示します。

エラー一覧では次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの[プロパティ]をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[ノード/系統一覧]

ノード機器およびノード全体のエラー状況を一覧表示します。

一覧表内で右クリックしてポップアップメニューの[ノード一覧を開く]をクリックします。

[エラーの一覧]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	[‡l)]	いいえ

2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。

X. ノード一覧

(1)ノード一覧を表示する

ノードおよびノード機器の情報を一覧で表示します。

[操作方法1]

1. ニューバーの[ファイル] [ノードを開く]をクリックします。

🥖 ステータスモニタ			
表示(⊻)	ツール①	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)
系統図を開く(<u>O</u>)	Ctrl+O	ala.	
ノード一覧を開く(N)			
一覧を開く(止)			
エフー一覧を開いし			
経歴を開く①			
閉じる(Z)			
プリンタの設定(R)			
ED届I(P)	Ctrl+P		
-1-ub3 (<u>-</u> 2	0.171		
終了♡			

[操作方法2]

1. 系統図上で右クリックし、[ノード一覧を開く]をクリックします。



[ヒント]

 一覧表示およびエラー一覧上で[ノード一覧を開く]をクリックすることでも[ノード 一覧]を表示できます。 (2) ノード一覧・[情報1]タブについて

各ノードのエラー発生状況を一覧表示します。

[表示概要]

	ノード	/系統-	→覧					
帽	報1	情報2	制御	監視[2値]	監視 数値			
\mathbb{P}	′−۴73	系統名	登録台	数 [STM付]	エラー[2値監視]	エラー酸値監視	エラー[通信]	
N	ODE .	1	38	[21]	0	0	0	
N	ODE -	11	29	[17]	0	0	0	
N	ODE .	12	45	[24]	0	0	0	
N	ODE .	14	31	[18]	0	0	10	
N	ODE .	15	22	[12]	0	0	12	•
Ŀ								

[情報1]タブで確認できる項目

項目	説明
ノード/系統名	ノード名または系統名を表示します。
登録台数	ノードに登録されている機器の台数を表示します。 []内はステ ータスユニット搭載機種の台数です。
エラー[2値監視]	各ノードで監視[2値]エラーが発生している台数を表示します。
エラー[数値監視]	各ノードで監視[数値]エラーが発生している台数を表示します。
エラー [通信]	各ノードでSTMとの通信エラーが発生している台数を表示しま す。

• [情報1]タブでは次の操作ができます。

「系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[一覧表示]

ノード内の機器の監視、制御項目等をノード毎に一覧表示します。

[エラーの一覧]

現在発生しているエラーを一覧表示します。

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

「コピー)

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

[印刷]

1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	(Itt)	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (3)ノード一覧・[情報2]タブについて

ノードアンプの情報を一覧表示します。

[表示概要]

●ノード/系統・	一覧			
情報1 (情報2	制御	監視[2値] 監視[数値]		
ノード/系統名	機器Nα	機器品番	STM	通信形式 🔼
NODE 1	0100	OTR-8002·2出力	STK-104	独自 [770MHz]-
NODE 2	0200	OTR-8002·2出力	STK-104	独自 [770MHz] ⁻
NODE 3	0300	OTR-8002·2出力	STK-104	独自 [770MHz] ⁻
NODE 4	0400	OTR-8002·2出力	STK-104	独自 [770MHz] ⁻
NODE 5	0500	OTR-8002·2出力	STK-104	独自 [770MHz] -
•				

[情報2]タブで確認できる項目

項目	説明		
 ノード/系統名	ノード名または系統名を表示します。		
機器	機器を表示します。		
機器品番	機器品番を表示します。		
STM	装着されている STM ユニット名を表示します。		
通信形式	STMユニットの通信形式を表示します。		
電源	接続されている電源を表示します。		
アドレス	装着されているSTMユニットのアドレス を表示します。		
シリアル	シリアル を表示します。		
電柱	アンプが取り付けられている電柱 を表示します。		
P S	アンプに電源を供給しているPS を表示します。		

グループ グループ名を表示します。

- EQ アンプのEQの値を表示します。
- 入力ATT アンプの入力ATTの値を表示します。
- BON アンプのBONの値を表示します。
- [情報2]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの [プロパティ] をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[一覧表示]

ノード内の機器の監視、制御項目等をノード毎に一覧表示します。

[エラーの一覧]

現在発生しているエラーを一覧表示します。

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	[]tl)	いいえ

2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。 (4) ノード一覧・[制御] タブについて

ノードアンプの制御情報を一覧表示します。

[表示概要]

●ノード/系統・	一覧					<u> </u>
'情報1 情報2	(制御)	監視[2値] 監視	【数値】			
ノード/系統名	機器Nα	上り光送信機1	上り光送信機2	下り光受信機1	下り光受信機2	비
NODE 1	0100	-	-	-	-	
NODE 2	0200	_	-	-	-	-
NODE 3	0300	-	-	-	-	-
NODE 4	0400	-	-	-	-	-
NODE 5	0500	_	-	-	-	

[制御]タブで確認できる項目

項目	説明
ノード/系統名	ノード名または系統名を表示します。
機器	機器を表示します。
上り光送信機 1	上り光送信機1の制御状態を表示します(ON/OFF)。
上り光送信機 2	上り光送信機2の制御状態を表示します(ON/OFF)。
下り光受信機 1	下り光受信機1の制御状態を表示します(ON/OFF)。
下り光受信機 2	下り光受信機2の制御状態を表示します(ON/OFF)。
上り R F スイッチ	上り幹線増幅部切り換え状態を表示します(通過/-6dB/阻止)

• 機種により制御可能な項目が異なります。

• [情報 2] タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

- プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの [プロパティ] をクリックします。
- [系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[一覧表示]

ノード内の機器の監視、制御項目等をノード毎に一覧表示します。

0

[エラーの一覧]

現在発生しているエラーを一覧表示します。

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認	×
印刷を開始します。	
設定 (はい)	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (5) ノード一覧・[監視 [2値]] タブについて

ノードアンプの監視[2値]情報を一覧表示します。

[表示概要]

	▶ノード/系統	一覧						<u>- 0 ×</u>
	'情報1 情報2	制御	監視[2値]	監視 徴	(値)			
	ノード/系統名	機器Nα	ふた開閉	水浸入	動作電源	A/Bスイッチ	A/Bスイッチポジシ:	2 I
l	NODE 1	0100	閉	無	商用	-	-	
l	NODE 2	0200	閉	無	商用	-	-	-
l	NODE 3	0300	閉	無	商用	-	-	-
l	NODE 4	0400	閉	無	商用	-	-	-
l	NODE 5	0500	閉	無	商用	-	-	
l	•							

[監視[2値]]タブで確認できる項目

項目	説明
ノード/系統名	ノード名または系統名を表示します。
機器	機器を表示します。
ふた開閉状態	ふた開閉状態を表示します。(開/閉)
水浸入状態	水浸入状態を表示します。(有/無)
動作電源状態	動作電源状態を表示します。(商用/インバータ)

A/Bスイッチ	A/Bスイッチが挿入されているかどうかを表示します。(有/無)
A/Bスイッチポジション	A/BスイッチがA側B側どちらになっているかを表示します。 (A/B)
上り光送信機 1	上り光送信機1が挿入されているかどうかを表示します。(有 /無)
上り光送信機 2	上り光送信機2が挿入されているかどうかを表示します。(有 /無)
下り光受信機 1	下り光受信機1が挿入されているかどうかを表示します。(有/無)
下り光受信機 2	下り光受信機2が挿入されているかどうかを表示します。(有 /無)
下り光受信機 1 入力	下り光受信機1に光入力の有無を表示します。(有/無)
下り光受信機 2 入力	下り光受信機 2 に光入力の有無を表示します。(有/無)
AGC/MGC動作状態	AGC/MGCの動作状態を表示します。(AGC/MGC)

• 機種により制御可能な項目が異なります。

• [監視[2値]]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。

プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの [プロパティ] をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[一覧表示]

ノード内の機器の監視、制御項目等をノード毎に一覧表示します。

[エラーの一覧]

現在発生しているエラーを一覧表示します。

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

[印刷]

1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	(Itt)	いいえ

- 2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。
- (6) ノード一覧・[監視 [数値]] タブについて

ノードアンプの監視 [数値]情報を一覧表示します。

[表示概要]

	ノード/系統	·覧					_			
[]	'情報1 情報2 制御 監視[2値] [監視[設値]									
	ノード/系統名	機器Na	下り出力レベル	AC電圧	DC電圧	筐体内温度	筐体内湿度)]		
Γ	NODE 1	0100	0.00 dB µ [00]	0.00 V [00]	0.00 V [00]	0.00 °C [00]	0.00 % [00]			
Ŀ	NODE 2	0200	0.00 dB µ [00]	0.00 V [00]	0.00 V [00]	0.00 °C [00]	0.00 % [00]			
Ŀ	NODE 3	0300	0.00 dB µ [00]	0.00 V [00]	0.00 V [00]	0.00 °C [00]	0.00 % [00]			
Ŀ	NODE 4	0400	0.00 dB μ [00]	0.00 V [00]	0.00 V [00]	0.00 °C [00]	0.00 % [00]			
Ŀ	NODE 5	0500	0.00 dB µ [00]	0.00 V [00]	0.00 V [00]	0.00 °C [00]	0.00 % [00]	-		
	•							•		

[監視 [数値]]タブで確認できる項目

項目	説明
 ノード/系統名	ノード名または系統名を表示します。
機器	機器を表示します。
下り出力レベル	下りパイロット信号出力レベルを表示します。
AC電源電圧	商用電源使用時のAC電源電圧を表示します。
A C 電源電圧 (インバータ)	インバータ電源使用時のAC電源電圧を表示します。
DC電源電圧	DC電源電圧を表示します。
筐体内温度	筐体内部の温度を表示します。
筐体内湿度	筐体内部の湿度を表示します。
光送信機1パワーモニタ	光送信機1の送信レベルを表示します。
光送信機 2 パワーモニタ	光送信機 2 の送信レベルを表示します。

光受信機1パワーモニタ 光送信機1の送信レベルを表示します。

光受信機2パワーモニタ 光受信機2の受光レベルを表示します。

RawDC ノードアンプに搭載している電源装置で給電電源を整流し た直後の電圧を表示します。

電源電流を表示します。

- 機種により制御可能な項目が異なります。
- カッコ内の数値は各監視[数値]情報の元になる16進値で、それぞれの項目に応じた表現に変換されて左の値となります。この数値は通信サーバーソフトの通信状況ウィンドウで表示される受信データの値と一致します。
- [監視 [数値]]タブでは次の操作ができます。

[機器のプロパティ]

機器単体の監視、制御項目等を表示します。 プロパティ表示させる機器の行をダブルクリックするか、右クリックしてポップア ップメニューの「プロパティ]をクリックします。

[系統図]

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[系統図を開く]をクリックします。 同じノードの系統図が開きます。(すでに開いている場合は新た開きません。)

[一覧表示]

ノード内の機器の監視、制御項目等をノード毎に一覧表示します。

[エラーの一覧]

現在発生しているエラーを一覧表示します。

一覧内で右クリックしてポップアップメニューの[エラー一覧]をクリックします。

[コピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		X
印刷を開始	します。	
	[]]]	いいえ

2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。

XI. 経歴

(1)経歴を表示する

[操作方法]

1. メニューバーの[ファイル] [経歴を開く]をクリック、またはツールバーの[経歴を 開く]アイコンをクリックします。

🥖 ステータスモニタ			
表示(⊻)	ツール①	ウィンドウ(₩)	ヘルプ(円)
系統図を開く(<u>O</u>) 一覧を開く(<u>L</u>)	Ctrl+O Ctrl+L	<u> </u>	
エラー一覧を開く(E) 経歴を開く(C)	Ctrl+L		
閉じる(Z)			
プリンタの設定(R) 印刷(P)	Ctrl+P		

すでに開いている場合は新たに表示されません。

(2)経歴について

各機器の経歴情報を一覧表示します。また、データの並べ替えも可能です。

内容を絞り込むなどの、より高度な経歴表示を行うには、経歴検索ソフトをお使い ください。

[表示概要]

基本替え: 日	件·時初	▲ C昇順 ④ 陸順	表示	E (46/8)	6. C				
/ド名	供否则	項目	初版	日付	4421	発生//激日	STM/橱窗	STM7462	EU714 .
	bra-8141desu	STMデータ出送	黑尼答	2002/04/18	17:13:32	発生	STM	3	1
	TBRA6002	STMが一身団連	兼応答	2002/04/18	170000	発生	STM	9	
	TBR45002	STMデータ伝递	無応答	2002/04/18	165956	発生	STM	8	
	ERA-8001	STMデータ伝通	兼応答	2002/04/18	165952	発生	STM	7	
	OTF8002	STMデータ伝達	無応答	2002/04/18	1659-46	現生	STM	5	
	tbra8141	STMデータ伝達	兼応答	2002/04/18	1659.43	発生	STM	2	toral
	otr-8002-1	STMP「一身使透	無応答	2002/04/18	1559.40	発生	STM	1	otr001
	BR45002	STMデータ伝递	展応答	2002/04/18	165935	発生	STM	10	
	BRA8141	STMデータ伝達	憲応答	2002/04/18	1659:30	発生	STM	6	
		通信サーバーが起搬しました。		2002/04/18	1659:23				
770MHzi独自		遺信サーバーを終了します。		2002/04/18	112569				
770MHz 他自	P56015	STMデータ伝送	兼応答	2002/04/18	112412	発生	STM	11	
4									2

経歴で確認できる項目

項目

説明

ノード名	ノード名を表示します。
機器 No.	機器 No.を表示します。
項目	該当する項目を表示します。
状態	該当する状態を表示します。
日付	記録された日付を表示します。

- 時刻 記録された時刻を表示します。
- 発生 / 復旧 発生か復旧かを表示します。

STM / 機器 STMか機器かを表示します。

STMアドレス STMユニットのアドレス No.を表示します。

シリアル シリアル No.を表示します。

[操作方法]

- [表示]ボタンをクリックすると、経歴がリスト表示されます。
 データベースで管理している経歴は最大1万件です。1万件に達するごとに古いものから100件削除されます。
- 経歴では次の操作ができます。
 - [一覧の並べ替え]

並べ替える項目をリストボックスから選択し、昇順/降順を選択してから、[表示] ボタンをクリックします。途中でやめる場合は、[キャンセル]ボタンをクリックし ます。

[一覧のコピー]

メニューバーの[編集] [コピー]、または一覧内で右クリックしてポップアップメニ ューの[コピー]をクリックします。一覧のテキストデータがクリップボードに取り 込まれます。

- [一覧の印刷]
 - 1. メニューバーの [ファイル] [印刷]をクリックします。

印刷の確認		×
印刷を開始	します。	
設定	Itu	いいえ

2. 印刷の開始は[はい]、プリンタの設定は[設定 ...]、キャンセルは[いいえ]をク リックします。 (3)経歴を検索する

各機器の経歴情報を一覧表示します。また、データの並べ替えも可能です。

内容を絞り込むなどの、より高度な経歴表示を行うには、経歴検索ソフトをお使い ください。

[表示概要]

	/ 経歴								
並べ替え: 日付・時刻									
	ノード名	機器No.	項目		状態	日付	時刻	発生/復旧	STM/機
I		bra-8141desu	STMデータ伝送		無応答	2002/04/18	17:13:32	発生	STM
I		TBRA5002	STMデータ伝送		無応答	2002/04/18	17:00:00	発生	STM

[操作方法]

1. [並べ替え][昇順/降順]を選択します。

項目	説明			
並べ替え	並べ替える項	並べ替える項目を下記から選択します。		
	•	日付・時刻		
	•	ノード名		
	•	機器		
	•	項目		
	•	状態		
	•	STMアドレス		
	•	シリアル		
	•	STM/機器		
	•	発生/復旧		
昇順 / 降順	並べ替える順	序を選択します。		

2. [表示]ボタンをクリックすると、経歴がリスト表示されます。

データベースで管理している経歴は最大1万件です。1万件に達するごとに古いものから100件削除されます。

XII. オプション

(1)オプション設定を表示する

ステータスモニタのオプションを設定します。

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックします。

2. [オプション]をクリックします。

オプション					×
 糸航凶 ● 機器Naで表示 		0	アドレスNo	aで表示	
∟ 」 ─機器のプロパティ					
経歴表示件数	100	\$			
☑ 制御で制御オ	(タンを有)	効にする	5		
-経歴ウィンドウ 	1000				
使来时级	11000	_		1. [
			OK		ャンセル

オプションで設定できる項目

- <u>系統図</u> 系統図内で機器の表示を機器 またはアドレス に設定します。
- <u>機器のプロパティ・経歴表示件数</u> 系統図で[機器のプロパティ] [経歴]で表示され る件数を設定します。
- 機器のプロパティ・制御で制御ボタンを有効にする [機器のプロパティ]の[制御]で 制御ボタンを使って制御を行うかどうかを設定します。
- <u>経歴ウィンドウ・検索件数</u> 経歴ウィンドウで検索する件数の上限を設定します。

(2)系統図内の機器 とアドレス の表示を切り換える

[操作方法]

1. [ツール]メニューをクリックし、[オプション]をクリックします。

🥖 ステータス	.モニタ						
ファイル(E)	表示⊙	ツール①	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)			

- 2. [系統図]の[機器 表示]または[アドレス で表示]をクリックします。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。

オプション				×
系統図 ④ 機器Naで表示	07	ドレスNaで	表示	

(3)機器のプロパティで表示される経歴件数を設定する

[操作方法]

- 1. [ツール]メニューをクリックし、[オプション]をクリックします。
- 2. [機器のプロパティ]の経歴表示件数を設定します。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。

┌機器のプロバティ	ŕ	
経歴表示件数	3000	•

可変範囲は1~3000件です。

(4)制御で制御ボタンを有効にする

チェックを入れ有効にすると、機器の制御時に[制御]ボタンが表示され、ボタンを押した時点で制御が実行されるようになります。チェックをはずし無効にした場合は、[制御] ボタンは表示されず、制御の設定を変更するだけで制御が即実行されます。

[操作方法]

- 1. [ツール]メニューをクリックし、[オプション]をクリックします。
- 2. [機器のプロパティ]の[制御で制御ボタンを有効にする]チェックボックスを設定します。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。

▶ 制御で制御ボタンを有効にする

(5)経歴ウィンドウでの検索件数を設定する

[操作方法]

- 1. [ツール]メニューをクリックし、[オプション]をクリックします。
- 2. [経歴ウィンドウ]の検索件数を設定します。
- 3. [OK]ボタンをクリックします。

1	経歴ウィンドウー			
	検索件数	1000	÷	

可変範囲は1~10000件です。

XIII. ヘルプ

- (1)ヘルプを表示する
 - ステータスモニタのヘルプを表示します。
- [操作方法]
 - 1. [ヘルプ]メニューをクリックします。
 - 2. [ステータスモニタのヘルプ]をクリックします。
- (2)バージョン情報を表示する

ステータスモニタのバージョン情報、版権などを表示します。

[操作方法]

- 1. [ヘルプ]メニューをクリックします。
- 2. [バージョン情報]をクリックします。

XIV. ステータスモニタ・エラーメッセージ

(1)これ以上ウィンドウを開くことができません ウィンドウを11以上開くことはできません。

[操作方法]

1.	[O K]ボタ	ヲンをクリック	りしてくださ	561.
	ステータスモ	I.A		×
	8	これ以上ウィンド	やたれできま	せん。
		(OK		

2. 表示中の系統図ウィンドウを閉じてください。

(2)指定したノード名称は存在しません

[開く]ダイアログボックスの一覧にないノード名称を開くことはできません。

[操作方法]

1. [OK]ボタンをクリックしてください。

ステータスモ	ニタ				×
	既(;	:開いているノー	-ド名称()	期けま	せん。
		OK			

経歴検索

1. 概要

(1)経歴検索について

経歴検索は、ステータスモニタセンターソフトの経歴情報を記録したデータベースから 任意の条件でデータを検索し、表示および印刷するソフトです。

データベースで管理している経歴は最大1万件です。1万件に達するごとに古いものから100件削除されます。

[概観図]

🔍 経歴検	读索 - [検索結果]	- [サーバー:keroer	nde , センター:	6F]	
771N(E)	表示♡ ^ルプ(ヒ	Ð			
12.702.7*	検索フィールド	演算子	検索文字	⊏ङ्ग	
条件1	1 機器No.	▼ 全検索	•	•	検索開始
					昇順
条件2	2		<u> </u>	<u> </u>	降銅順
- □ 条件3	3	_			
	/維 器 No	継号マドレフ	RADIATIONS	1百日	状能
1	102881401		2077010	· <u>」は</u> 信サーバーカ	55/
2				通信サーバーカ	(起
3				通信サーバーカ	記
4	A-1	1		ALC電圧	17.95 V
5	A-1	1		ALC電圧	21.70 V
6	A-1	1		ALC電圧	17.95 V
7	A-1	1		ALC電圧	21.23 V
8	A-1	1		ALC電圧	17.83 V
9	A-1	1		ALC電圧	20.06 V
10	A-1	1		ALC電圧	17.83 V 💌
					•
154 件見	しつかりました。			データ件数 154	2002/04/05 //.

(2)検索の基本操作

- [サーバー接続]で、データベースが登録されているサーバーのコンピュータ名を入 力して[接続]ボタンをクリックします。次に表示されるサブセンター一覧から、検 索対象のサブセンターを選択します。
- 2. [検索の条件]で検索対象となるフィールドと、検索する文字列を指定します。
- 3. [検索開始]ボタンをクリックすると、検索結果が表示されます。

||. 操作の詳細

(1)サーバー接続

[操作方法]

1. メニューバーの[ファイル] [サーバー接続]を選択します。

🕄 経歴検索		
ファイル(E) 表示(⊻)	∿ルフ°(<u>H</u>)	
サーバー接続		
開(())	Ctrl+O	
保存(<u>S</u>) 名前を付けて保存(<u>A</u>)	Ctrl+S	■算于 全検索
ブリンタの設定(U) 印刷プレビュー(V) 印刷(<u>P</u>)	Ctrl+P	
オフ [®] ション(<u>Q</u>)		
終了⊗ 	/ 10 % 1	ドレス

- 設定画面が表示されるので、データベースがあるサーバーのコンピュータ名を入力 するか、以前に接続したコンピュータ名がドロップダウンリストに登録されている ので、その中から選択します。
- 3. サーバーのコンピュータ名を設定し終わったら[接続]ボタンをクリックします。

サーバー接続		×
サーバー名:	SERVER1	•
		接続

[ヒント]

サーバーの接続でコンピュータ名がわからない場合は次のようにして確認すること ができます。

- データベースサーバーが設置されているコンピュータのデスクトップ、または エクスプローラ上にある[マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして、ポッ プアップメニュー内の[プロパティ]を選択します。
- [システムのプロパティ]画面が表示されるので[ネットワーク ID]タブを選択すると、[フル コンピュータ名]のところに表示されている名称がコンピュータ名になります。
- ・一度入力したコンピュータ名はドロップダウンリストに登録されるので、次回からは入力しなくてもリストから選択できるようになります。

- 4. 無事サーバーに接続されると、続いてサブセンターの選択画面になります。
- 5. サブセンター一覧から検索対象のサブセンターを選択し、[選択]ボタンをクリック します。

サブセンターの選択	×
サブセンター一覧: Center 0 Center 1 Center 2	選択 キャンセル

(2)検索の条件

検索の条件は1~3まで設定することができます。条件2と条件3はチェックを入れる ことで設定が可能となります。

一便茶の業	キー 検索フィールド		演算子	検索文字列	
条件1	機器No.	•	=	A-1	検索開始
			AND 💌		
☑ 条件2	項目	•	ワイルトゥート 💌	A* 💌	
			AND 💌		₽≆川県
▼ 条件3	状態	•	>=	17.9	

[検索フィールド]

検索対象となるフィールドを指定します。

[演算子]

演算子は条件と条件、あるいは検索フィールドと検索文字列間の演算条件を指定します。

- 条件と条件の間で指定可能な演算子 AND、OR
- 検索フィールドと検索文字列の間で指定可能な演算子
 =、<>、>、<、>=、<=、ワイルドカード、全検索(条件1でのみ指定可能)

[検索文字列]

検索する文字列を入力します。

[注意]

演算子に ワイルドカード を指定した場合は、「*文字列*」、あるいは「文字列*」 のみ、設定可能です。 それ以外を設定した場合は、エラーとなります。

STC 9503 178/193

[ヒント]

全検索で検索を行った場合は検索文字列、および条件2と条件3の設定は無効になりま す。

詳細な指定方法は検索条件の設定例をご覧ください。

- (3)検索の開始
 - [検索開始]ボタンをクリックすると、[サーバーの接続]で設定したサーバーにあるデ ータベースから、[検索の条件]で設定した条件で検索が開始されます。
 - 条件と一致したデータが見つかると、検索結果が表示されます。
- [注意]

[サーバーの接続]で設定を行っていない場合は、[検索開始]ボタンが押せない状態になっています。[サーバーの接続]でサーバーに接続してからこの操作を行ってください。

(4)データの並べ替え

[操作方法]

- 1. 並べ替えの対象となるフィールド列をクリックして選択します。
- [昇順]ボタンをクリックすると昇順に、[降順]ボタンをクリックすると降順にデータ が並べ替えられます。
- [ヒント]
 - 対象となるフィールド列をダブルクリックしても同様にデータの並べ替えができます。この場合、ダブルクリックするたびに昇順と降順が切り替わります。
- (5)ファイル操作

ファイルを開く

以前に保存した検索ファイルを開きます。 [操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[開く]または、ツールバーの2をクリックします。
- 2. ダイアログが開きますので、ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所(!):	atcHV	•	E	5-5- 5-5- 5-5-	14
🚞 SetupFile					
🚞 データベース					
sample.csv					
7			r	88//~>	
/ /////-==x-====	jsampie.csv			開へ回	
ファイルの種類(工):	CSV771ル (*.csv)		•	キャンセル	
			-		
上書き保存

検索ファイルを上書き保存します。一度も保存していない検索結果の場合は[名前をつけ て保存]と同じ操作になります。

ファイルは CSV 形式で保存されるので、CSV 形式に対応した他のアプリケーションで も開くことができます。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[保存]または、ツールバーの日をクリックします。
- 2. 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- 3.2で[いいえ]をクリックした場合は、[名前をつけて保存]と同じ操作になります。

ファイルの保存 🛛 🛛 🕅
上書きで保存します。よろしいですか?
111 <u>7</u> 1117

名前をつけて保存

検索ファイルの名前を変更して保存する場合、または一度も保存していない検索結果の 場合はこの操作になります。ファイルは CSV 形式で保存されるので、CSV 形式に対応 した他のアプリケーションでも開くことができます。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[名前をつけて保存]をクリックします。
- 2. ダイアログが開きますので、ファイル名を入力し、[保存]をクリックします。

ファイル名を付けて保存					? ×
保存する場所(1):	🔄 stoHV	-	E	5-5- 5-5- 5-5-	
SetupFile					
sample.csv					
ファイル名(N):	sample.csv			保存(S)	
ファイルの種類(エ):	CSV771ル (*.csv)		•	キャンセル	

(6)印刷

プリンタの設定

印刷するプリンタの設定をします。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[プリンタの設定]をクリックします。
- 2. ダイアログが開きますので、各設定をし、[OK]をクリックします。

プリンタの設定			×
_ロ プリンターーー		 	
プリンタ名:	Canon LBP-720		•
場所:	LPT1:		
└─────		 	-印刷の向き
サイズ:	A4	•	<u>_</u> ⊾ ⊙ 縦
給紙方法:	自動	-	A _{○横}
		 ОК	キャンセル

印刷プレビュー

印刷結果のイメージをプレビューします。プレビュー画面には印刷設定の内容と1ページ分の印刷イメージが表示されます。印刷イメージには印刷可能な領域を表す枠と印刷 内容が表示されます。印刷領域枠は通常黒色で表示されますが、印刷内容が印刷領域を 超えているときは赤色となります。用紙のサイズを変更するか表の幅を調節するなどし て枠内におさまるようにしてください。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[印刷プレビュー] または、ツールバーの なをクリックし ます。
- 2. [<]または、[>]ボタンをクリックするとページを切り替えることができます。

印刷プレビュー	×	印刷プレビュー	×
7判29名	Canon LASER SHOT LBP-720	フリンタ名	Canon LASER SHOT LBP-720
用紙サイズ	A4	用紙サイズ	A4
印刷の向き	横	印刷の向き	横
全ページ数	66	全小叶数	66
表示ベージ	1 (0行 — 40行)	表示ページ	1 (0行 — 40行)

印刷領域内におさまっている場合

印刷領域を超えている場合

印刷

検索結果をプリントアウトします。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[印刷] または、ツールバーの母をクリックします。
- 2. ダイアログが開きますので、[印刷範囲]を指定し、[印刷]をクリックします。

[ヒント]

 [プレビュー]をクリックすると[印刷プレビュー]が表示されるので、印刷結果のイメ ージを確認できます。

印刷
7判29名 Canon LASER SHOT LBP-720
用紙サイス [*] A4 横
ページ番号 つける をじしろ あり
全ページ数 66
印刷範囲
• রু<ট্র
◎ ページ指定 1 🗧 - 66 🗧
印刷 プレビュー キャンセル

(7)オプション

[印刷]

- 印刷結果に[とじしろ]、および[ページ番号]を付加するかどうかを設定します。
- チェックがはいっているとき有効です。

[検索]

- 検索件数の上限を設定します。上限を設けることで、検索に時間がかかるのをふせぎます。可変範囲は1000 ~ 20000件です。
- 検索件数が上限を超えるとメッセージが表示され、検索が途中で終了します。その 場合は[検索の条件]でデータをしぼりこむか、検索件数の上限を変えるか、もし くはデータベースファイルを減らしてください。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[ファイル]-[オプション]をクリックします。
- 2. ダイアログが開きますので、各設定をし、[OK]をクリックします。

オプション	×
_ 印刷	
とじしろ	☑ つける
ページ番号	Stic 🛛
└─────────────────────────────	
最大検索数	3000 🕂 件
	ОК
	ОК

(8)表示

ツールバーまたは、ステータスバーの表示、非表示を切り替えます。チェックされてい るとき、表示が選択されます。

[操作方法]

- 1. メニューバーの[表示]をクリックします。
- [ツールバー]または、[ステータスバー]をクリックするとチェック、非チェックを切り替えることができます。



- (9)検索条件の設定例

	検索フィールド	演算子	検索文字列
条件 1	どれを指定しても	全検索	
	OK		

• 機器 No.が「A-1」と機器 No.が「A-3」の場合

	検索フィールド	演算子	検索文字列
条件1	機器 No.	=	A-1
		OR	
条件 2	機器 No.	=	A-3

• 機器 No.が「A-1」で、日付が「2002 年 3 月以降」の場合

	検索フィールド	演算子	検索文字列
条件 1	機器 No.	=	A-1
		AND	
条件 2	日付	> =	2002/03

• 機器 No.が「B-...」で、項目が「ALC 電圧」で、状態が「20V 以上」の場合

	検索フィールド	演算子	検索文字列
条件1	機器 No.	ワイルト・カート・	B- *
		AND	
条件 2	項目	=	ALC 電圧
		AND	
条件 3	状態	> =	20

データ伝送確認

1. 概要

データ伝送確認プログラムは、ステータスモニタユニットとの通信状況を確認するソフ トです。

[概観図]

♥ ステータスモニタシステム・データ伝送確認	×
アドレス設定 開始アドレス: 11 ● 終了アドレス: 1 ●	通信開始
通信設定 制御	通信停止
フォーマット: 独自仕様 [770MH2]	
リトライ回数: 0 👤	ヘルプ
□ 通信エラー発生でブザーをならす	終了

(1)注意

データ伝送確認プログラムを起動するときは、次の事項に注意してください。 通信サーバーおよび、ステータスモニタが起動中に動作させないでください。 (正常な通信が行われません。)

11. 使用方法

(1)起動する

[操作方法]

1. [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム][ステータスモニタセンターソフト]を ポイントして、[データ伝送確認]をクリックします。

(2)終了する

[操作方法]

1. [終了]ボタンをクリックします。

🎾 ステータスモニタシステム・データ伝送確認	×
	通信開始
	通信停止
通信設定 制御	
フォーマット: 独自仕様 [770MH2]	
リトライ回数: 0 🚊	ヘルプ
┏ 通信エラー発生でブザーをならす	終了

2. [終了します。よろしいですか?]と表示されますので、終了する場合は[はい]を、終 了しない場合は[いいえ]クリックします。

データ伝送確認	×
? 終了します	ま。よろしいですか?
ಡುಗ್ಗ	いいえ(<u>N</u>)

(3)回線の設定

ステータスモニタユニットとの通信について設定します。

[操作方法]

1. タスクバーのトレイ(画面右下・時計横)上の[ステータスモニタアイコン]へ、マウスを移動します。



2. 右クリックして[ポップアップメニュー]を表示し、[回線設定]をクリックします。



3. [回線の設定]ダイアログボックスを表示します。

回線の設定	×
-通信ボート	
770MHz用: COM1 👤	
450MHz用: COM2 💌	キャンセル
送信件数: 4 👤	
▶ ランプを点滅させる	

[通信ポート]

どちらのRS232Cポートに、770MHz/450MHzそれぞれのRFモデ ムがつながっているか設定します。設定できるポートはCOM1からCOM4です。

[送信件数]

1秒間にステータスモニタユニットを呼び出す件数を設定します。設定は1から15件です。

[ランプを点滅させる] 通信に応じてタスクバーのトレイでアイコンを点滅させるかどうか設定します。

(4)アドレスを設定する

[操作方法]

[開始アドレス][終了アドレス]の各テキストボックスに、ステータスモニタユニットと通 信するアドレスを入力します。

- バドレス設定			
開始アドレス: 1 📑	終了アドレス:	2	•

[ヒント]

- [開始アドレス]から[終了アドレス]までのユニットと通信します。
- アドレスは1~9999の範囲で入力します。
- [開始アドレス] [終了アドレス]の設定をすると[開始アドレス]のみ通信を行います。
- 通信中にアドレスを変更するときは、変更後[通信開始]をクリックしてください。

(5)データフォーマットを選択する

[操作方法]

- 1. [通信設定]タブを選択します。
- 2. フォーマットコンボボックスから、伝送するフォーマットを選択します。

通信設定制御		
চরাদির্জান	独自仕様 [770MHz]	
リトライ回数:	独自仕様 [770MH2] 独自仕様 [450MHz] 統一仕様(2値) [770MHz]	

[ヒント]

- 通信中にフォーマットを変更するときは、変更後[通信開始]をクリックしてください。
- (6)リトライ回数を設定する

ステータスモニタユニットとの通信で、何らかのエラーが発生した場合に、もう一度同 じステータスモニタユニットを呼び出す回数を設定します。

[操作方法]

- 1. [通信設定]タブを選択します。
- 2. リトライエディットボックスに、リトライする回数を設定します。

通信設定 制御		
フォーマット: 独自仕様 [770MHz]		
リトライ回数: 1 👤		
▶ 通信エラー発生でブザーをならす		

[ヒント]

- リトライ回数は、0から9までの値を設定します。
- 通信中にリトライ回数を変更するときは、変更後[通信開始]をクリックしてください。

(7)通信エラー発生でブザーを鳴らす

ステータスモニタユニットとの通信で、何らかのエラーが発生した場合に、ブザー音を 鳴らすかどうか設定します。

[操作方法]

- 1. [通信設定]タブを選択します。
- ブザーを鳴らすときは、[通信エラー発生でブザーをならす]チェックボックスをチェックします。

通信設定 制御		
フォーマット: 独自仕様 [770MHz]		
リトライ回数: 1 🍷		
▶ 通信エラー発生でブザーをならす		

[ヒント]

通信中にチェックボックスを変更するときは、変更後[通信開始]ボタンをクリックして ください。

(8)上り分岐増幅部制御を設定する

[アドレス設定]で指定している機器に対して、上り分岐増幅部の制御データを送信します。

[操作方法]

- 1. [制御]タブを選択します。
- [上り分岐1,2]グループボックスまたは、[上り分岐3,4]グループボックスで、[通 過] / [阻止]を選択してください。



[ヒント]

- 通信中に上り分岐増幅部制御を変更するときは、変更後[通信開始]をクリックして ください。
- [上り分岐1,2]の制御の設定で[上り分岐3,4]の制御も同時に行われるアンプがあ りますが、その場合は[上り分岐3,4]の設定は無視されます。

(9)上り幹線増幅部制御を設定する

[アドレス設定]で指定している機器に対して、上り幹線増幅部の制御データを送信しま す。

[操作方法]

- 1. [制御]タブを選択します。
- 2. [上り幹線]グループボックスで、[通過] / [阻止]を選択してください。

通信設定制御		
-上り分岐1,2	上り分岐3,4	-上り幹線
• 通過	• 通過	⊙ 通過
○ 阻止	○ 阻止	○ 阻止(パス)

[ヒント]

• 通信中に上り幹線増幅部制御を変更するときは、変更後[通信開始]をクリックして ください。

(10) 通信を開始する

[操作方法]

1. [通信開始]ボタンをクリックします。

❥️ ステータスモニタシステム・データ伝送確認	×
アドレス設定 開始アドレス: 1 夏 終了アドレス: 1 夏	通信開始
通信設定 制御	通信停止
フォーマット: 独自仕様 [770MHz] ▼	
リトライ回数: 🛛 💆	ヘルプ
□ 通信エラー発生でブザーをならす	終了

[通信設定][制御]タブで設定された内容を有効にして、通信を開始します。

(11) 通信を停止する

[操作方法]

1. [通信停止]ボタンをクリックします。

▶ ステータスモニタシステム・データ伝送確認	×
	通信開始
	通信停止
通信設定 制御	
フォーマット: 独自仕様 [770MH2] ▼	
「 通信エノー先生 () 9 ~ 2/2/99	

通信を停止します。

(12) 通信状況ウィンドウを表示する

ステータスモニタユニットとの通信状況を表示します。

[操作方法]

1. タスクバーのトレイ(画面右下・時計横)上の[ステータスモニタアイコン]へ、マウ スを移動します。



2. 右クリックして[ポップアップメニュー]を表示し、[通信状況]をクリックします。



3. [通信状況ウィンドウ]を表示します。

[ヒント]

- [ステータスモニタアイコン]は、ステータスモニタユニットとの通信状況を表示し、
 [水色]のランプが点灯しているときは送信中、[緑]のランプが点灯しているときは受信中です。
- (13) 通信の状況を確認する

通信状況ウィンドウで、ステータスモニタユニットとのデータ伝送状態を表示します。 1行で、1つのアドレスに対する送受信データを表示し、各列の左から[アドレス][送信 データ][受信データ][エラー]を表示します。

🗞 通信状況ウインドウ 🛛 🔀		
ファイル(<u>E</u>)	オプション(<u>0</u>)	
アドレス	送信データ	受信データ エラー
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO OO O1 OO OO OO OO OO OO OO OO OO SF
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO OO O1 OO OO OO OO OO OO OO OO OO SF
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE AO OO O1 OO OO OO OO OO OO OO OO OO SF
0001	FE 10 00 01 00 EF	FE A0 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 5F
	と 、 送信データ	↓受信データ ↓エラー
J		

[操作方法]

[ファイルメニュー・閉じる] 通信状況ウィンドウを閉じます。

- [オプション・表示開始] 一時停止中の通信状況を表示開始します。
- [オプション・表示停止]

メニュー通信状況表示を一時停止するときに選択します。

[オプション・エラーが発生したら表示停止する] ステータスモニタユニットとの通信で何らかのエラーが発生したときに表示を一時停 止します。

通信状況を一時停止してもステータスモニタユニットとの通信は停止しません。